

---

## 第3章

### くらしの各分野・県政に対する意見・提案

---

～第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案～

表3-1 集計結果

(単位：件)

<b>1. 福祉・保健・医療</b>	<b>1,244</b>
(1) 「安心して子育てができる社会」とは	331
(2) 「高齢者や障害者などだれもが地域で生活しやすい社会」とは	277
(3) 「健康的な生活を送れる社会」とは	215
(4) 「安心して医療を受けることができる社会」とは	263
(5) 「福祉・保健・医療」分野全般についての意見・提案	158
<b>2. 教育・文化・スポーツ</b>	<b>777</b>
(1) 「子ども一人ひとりにとって望ましい教育環境」とは	248
(2) 「歴史や文化にふれ、楽しめる社会」とは	151
(3) 「生涯学習を楽しめる社会」とは	132
(4) 「スポーツに親しめる社会」とは	152
(5) 「教育・文化・スポーツ」分野全般についての意見・提案	94
<b>3. 交通基盤・社会基盤・情報化</b>	<b>449</b>
(1) 「人や物、情報の交流がスムーズにできる社会」とは	149
(2) 「暮らしやすいまち」とは	190
(3) 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野全般についての意見・提案	110
<b>4. 安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）</b>	<b>628</b>
(1) 「安心して消費生活を送れる社会」とは	116
(2) 「安全・安心な社会」とは	176
(3) 「災害に対して安心できる社会」とは	125
(4) 「環境（地球、自然、生活など）が保全されている社会」とは	138
(5) 「安全・環境」分野全般についての意見・提案	73
<b>5. 産業（農業・林業・水産業・商業・工業・観光）</b>	<b>503</b>
(1) 「望ましい農林水産業の姿」とは	135
(2) 「望ましい県内企業の状況」とは	107
(3) 「県外の人にとって魅力ある佐賀県」とは	185
(4) 「産業」分野全般についての意見・提案	76
<b>6. 雇用・労働</b>	<b>309</b>
(1) 「望ましい労働環境」とは	199
(2) 「雇用・労働」分野全般についての意見・提案	110
<b>7. その他一般</b>	<b>157</b>
(1) だれもが個性や能力を發揮できる社会とは	121
(2) 「その他一般」分野全般についての意見・提案	36
<b>8. 県政に対する意見・提案</b>	<b>490</b>
総計	4,557

※具体的な内容は、次ページ以降に一部抜粋して掲載しています。

## 1. 「福祉・保健・医療」分野

## (1) 「安心して子育てができる社会」とは

内容	性別	年代
佐賀県の県民性を生かした子育て。子どもを教育できる老人が元気でいられる県づくりを期待する。	男性	50代
地域に溶け込み子育てをするような親の教育・考えを持たせるような社会でありたい。	男性	70代以上
各家庭だけでなく、近所や地域でも子どもたちに声をかけたり、気にかける昔のような温かい社会。	女性	30代
出産のため長期休みをとることができ、町全体で子育てについて相談できるところがあること。	女性	40代
核家族化からの脱却で、数世代の共同生活の実践。親から子、孫への教育。	男性	50代
各家庭だけでなく、地域、施設が連携できている社会。	女性	30代
福祉が充実し、雇用に不安がない社会。	男性	50代
夫1人の給料でも生活できる社会。	女性	20代
それぞれの人々の違った生き方を認め合える社会。	女性	40代
共働きしなくても子育てができる社会。子どもが小さい頃は母親と一緒にいることがベストだと思う。	男性	50代
三世同居の推進。お互いの身になって生きる姿を子どもに見せる。	女性	70代以上
向こう三軒両隣の親密な社会。	男性	70代以上
小さい子がいても障がいを持った子がいても安心して親が働けるような社会。	女性	30代
そんな社会はありえないと思う。自立を目指す考えを教えることが大切と思う。	女性	60代
家庭・地域・行政が連携して子育てを実現している社会。保育所・児童クラブ等はもちろん。産休・育休がとれる職場づくりや法律も必要。	女性	40代
地域、家庭が育成にきちんと取り組んでいく社会。	女性	40代
世の中が戦争などがなく平和であること。地域社会の安心安全、働く場があること。子どもたちが希望溢れる中で生きられる社会。	男性	50代
核家族の中で子育てへの不安を解消し、地域社会で暖かく見守られていると実感できる社会。	女性	20代
地域の子どもには自分の子どもと同様に進んで関わりを持つことが自然にできる社会。	男性	50代
子どもの安全第一の社会。	女性	40代
保育所などを増やし、女性が職場復帰できる環境がある。誰でも安心して結婚できる社会づくり。	女性	20代
近所近辺の横のつながりががないために、地域での連帯感がない。もっと地域での催しごとや子どもクラブの充実を。	男性	60代
自分が子育てに行き詰ったり、再就職を望むときに「相談できる相手がいる」「安心して病気のときに子どもを預けたり、もしくは休むことができる」社会だと思います。	女性	40代
仕事をしながらも子育てできる社会。	女性	30代
成人した家族も近所の人も不安のある若い子育て家庭に暖かく手を伸ばし相談にのってあげられる社会。	女性	70代以上
子どもが病気したとき、心が不安定になったとき、親が側にいられる社会。	男性	50代
多様な発信網を家族、学校、教育委員会、地域で共有できるオープンな接点を数多く持つ社会。	女性	50代
育児休暇がとれて、又、職場復帰が出来る社会が望ましい。	男性	70代以上
子どもひとりでの留守番もできる、安全な社会。	女性	50代
外で遊ぶ子どもが減ったような気がします。地域全体で育てるという意識で見守る社会。	女性	30代
見守り隊など、小学生の通学時に必要がなくなる社会。	女性	40代
社会生活の中で高齢者が若い人に悪いことは悪いと注意できる社会。	男性	50代
育児と仕事(収入)が両立できる社会。育児(妊娠、出産後)の社会復帰ができる社会。	女性	40代
治安が良く、家族や地域の中で支え合うことができる社会。	男性	60代
働きたい時、すぐ保育所に預けられる、待機児童などない社会。退職され子育ても終わられたベテラン主婦の力を地域に。	女性	50代
ゆとりある社会。	男性	50代
社会全体で子育てができる環境。悪い子には悪い。よくないことはよくないと言える環境。	男性	30代
共働きやひとり親の場合も、子どもを安心して預かる児童センターを設置し、企業や職場も保育園が会社内に設置され、安心して仕事出来るような社会。	女性	70代以上
隣近所の付き合いがマメで、いざという時に頼れる間柄の友人がいる。金銭的な不安定さからくる心理的不安から自由である社会。社会全体が身分を保障し、子育てに協力する意識がある社会。	女性	20代
もっと物価が下がって消費税も増えないで、物価が安定している社会。	女性	40代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
児童手当など個人ではなく施設に支給して、安心して働ける環境を作って頂きたい。	女性	70代以上
共稼ぎ世帯が、病気した子どもを安心して預けて働ける社会。	男性	50代
子育てでお金に困る事がない社会。	男性	20代
社会自体が働く事よりも子育てが重要である事が常識となっている事。	男性	20代
働いても子どもが急病など、休みたいときに快く休ませてもらえる。共働きでも夫婦が協力して子育てできるように職場の理解がある。	女性	30代
孤独にならず、周りが支えてくれる社会。子どもを安心して預けられる所も(保育所、知り合いなど)沢山あり、社会全体で子どもを守ってもらえる。	女性	40代
仕事があり収入が安定している。保育所の無料化。近くに相談できる子育てボランティアがいること。子育てに協力的な事業所、環境があること。医療費、出産費の無償化。	女性	50代
家庭だけでなく地域全体が子育てを協力し合える社会。	不明	不明
昔のような地域の教育力、家庭(祖父母がいて)というような社会が充実している。	男性	60代
保育所を本当に必要としている人が利用でき、又、子どもが安心して学べる小・中・高の学校が備えられ、一人一人の持ち味が尊ばれる社会です。	女性	50代
衣・食・住において安心でき、地域のつながりが深い社会。	男性	20代
常識のある大人の中で育てる。	男性	50代
雇用状況、経済面において安定している社会など。	女性	20代
子どもを預ける施設の充実や、地域の安全などが整った社会。	男性	30代
子どもとって世間が重視しているのは幼児又は小学生ですが、成人になるまでの未成年者を社会全体がしっかり見守って育成をしていくのが、本当の安心して生活できる社会ではないでしょうか。	女性	30代
今の子どもは思いやりと痛みを知らない、限度を知らない。教員が体罰という言葉で縛られ、大事な事を教えられなくなっている。	男性	40代
少なくとも3才までは母親が家にいて、子どもと向き合い、その後の再就職が約束された社会。	女性	40代
保育所があり、仕事が続けられる社会。育児休暇の助成がある社会。	女性	20代
社会かどうかと考える前に、子育てをする親がどうあるべきか考えることが先だと思う。	女性	30代
書籍販売に自主規制が働き、幼い人間の目にふれるすべてが安全。歩きタバコ、公共の場での飲酒を法的に禁止。未成年非行を注意できる社会。	女性	30代
子育てをしながら仕事ができる環境が整っている社会。	男性	50代
隣近所の人気が楽しく声を掛けてくれる社会。	女性	40代
あまりにも犯罪が多くなった日本。小さな孫を持つ祖母として、夕方迄皆と遊園地で遊んだり、ひとりで近所の実家位は行ける、安心の出来る社会を願う。	女性	70代以上
子どもの登下校に不安がない。安心して遊ばせられる場所がある。社会のルールをきちんと守る大人がいる(子どもの手本となる人)。	女性	40代
教育にお金がかからない社会。	男性	20代
大人が子どもの理想であり続けられる社会。	男性	20代
必要なときに子どもを預けられたり、夜遅くまで預かってくれる保育所があって、地域全体で子どもを守ることができる社会。	女性	20代
治安が良くて、安全で、地域が子どもを見守れる社会。	女性	50代
子育て世帯を孤立させない社会づくり。行政、公共施設制度にだけ頼らない地域ネットワーク。	男性	50代
保育所等が充実している。地域との関わりが密であり、自分の悩み等も相談したり情報交換もでき、子ども自身の輪も広がる。犯罪のない社会。	女性	20代
我々の子どもの頃のように、地域、町が全体で子どもを教育する。育てる雰囲気が漂う社会。	男性	40代
おじいちゃん、おばあちゃんが、より子どもの教育に参加している社会。	男性	30代
どんなステージにおかれている方々でも平等に子育てができる社会。	男性	40代
難しいとは思いますが、地域で保育所があり、見守ってくれる社会。	女性	20代
緊急時の医療や子育てに関する施設の充実した社会。	女性	20代
仕事と育児が両立しやすい社会。	女性	20代
地域全体で子育ての社会を考えています。	男性	60代
安全(地域の大人が見守ってくれる環境)で、保育施設が充実している社会。	女性	20代
職場の上司が理解してくれる社会。そしてその職場の周りの人たちも理解してくれる社会。	女性	50代

内容	性別	年代
自分の子どもは自分で3~4歳まで育てる。育てたい！とみんな思っている！！専業主婦の保障はされない。間違っただ世の中だと思う。夫の給料だけで暮らせるように考えてほしい。	女性	30代
子育てに協力する企業が増え、安全で遊べたり学んだりできる社会。	男性	20代
地域地域での世代間交流が全くといってよいほど今はないと思う。ちょっと前の日本に戻りたい心情です。	女性	70代以上
いつでも誰かが見守っていてくれる社会。	女性	50代
産休や育休をもっととりやすくしてほしい。制度はあっても働けなくなったら辞めざるを得ない感じに持っていかれるのが現状。ある程度、人数の社員がいる職場には託児所を設けてほしい。社会全体、企業が本当に協力してくれないと、育てる前に不安がありすぎて産みたいと思わない。	女性	30代
生活にゆとりをもって子育てができること。	女性	50代
地域、企業、職場が協力して子育てをしていく社会。	男性	20代
子育て、介護中の人が少ないシフトダウンして、時期がきたら復活できる社会。	女性	50代
保育所に余裕がある。産休が男女ともとれる。地域の大人がしっかり子どもを見守る。そのような社会。	女性	20代
地域との輪を大切に、たくさん交流の場があり、特に病気やアレルギーの子を育てているお母さんが孤立しないですむような助け合いのできる社会。	女性	30代
子どもを中心として企業も協力をして具合が悪くなってみえてくれる人がいない時は休みがとりやすい社会。	女性	50代
地域の人達が顔見知りで、みんなで子ども達を育てる社会。	男性	30代
それぞれの家庭で子どもがのびのび育って、家以外や環境が温かく守ってくれる社会。	女性	50代
犯罪のない、治安のよい社会。	女性	30代

### 1-(2)「高齢者や障害者などだれもが地域で生活しやすい社会」とは

内容	性別	年代
地域のつながりがある社会。	男性	40代
介護体制や周囲の理解が十分に得られる社会。	男性	60代
誰でも少々は不自由を感じているくらい社会。たくさんの種類の不自由を支えることができる、人が気付くことができる、余裕のある社会。	女性	40代
高齢者なら高齢者とまとまるのではなく、いろんな立場の人が交じり合った社会。	女性	30代
特に障害者に対する社会の援助のあり方が構築されて、一般に知られる社会であってほしい。	男性	70代以上
地域イベントで高齢者や障害者とコミュニケーションをとれるような地域社会。	男性	20代
年金(国民年金)の範囲内の金額で、最低限の生活ができる社会。	男性	50代
必要な支援が受けられ、その支援に関する情報が行き届いている社会。	女性	40代
思いやりのある社会。	男性	70代以上
高齢者でも、ワークシェアリングの導入等で、柔軟な雇用を通して、社会的な担い手の一員としての誇りが持てるような社会。	男性	50代
子育てや教育の段階で、日常的な異世代交流、身近な地域の人々との触れ合いがオープンに行われる社会。本人が受け入れようと入れまいと、自分とは異なる立場や特徴を持つ人々が存在するということを認識させること。	女性	20代
地域で生活するとき、周りのバックアップが必要なので、理解してもらって助け合える社会が生活しやすい。	女性	20代
心の余裕が人々にある社会。	女性	40代
地域での世代、人々の交流が少なすぎる。そういうことをきっかけに、地域の人々がお互いを理解し合える社会。	男性	50代
貧乏な家庭でもそれなりに豊かで満足した生活を送れる社会。	男性	40代
高齢者が家族に頼らずに生活できる社会になってほしい。	女性	60代
福祉が充実している社会。	不明	不明
介護者の負担が軽減できるような福祉サービスがあり、家族が大変なあまり親を見捨てないような環境。	女性	60代
自分の能力にあった仕事ができる社会。	男性	40代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
障害者も高齢者も保護されるだけでなく、社会の一員として役割を果たすことのできる社会。	女性	30代
偏見だらけの世の中で生活しやすい社会なんて到底無理。	女性	60代
高齢者であれ障害者であれ、自らできることはやり、生きがいを持って生きていける社会。人や行政を頼るばかりでなく、それぞれが自立できる社会。なにもできなくなってしまわれた高齢者の方や障害者の方にはもちろん支えが必要です。	男性	50代
思いやりを持ち、その人の立場になって考えることや、お互いに住みやすい地域にしようと思う。個人・家族・企業の集団。	女性	20代
みんなで手を取り合って生活できる社会。	男性	40代
十分な経済的な支援体制。賃金の格差のない社会。	男性	20代
最低限の生活ができる社会。	女性	40代
人の心の中に「差別」や「優越感・劣等感」といった感情が少ない社会で、相互秩序の意識が高い社会だと思います。	女性	40代
全員が安心して生活できる社会。	男性	60代
若い人から声をかけてくれる社会。	女性	70代以上
活動したり収入を得ることが基本的に可能であることに加え、他者の状況を自分に置き換えられる心の豊かさがある社会。	女性	50代
精神障害者の場合、身体面でのハンディは少ないことが多く、公的に就労の機会を作り出す体制を創出して欲しい。全国に先がけて行う位の先進性を期待する。	男性	40代
高齢者、障害者が、いきいきと生活するのに必要とする援助がある社会。	女性	30代
1つの町単位で衣食住ができ、世代間交流もあり、自給自足(野菜づくり等)の生活があり、人々が必要とされる同居型の社会。	女性	40代
難しいのでよくわかりませんが、障害者をもつ両親の大変さ、独居老人が多くて増えているなど、支援がないと生きられない。将来の不安などが無い社会。	女性	50代
高齢者の医療が高すぎて、低所得者に対しての社会を考えてほしい。	男性	70代以上
高齢者、障害者のふれあいが出来る施設のイベントの機会、又は、生活相談窓口。母子・父子の生活支援と低所得者の生活保護に力を入れている社会(家庭訪問)。	女性	70代以上
家庭の中に閉じこもりがちにならないで、地域へ出て行ける環境がある社会。	女性	50代
24時間、いつでも困った時に対応してくれる人がいる社会。	女性	50代
年金、医療、介護などが中央、地方で整備されて安心して暮らせる社会。	男性	70代以上
ユニバーサルデザインの物が増え、誰もが安心して暮らせる環境が整った社会。高齢者や障害者が一人暮らしをしている場合は周りが気にかける。	男性	20代
高齢者、障害者とも自分の能力に応じた仕事を与え、社会の一員として認められること(偏見や差別をなくす)。色々なサポートが整っている。	女性	50代
高齢者や障害者を受け入れる企業や施設の充実と、それを支えるスタッフの充実した社会。	不明	不明
高齢者は障害者の方も、ある程度自立した生活ができる社会。	男性	60代
あなたの存在そのものが価値があるのですと、どんな人も大切にされる社会です。	女性	50代
彼らが自分を弱者だと考えずに、何事にも行動する精神をもっている社会。	男性	20代
障害者への偏見のない社会。	女性	30代
差別心のない社会。	男性	50代
子どもの時から、高齢者や障害者への理解をあたり前に受入れる教育(道徳)の啓発で、そばにいるのが普通だと感じられる社会。そこから次のステップへと続くのではないのでしょうか。	女性	50代
高齢者や障害者、地域の小中学生や保護者みんなが触れ合える地域のイベントがたくさん行われる社会。	女性	20代
障害者になった人に対して、どのような手続きをして何のサポートをえられるか、まったく説明もなくわかりづらい。高齢者、障害者は自分で行動できない人が多いはずなのに、もっと優しい県になってもらいたい。	女性	70代以上
誰もが役割を持ち、生きがいを感じながら生活できる社会。	女性	40代
行きたい時に手軽な交通手段があり、買い物等に近くに行けること。	女性	50代
高齢者を家族だけでなく、地域全体で見れる社会。	女性	20代
健常者、障害者の区別なく働く場所があり、みんなが共に生活している社会。	女性	30代
老後(将来)の生活が保障されている社会。	男性	50代

内容	性別	年代
高齢者・障害者は体が不自由な人達なので、そこら辺を考慮した私生活のサポートを、又支援出来る社会。	男性	30代
年金で十分に生活出来る社会。	女性	30代
身近な方が優しくしてくださる社会だと思います。	不明	不明
希望するとき(年齢、体力、気力、経済力)に、希望するサービスが受けられる社会。	男性	60代
北欧みたいな社会保障が整備されている社会。そのためには消費税など上げても構わない。	男性	40代
ハード面は勿論だが、ソフト面での協力、理解が得られるよう、普及していく社会。	女性	20代
高齢者や障害者が活躍できる場を設けた地域社会。	女性	20代
母たちを見ていると、支払いが多く、税金、保険、年金は少なく、お金がかかるという不安な気持ちになります。60歳以上にお金がかからない社会にしてほしい。	女性	30代
施設、サービス等が不足がないような社会。	男性	30代
一人暮らしを一人ぼっちにしない声かけのできる社会。	女性	30代
介護や医療の費用負担がもっと少なくなり、地域で支え合う社会。	男性	20代
高齢者や障害者が家にひきこもらない、地域の方がもっと関わっていける社会。	女性	50代
障害の知識がなさ過ぎて、どのように接していいのかわからないので、障害を理解する場と高齢者の方には、今まで培った物を出せる場の機会を多くつくってあげる社会。	女性	30代
年金から引かれる税金は少なくして、明るい老人の暮らしやすい社会にしてもらいたい。	不明	70代以上
ユニバーサルデザインが普及し、他の人への思いやりが出来る社会。	女性	50代
できる範囲での仕事の提供をする職場がある社会(最低賃金がじゃましている)。	女性	50代
福祉にかかわる人が多く(高齢者・障害者1人にかかる人数が多い)理解のある社会。	女性	20代
高齢者でも障害者でも健常者でない、すばらしい面を持っていると思うので、その分野を十分に伸ばし、社会貢献していただける領域までもっていけるような社会。	女性	30代
高齢者も障害者も周囲の人達から変な目で見られない社会づくりが必要だと思います。差別のまなざし0(ゼロ)運動を！！	男性	70代以上
誰もが(高齢者も障害者も)社会参加、社会とのつながりをもてる社会。	女性	40代

### 1-(3)「健康的な生活を送れる社会」とは

内容	性別	年代
いつでも無料で人間ドックができる社会。	男性	20代
検診をもっと身近に感じられるように、いつでもどこで検診が受けられるかなどをたくさんアピールした社会。	女性	20代
病気、寝たきりになる前に予防、検診が充実した社会を望みます。	女性	30代
検診の受診率が高く、社会ぐるみで病気の予防に取り組んでいる。また、そのPRにも力が入っている社会。	男性	30代
定期的に検診、相談を受けられる機会を増やし、早期発見、治療が施せる社会。	男性	30代
誰もが定期的に健康診断を受けられる社会。	男性	30代
だれでもが平等に健診が受けられる社会。国民保険は町で健診が受けれるけど、社会保険は会社で受けられない人は町では受けられない。	女性	30代
健康について不安のあるときに相談できる窓口があり、健診等の受けやすい社会。	女性	40代
万人が健康に関し、正しい知識を持ち(食生活についても)、健康を保つため、運動する機会が沢山あり、社会的にも健康であること、運動することが奨励される仕組みのある社会。	女性	20代
目標をしっかりと設定し、行政においてもそれを支援して頂ける社会。	男性	20代
もっと情報を流して、すべての人が健康に対し意識を高めあう社会。	男性	20代
健康であるかないかは個人の考え方次第。みんなが心身ともに健康であると自信を持って言える社会。	女性	30代
自分の体が動く間は「晴耕雨読」ができ、近所の人ともコミュニケーションをとることができる環境。心身ともにいきいきとできることだと思います。	女性	40代
子どもにきちんと食育の教育をし、生涯自己管理して、できる限り健康に暮らしていく社会。	女性	50代
国産のものが食べられるような経済の状態であること。働く場所があること。予防の医療が充実していること。	女性	20代

### 第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
自分の健康は自分で守る医食同源の理論を深く理解し、食改善の中で健康を目指す社会。	女性	30代
本当に健康な食べ物を食べ、思いやりのある社会。	女性	50代
家族で夕飯が囲める社会(そのためには勤務時間など考慮してほしい)。	女性	30代
仕事、プライベート、どちらも充実できる時間が取れる社会。	男性	30代
具合が悪くなったら無理せず病院に行けるような職場がある社会(皆が同じ環境の中頑張っている ので、「辛い」と言えずに倒れた方を何人か見ました)。	女性	30代
時間に追われることなく、規則正しく生活できる社会。日常生活で歩くことができる(会社も店もバス 停も遠く、本数もなく、ドアからドアに車で移動はNG)。	女性	40代
もう少し生活にゆとりがある社会。忙しい人間と社会的に休日がある人、暇な人、怠けている人がもう 少し平等に。	男性	50代
ゆとりのある生活ができる社会。	男性	60代
余暇の時間がある社会。	男性	60代
医療機関が夜間受付、休日受付できないのだろうか。	男性	40代
毎日の生活に不安がなく、趣味や生涯学習などを通して人との交流が出来る社会。	女性	60代
やはり貧乏な家族や失業中の人も健康で健全な生活が送れる社会。	男性	40代
身体的健康は、生物である以上「死」を誰もが迎えてしまう。精神的な健康(社会不安による自殺・精 神病など)が保てる社会。	男性	50代
若年者や中高年者の自殺、野宿生活、殺人等のない安心できる社会。	男性	70代以上
ストレスがあればうまく発散できる場がある社会。	女性	20代
心のケアができる社会。	男性	40代
差別なく誰もが幸せを感じる社会。	男性	40代
心と体がマッチした状態で生活できる社会。	男性	60代
相談のできる社会。	女性	70代以上

#### 1-(4)「安心して医療を受けることができる社会」とは

内容	性別	年代
医療圏ごとにきちんとした中核医療施設を整備し、少なくともその施設であれば24時間365日きち んとした診療が受けられる社会づくりが必要。	男性	40代
信頼できる医師が多い社会。	男性	40代
地域内にすべての医療サポートが充実している社会。	男性	50代
十分な医療設備が整い、信頼できる医師が揃っている病院がすぐ近くにある社会。	男性	60代
病院に行ったときに、先生や看護師さんが不足していると感じない社会。	女性	40代
24時間365日、すべての専門医による診断、治療、手術等ができる社会。	男性	20代
休日などにも近くで受診できるような社会。	女性	40代
国民健康保険制度のような、すべての人が医療を受けられる社会(アメリカのような貧富差による医 療格差はイヤです)。	男性	50代
どこに行っても同じレベルの治療が受けられる社会。	男性	70代以上
急な患者でも受け入れ体制が整っている社会。	女性	20代
医療や薬や手術に頼らない社会。	女性	40代
過疎地域へ医師の派遣を可能にし、みんなが医療を受けられる社会。	女性	20代
総合病院が複数あって、手術等をしなければいけないとき、自分で選べる。	女性	50代
山村部にも医師が常にいるような社会。	女性	30代
住所不定無職や保険証の不所持の者が刻々と迫る病におびえないでよい社会。	男性	20代
誰もが軽負担で医療が受けられる社会。	女性	40代
子どもが夜、熱を出したり病気のとき見てくれるところがない。夫が夜、救急車を呼んだときも、何分か 移送する病院が見つからず待たされたこと。夜間の医療体制の充実を望みます。	女性	30代
症状に応じて「マクロ」で見えてくれる病院と細分化されてより専門的に「ミクロ」で見えてくれる病院の連 携がとれている社会だと思います。	女性	40代
がんの死亡率が高いので、検査、治療が健康保険で最新最高のレベルで受けれる環境。	男性	50代
自分の症状からどんな医療機関を受診したらいいのかわからないので、どこかに相談できるといい。	男性	50代



内容	性別	年代
病院間の情報共有し、セカンドオピニオンが出来やすいシステムがある社会。	女性	30代
子供が夜間でも休日でも受診できる病院を作してほしい。	女性	30代
その地域の大きい病院によってはバスを出して治療ができ、病院に来れない高齢者は往診に来てもらえる医療社会。	女性	70代以上
病院の待合室が寄合所みたいになっていない社会。各自、目的意識を持ち、予防医療に力を入れる社会。医療機関への負担が重いなどと聞くと、先行き不安を感じる。	女性	20代
医療は充実してきているが、一人暮らしの世帯が増加。今後も増える。親子同居できるのが一番安心だと思う。同居支援策が必要。	男性	60代
地域によって診療科に偏りがあるので、もっと均等にあればいい。	女性	30代
不況の中、社会保険料負担は多くの家庭に重いものとなっている。収入が安定しているといいが、そうでない所への医療サポートを。(医師の資質向上や患者の検査・受診費用等の負担軽減を望む)。	女性	50代
患者のみならず医療関係者の負担も少ない仕組みの社会。	男性	30代
誰もが平等に医療を受けられる社会。僻地には医者が少ないと聞きますが、外国での実績を参考に、国や県がもっと積極的に取り組むべきだと考えます。	女性	50代
医療費負担が少ない、また、病院に行くことへの壁が低い社会。	男性	30代
低所得者にも平等に医療を受けられるような仕組み、医療を受けられる施設の充実した社会。	男性	30代
身近に受診可能な診療科目があり、病院等の情報(夜間、休日など)が得られる社会。	男性	30代
医療に対する正しい情報を知ることができ、高額な医療費を社会全体で支える社会。	男性	20代
国民年金でも安心して医療を受けることが出来る。年金生活でも病気をした時に不安がない社会。	女性	60代
高齢者が病院へ行こうにも、町の中心部以外では、交通の便が悪く、なかなか通院ができないので、この辺に配慮がされている社会。	男性	40代
病院が利益に走らない。保険制度を無駄遣いしない社会。	男性	30代
先進医療も都会並みの高度技術で対応できるようになる。	女性	40代
県病院が独法化して、安定した基盤のある総合大病院がない。経営に病院が向いてしまうとダメだと思う。	男性	30代
地域の中心、主要な場所に総合病院がある社会。	女性	20代
どの地域に住んでいても最良の治療を受けられるネットワーク。	女性	50代
必要なときに地元で治療を受けられるように。往診など充実させた社会。	女性	20代
休日、子ども病院が昼間は開いていない。医者に対する保障を高くし、昼も診れる環境をつくるべき。	女性	30代
医療品を過剰にあたえすぎない。予防医学をもっと普及してくれる医療。	女性	50代
医師が充実している社会。	男性	20代
きちんとした医療機関へのネットワークができていて、必要な時、進んだ医療を受けられる社会。	女性	50代
国民保険制度が充実している社会。	女性	20代
医療が充実しているところとしていないところの差が激しいので、その差をうめれる体制があること。	男性	50代
医療負担額を気にせず、診察を受ける事ができる医療社会！！	女性	30代

### 1-(5)「福祉・保健・医療」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
整形外科や皮膚科といった安易に金儲けができる病院ばかりが街中に増えており、小児科や外科などの必要な病院が少ない。	男性	60代
都会に比べれば、子どもや老人が住みやすい環境であると思います。少子化の中、地域で子育てをしていかなければならない時代だと考えます。	女性	40代
1年間ないし2年間を通して、医療機関(健康保険)を利用しなかった場合は、次の年度の保険料が下がる等の優遇制度等を考えてほしい。	女性	50代
小さな子どもたちを見かけると、この子どもたちの将来は・・・？この国のかたちは・・・？多くのことで不安になります。「安心」を整えるのが、政治・行政の役割かと・・・もちろん県民にもそのための責任や負担はありますが。	男性	50代
自宅介護をしているのですが、夜も寝ないで介護しているので手当をもっと増やしてください。	男性	40代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
僻地では何でも相談にのってくれて、治療もしてくれる医者がテレビで見た事があるけど、そういうのがあればよいと思う。	男性	70代以上
低所得で子どもや老人を抱えていると、老人の病院にかかるお金(入院など)がかかり、高額医療にならなくても生活に支障をきたし、働き盛りの人間が多少具合が悪くても病院に行けない。老人を施設や病院に入れたくても、月々の利用代が高く、働いたお金が大半を利用代にまわされ生活できなくなるし、妻が家にいて面倒をみれば収入が減り生活はできないし。国民年金で老人が生活できる社会にはなれないのか。	男性	50代
昔、佐賀県は老人医療の先進県だったと父から聞いた。なぜこんなに後退したのか。責任は県にあるのではないのか。	女性	20代
ドライマウスで、歯科、耳鼻咽喉科を数件回りましたが、納得する医療が受けられませんでした。県病院、医大で相談したいのですが、医者が紹介状を出さなければなかなか医療を受けることができません。また、セカンドオピニオンの考え方に立っても、佐賀県は遅れていると思います。新型インフルエンザの拡大時の情報が少なかったと思います。イタズラな混乱を避ける意見もあつたので、情報はもっと詳細にタイムリーにしていってほしい。休校を含めた感染の状況等、情報を受けて活用するのは、私たちの自己責任です。正しいあからさまな情報がほしいと思います。	女性	50代
寝たきりにさせない、病気にさせない方法に、もっと力を入れてほしい。また、介護する側にも支援を充実させてほしい。肝臓ガンワースト1返上を目指す。健康作り日本一。	女性	30代
老人になると検査やデータも大切だと思いますが、病院での医師、看護師の触診や言葉の交流が、何よりも精神的なやすらぎを感じるものです。医療の原点だと思います。	不明	70代以上
これから先、保育所等の整備を行うより、老人介護の方に力を入れていって欲しい。子供が減ってきているので、子供は会社の福祉で面倒をみて、老人介護者の助けがもっと充実すれば、介護疲れをもっと取り除けると思う。ある市役所に保育スペースがあつたのはいい事だと思つたし、まずは役所から実践していきもらい、徐々に会社関係でも取り組んでいって、社会全体が同じように考えられたら、ずいぶん働きやすいと思う。	女性	40代
日本が貧しい時代を生き抜いた人間から感じるのは、今の時代はありがたい事ですが、貧しい時代を知らない人々は今以上と思うのでしょうか。求めるのもほどほどに日本の為、県の為、子供達の為。	男性	70代以上
病院への入院期間についてですが、経営的な要因もあろうけど、完治せず長引きそうな患者を期間(3ヶ月位)で他病院へ移したり、退院させたりは人道的に反していると思う。特に老人の方に対して・・・。	男性	20代
先日、児童センターを利用したいと思つた際、住民以外は利用できないという事でした。出かけ先で、おむつ替え・授乳する場所がなかつたので、児童センターならできると思つたのですが、とてもかなしくなりました。県内の人全部が自由に使えるようにしていただけたら良いと思うのですが、無理なのでしょうか。利用票は書くのは構わないのです。育児に行き詰まり、ああいう場所がちょっとあるだけで行ってみようかなと足を運べます。子育てばかりが問題ではないと思いますが、ちょっとでも改善できたらいいなと願います。	女性	30代
低所得の人でも、高い薬を買えたり(良く効く薬)高度な医療を受けられる様にしてほしい。	女性	50代
公立の医療機関の休日に疑問。シフト制にして24H年中無休にして、老若男女の生命を守って欲しい。医学部進学生へのスカラシップをもっと充実し、県内へ勤務すれば税納で完納と考えるような方法はないのか？	女性	30代
がん検診を受けるきっかけがあつても、仕事や学校の都合で受けることができないので、受けやすくしてほしい。	女性	20代
地元のスーパーなどの大型駐車場に障害者専用の駐車エリアを見かけるようになってきた。いいことだと思つます。でも、そういう場所に平気で車を停める一般の人がいるのがとても残念。	女性	20代
高齢者が多数を占める病院は、病気を治すことより暮らす生活の場になっていることが多い。リハビリをして元気になっていられる人もいますが、ボランティアによる言葉かけ、季節ごとのささやかでもいい催し物等、心のケアがほしい。	女性	70代以上
夜間診療、救急医療の充実を図ってほしい。	男性	40代
若い者は生活がありますので働かないといけません、病気の親を抱えるとそういうわけにもいきません。そこをもっとサポートしてほしい。	女性	40代
いつでも運動できる施設が近くにあり、安価で施設利用できるとよい。自己管理ができるよう、高齢者がもっと外に出かけることができるよう。	女性	50代

内容	性別	年代
救急車で運ばれて受け入れ先がないために死亡するケースが時々あるが、そういうことがないように対処してほしい。	女性	40代
難病特に海外での移植など余儀なくされる方・家族などに対して、無金利の貸付けなどあればいいと思う。ほとんどの方は募金に頼り助かる命も助からないのではないのでしょうか。	女性	50代
医療費が生活費の中でかなりの部分をしめる時がある。健康でないと貧しくなる。	女性	40代
出来るだけ佐賀県内の病院を利用したい。	男性	60代
延命治療の必要性はあるのですか？あまりにも過ぎることはよくないと思う。医療費の面でもそう思うが、人間の命の生死は、自然に一。	女性	60代
県は情報を与えるのみで、その現状について知ろうという姿勢があまりみえない。インターネットで配信すれば済むという考えの様な感じがする。しかしインターネットの整備状況が県内でどういう状況か把握してあるのか疑問です。また、県のホームページも検索し難く情報が古いものもある。	女性	40代

## 2. 「教育・文化・スポーツ」分野

### (1) 「子ども一人ひとりにとって望ましい教育環境」とは

内容	性別	年代
徳育ができる社会。	男性	40代
学ぶ楽しさを教えている環境づくり。	男性	50代
子ども一人ひとりが善悪の判断をしっかりとできるようにするような教育環境を整えてほしい。	男性	60代
勉強以外で個々の得意な好きな分野で HERO になれるシーンが学校内外である環境。	女性	40代
先生1人に対しての生徒の数が少なく、生徒それぞれにきめ細やかな対応のできるような環境。	女性	40代
ある一定水準の基礎学力を身につけさせうえて、将来、社会で様々な困難な問題に向っていくうえて、問題の解決能力を身に付けさせるような環境。	男性	50代
まず何よりも「家族」の基盤の確立。子育てやしつけを学校のみ押し付ける考えは払拭されるべき。学校と家庭の信頼関係を築くこと。	女性	20代
大人の目がいつも近くにある環境。	女性	20代
先生と生徒のコミュニケーションを常にし、子どもの豊かな心を発揮する環境。	女性	20代
なにかしたい、勉強したい、と思ったときに誰にでもチャンスがある環境。	男性	40代
子どものしつけを父母が責任を持って進めることができるような社会環境の実現→共働きをなくす！	女性	60代
一人ひとりの個性を伸ばせるような環境。	女性	30代
地域の子も自分の子どもとして注意し、怒ることができるような環境が望ましい。学校の先生方は対応に苦悩していると思う。親の寛大な気持ちがほしい。	女性	60代
一人ひとりに望ましい環境なんてありえない。	女性	60代
父親は父親として、母親は母親として、教職者は教職者としての役割(あるべき姿)をしっかりとつかみ、それを日々の生活の中に実行していること。	女性	50代
まずは基礎学力の定着を目指し、“自分で物事を考える”という思考過程を身に付けさせるべきである。新聞を利用して教育したり、自分の考えを人前で発表する力を向上させるべきだ。	女性	20代
みんなが一定の学力を身に付ける教育環境。	女性	40代
基本的に「しつけは家庭で、社会的・学習教育は学校で」と思っているため、昔のように詰め込み型の学習は望ましい教育スタイルだと思っています。あと、もっと社会性を育ててほしいです。	女性	40代
成績のことはあたりまえだけど、家庭でのしつけなどが大事だと思う。昔のように他人の子どもでも叱るというように、みんなで見守ったらいいいと思う。	女性	60代
心が安らげる環境から伸びる。子ども達にも心の安らげる場を。	女性	60代
今は少子化で子どもが少ない分、あまりに周りが1人に干渉しすぎだと思います。もう少し自由にできる環境に・・・。	女性	30代
現在の学校の休みが多すぎる。もっと昔みたいに教育の時間を多くすべし。	女性	70代以上
これからの日本は国際競争力を再び重視してゆかなければならないと思います。ゆとり教育をしているのんきな場合ではない。語学が最も劣っていると思います。子ども一人ひとりの能力を専門的に伸ばせるスペシャリストを育てる教育環境を望みます。	女性	50代
ゆとりある教育と環境。	女性	50代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
教育設備を充実させることも大切だが、例えば、小学校の担任2人など、多くの大人の目と言葉で指導できる仕組みがいいと思う。そうすると学力向上や非行・イジメもなくなる環境になると思う。	男性	30代
学校全体、地域・社会全体が一体となって、今起きているいじめ、事件、事故が起きないように、情報交換。又、豊かに個性を伸ばしていく教育環境。	女性	70代以上
子どもの自立するような教育。親が教育に口を出さない。	男性	60代
横並びの教育(私感ですが)はやめてほしい。個性というものがあるので、基礎学力は厳しく指導して、休みは少なくして、もっと勉強すれば将来に希望が持てるという教育。	男性	20代
小・中・高ともに学校がのびのびと行ける環境を作ること。	不明	60代
子ども一人ひとりの学習能力にあった教育を行える環境。	男性	50代
子ども達の将来の選択肢を増し、それを叶えてあげられる様な、教育環境の整った社会。	男性	20代
子ども一人ひとりに教師が接する時間が十分とれる。	女性	30代
価値観を単一化しない環境。多様な感覚を子どもに与えられる学校。	男性	20代
頑張ればお金がなくても望む道に進める社会。	女性	60代
もっと独創性を養う教育をしてほしい。ゆとり教育も大切ですが、一番、脳が活発に働いている子どもの時期は、しっかり勉強させてほしい。詰め込み大いに結構。	女性	50代
しつけもちゃんとしつつ、個性を伸ばせる環境。	女性	40代
地域の人々ともふれ合うことのできる行事がたくさん行われている環境。	女性	20代
厳しさと愛情のメリハリがある教育が行われる環境。	男性	30代
特別支援教員スクールカウンセラーに専門知識の高い人を派遣してほしい。スクールアドバイザーは、中立的立場の人(教員退職者外)。小中少人数制。	女性	40代
自然が豊かで、危険の少ない環境。	女性	40代
望んだ教育を受けられる環境。	女性	20代
子どもが思いっきり遊んで勉強できる場所であること。非常識な親の都合、やる気のない教師の都合で子どもの教育自由が制限されない環境。	女性	40代
子どもの意欲がある分野をさらに高度な教育を受けることが出来る社会。	男性	20代
子ども一人ひとりのためのカウンセリングの時間確保。授業の2人担任制。	男性	40代
地域の人がある子の子の名前、家、親を知っている。悪いことをしても、地域の人から親に情報が入る環境。	男性	30代
いじめがない！学力も大切だけど、心にゆとり、思いやりを持つ、持たせる環境。	女性	30代
一人ひとりのよい個性が発揮される教育環境です。よい個性はほめる。悪いことをすれば叱る教育。	男性	40代
保護者と学校がよく連絡しあって、自分の子どものことが保護者に伝わり、どう伸ばしていくか保護者も子どもと一体化することが望み。	女性	70代以上
子ども一人ひとり顔や性格も違うのだから、その子の素質を見出して伸び伸びと教育できる環境をつくる。	女性	50代
子どもが先生を尊敬できる関係が保たれ、学ぶことが楽しいと思わせられる環境をつくること。	女性	40代
少人数学級の実現。言葉の教室をもっと増やしてほしい。障害者に対する専門知識を持った職員の増加。	男性	30代
安心して通学できる公立、小、中学校が少ない。一人ひとりの子どもの可能性が開ける環境がほしい。不登校の子の教育の場の確保ができていない。教職員は熱意と愛情をもって教育してほしい。	女性	40代
中間に合わせた教育だけでは、最終的に社会に出たら駄目だから、個性を重視した競争のある環境。	女性	50代
教員の数が充分にある。子ども一人にかかる時間をとることができる環境。	女性	20代
その子の特性に合った勉強ができて、学力も十分に伸ばしてあげられるような教育で、他の子との競争ではない、その子の中で100%を目指せる教育環境。	女性	30代
安心して公立学校にまかせられる環境。	男性	40代

## 2-(2)「歴史や文化にふれ、楽しめる社会」とは

内容	性別	年代
文化行事の情報が入り、文化的、歴史的資産が保存、活用されている。	女性	60代
歴史に残る人物、建物の保存、アピールにさらに力を入れ、みんながそれを見たり、知ったりできる社会。	男性	50代
地域の歴史や遺跡、文化財をもっと前面に出して、詳しく面白く話せる人などに表現してもらおう。それをまず大人が親しむ。	女性	30代
生活していくのが精一杯で、私の場合、今現在は興味ないです。	女性	50代
一部地域では、歴史的建造物に触れ合うことができるが、そうでないところが多い。地域分散も必要ではないか。	女性	70代以上
学校でも折にふれ、地域の歴史や固有の文化について学習できるような社会。	女性	40代
核家族化とともに、地域の文化は核化しているようですが・・・。	女性	50代
今の私たちの考え方では想像もできないような昔の考え方や、在日の方々の異文化の考え方など、違う考え方にふれられる社会がいいですね。	男性	50代
歴史的なところへ行っても、それだけではなく、他のものも一緒に楽しめる社会。	女性	20代
大島邸という素晴らしい建築物を安易に壊さない社会。	女性	40代
学校教育で佐賀の歴史をもっと力を入れてほしいし、課外授業でも取り上げてほしいし、特に幕末の佐賀の七賢人に対してもっと詳しく教育してほしい。	男性	60代
たくさんの遺跡・城跡があること、見ているだけで古代に思いをはせることができる社会だと思います。	女性	40代
伝統・地域行事など守り、伝えていく事。そして地域(子どもは小学校など)で披露して、その良さを感じてもらおう。	女性	50代
地域の(方言、古来の行事)文化が失われている。子どもに地域の伝統文化を教えるべき。	男性	60代
先人が残してくれた知恵や技術や生き方にふれ、心豊かになれる、そんな場を提供していただけること。	女性	60代
学校で文化行事などに強制的に参加させないとダメ。今は興味のある人だけふれあう様な状態なので、何も知識の無い人へのきっかけを与えられていない。	男性	30代
県というより「地域」ごとの歴史や文化の情報が十分に発信されていない気がする。また、佐賀市文化会館をもっと多用して、全国の多くの文化・芸能を直接県民に広めて欲しい。	男性	40代
地元から日本、世界のいろいろな文化や歴史をわかりやすく紹介する展示、講演等の充実。	女性	30代
地域ごとの歴史の展示、文化を大事にし、次の世代に分かりやすく受け継ぐような社会。	女性	70代以上
もっと地元の歴史を誰でも学べるように工夫して、地域で行える社会。	女性	50代
子どもは学校の道徳で取り入れてもらい、大人は自分でも知りたいという気持ちを持つててらる方であれば、どんな手段を使ってでも調べる、追求するとかで、自分なり歴史的な文化を知り、楽しんでいくのではないのでしょうか。	男性	50代
小さい頃から地域の歴史や文化に親しめる環境を整備する。	不明	不明
博物館等でのイベントが多い社会。	男性	30代
身近に歴史のある社会。	女性	20代
佐賀の歴史、人物についてのちょっとした話、雑学など、県外の人にちょっと話ができる程度に学ぶ機会があること。史跡がきちんと管理されていて、散歩の途中に立ち寄りたり、県外の人に案内しやすいようになっていること。	女性	40代
身近に気軽に行ける施設があり、多彩な行事に参加できる社会。	男性	50代
大部分の人が地域の伝統文化等よりも社会を優先せざるを得ないのが実情ではないかと思うので、歴史や文化に理解のある環境をつくり出す必要があると思う。	男性	40代
自分の生まれ育った環境を知る機会があり、誇りを持つてる社会。	女性	20代
博物館の展示内容を充実させ、わかりやすく展示されている社会。	女性	20代
自由に参加できるように、人から押し付けられず、自分から進んで参加する。	男性	70代以上
興味のある人が、研究・研修すべきで、すべての人を対象にしなくてもいい。施設の無駄。	男性	60代
地域の伝統行事等が意味合いも含め受け継がれること。そのため、おじいちゃん、おばあちゃんとの同居を好ましく思う。	女性	50代
小学生の間は、学校行事より地域の行事を優先させ、地域全体で子どもに文化や歴史にふれさせてほしい。	女性	50代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
地域の伝統行事を見ても、若い人の姿が少ない。歴史ある伝統文化は本当に後世に伝えてほしいと思うので、学校の授業の中でも取り上げてほしい。	女性	30代
頼まれたら、出前講座をお茶の間まで届けてくれるような、形にとらわれない工夫のある社会。	女性	30代
特別に管理人がいなければならない展示場より、自由にその時代に入っていける様な、見学する人も歴史を大切に思い、それを自分の身で感じていける様な、生活の場と一体になるような場所があればと思う。	女性	60代
伝統文化も、無理なく自然に受け継がれるのがよいと思う。	女性	50代
美術館や映画館、伝統工芸館などの文化施設が整っている社会。	女性	50代

2-(3)「生涯学習を楽しめる社会」とは

内容	性別	年代
いろいろな人の話や意見を聞く機会が多く、身近にある社会。	女性	20代
講演会や講座などは、開催は少なからずあるとは思いますが、それに興味を持てるようなプレゼン(紹介)の場・機会がないので増やす。	女性	20代
生涯学習を生かせるように機会がある社会。	女性	20代
選択肢がたくさんあること。年を取ると遠くには出かけられないので、公民館などで複数の講座やイベント、発表会などでできればいいのでは。	女性	30代
子連れでも参加できる講座。	女性	30代
様々な興味に対応できる講座やサークル等の充実している社会。	女性	40代
講演会、図書館などが、いつでも活用できる社会。	男性	40代
いつでもどこでも誰でも学習の機会、場が得られる社会。	男性	50代
学びたいときに学べる社会。	男性	70代以上
求めれば受け入れる態勢の整った施設や団体がある社会。	女性	40代
母は70歳代です。とても健康です。もっと毎日を楽しみ過ごしてもらいたいと思っています。生涯学習という面では市域でも複数の講座が開かれている場所がありますが、送り迎えが必要な遠方で、バス路線のアクセスが悪く、利用したくても利用できない現実がある。「やってみます」だけでなく、そこへ多くの方々が足を運べるような行政サービスも合わせて考えてください。	女性	50代
地域ごとでも、市町村ごとでも、本も、施設も、利用も、充実している場がある。休日子ども達が集まって勉強できる場がある社会。	男性	50代
年齢に応じた学びの場が提供されている社会。図書館が小さいので、冬になると学習室は受験生でいっぱいになるが、あふれて、横で勉強している子どものそばで小・中学生が遊んでいたりが気の毒です。	女性	20代
地元の図書館の冊数が少なく、佐賀市立図書館まで借りにいけないといけない。全ての用事が、その地区その地区でできるようになったらいいと思う。	女性	40代
定年後の勉強、スポーツ、他等に講演、講座を開催し勉強の場が多い事。	女性	60代
高齢者大学卒業した人も、時間が経つに従って社会に役立つことをしていないように思うが、もっと内容を社会参加型の内容にしたらと思う。	女性	70代以上
年齢を越え信じ楽しめる社会。	男性	70代以上
今はあまりにもお膳立てがよすぎて…。かまえることばかりでなく、年を重ねてくるとまだ知らないことばかりで…。これが学び取る“時”、まず自分から知りたいと思う気持ち。	女性	70代以上
いろんな分野の講演会を頻繁に行うことで、子どもから大人まで学べる環境になる。	女性	20代
お年寄りになって勉強！？という偏見があると思う。そんな考えを壊して、死ぬまで人は成長できるんだ！！という社会の実現。	女性	20代
本人がやる気を出せば道はいくらでもあると思います。	男性	30代
心に余裕が生まれる社会。	男性	40代
自己の向上心のみにあると思う。	男性	70代以上
環境は整っていないなくても立派に生涯学習できている人はたくさんいる。	女性	70代以上
自分で努力するもので、他力に頼るものではない。	女性	40代
生涯学習は個人でもできる。	女性	50代
自身の生きがい社会。	男性	50代

内容	性別	年代
身近に生涯学習について話す人がいない。そういう人がいないのが問題だと思うので、情報をもっと流れないといけないと思う。	男性	30代
生涯学習は中高年だけのものではなく、若い人、仕事をしている人も参加しやすくし、何が開催されているか情報が得やすい社会。	女性	30代
だれもが気楽に勉強できる社会(もっと情報等が得られるようにする)。	不明	不明
人生は一生勉強だと思うので、「生きる楽しみ」がわくような社会にしてほしい。	女性	30代
自分自身が生涯を通じて「理想とする自分の姿」を持つことができ、その理想に近づくための助けとなる「相談」がすぐにできる社会。	女性	40代
少し余裕のある生活ができる社会。	男性	50代
学習したことが生かせる社会。	女性	30代
生涯学習をするためには、まず、生涯働いたり、人のために役立つ場面がなければ、学習したことをいかすこともできない。退職者の社会参加できる社会。	男性	30代
学習の成果を気軽にらせる生活の場が多い社会。	女性	40代
仕事を辞めても趣味などが生かせる場所が充実している。	女性	50代
いつでもどこでも機会があること。県の中心部に偏在している。	男性	60代
働きながら夜間に通える大学、大学院等がある社会。	男性	50代
何か打ちこめる事をみつけて仲間をつくり、社会とかかわりながら暮らせる社会。	男性	50代
働く世代は現実足を運ぶ時間がないので、今やっている公民館活動で十分。	女性	50代

## 2-(4)「スポーツに親しめる社会」とは

内容	性別	年代
子どもから大人、高齢者まで幅広く親しめるスポーツ設備・施設があり、みんなそれぞれ笑顔で楽しめるスポーツ大会。	女性	20代
スポーツ施設へのアクセスが容易であること。努力することが恥ずかしいことではない社会。小・中・高ずっと佐賀で育ってきたが、努力する者を笑いのものにし、足を引っ張る傾向が少なからず見られる。	女性	20代
だれもが使用できる広いグラウンドなどが近くにないので、運動する為に車を使い、遠い所へ行く。その運動するまでの負担が少なくなる事が望ましい。	男性	30代
佐賀県には多くのスポーツ設備があるが、夕方6:30までなど、時間が限られていて、やりたい時間にできない。また、市、町、村立の設備が自由に使わせてもらえない。	男性	30代
町民プールなど設置してほしい。	男性	40代
いつでも自由に出入りできる場所が少ない。管理体制での見直しが必要と思う。	男性	40代
夜も利用できる公共のジム。	女性	40代
設備が整備され、いつも自由に活用できたらいいと思います。	女性	40代
“身近なところ”に気軽に利用できる広場や施設・・・あるようでない。高齢者や子どもにとっては遠いところだったりすることが多いように思いますが。	男性	50代
年代に応じたスポーツができる施設があること。	女性	50代
地域の中で施設が利用できる情報をもっとあれば、スポーツを親しめる環境ができる社会になると思います。	女性	50代
仕事終了後、深夜にかけて利用できるスポーツ設備が充実している社会。	男性	50代
現在、スポーツをしていて、十分に親しんでいます。町の体育館を利用していますが、設備が充実していません。地域格差をなくしてほしい。	女性	50代
料金が安く、市立や町立のスポーツジム、もしくは卓球場、スカッシュなど、ごく簡単なスポーツのできる所があればいいと思う。	女性	50代
構えずにいつでも手軽にスポーツが楽しめる施設や環境を整えてほしい。	男性	60代
スポーツ施設の充実、町内会対抗のスポーツを増やす。	男性	60代
広大な土地に野球・ソフトボール・サッカー・グラウンドゴルフなど、一ヶ所でスポーツができる所がない。	男性	60代
施設等が中心部にあり利用しにくい。	女性	60代
もう少しスポーツ施設があったらと思う。	男性	60代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
スポーツをする施設があって、お互い知らない人と楽しめるスポーツセンターを作してほしい。	不明	不明
社会体育になったので、部活動指導者がいなく、子ども達がスポーツをする機会がかなり減っている。	女性	30代
親が必ず参加しなければスポーツ活動ができない状況。仕事をする親の負担は大きい。	女性	30代
地域と学校が連携をとって進めていくスポーツ青少年育成システム。	女性	30代
私の故郷ではスポーツが盛んで、夏休みも地域別、球技、駅伝大会、冬休みもマラソンなど必ずあり、子どものころは嫌でしたが、それが当たり前だったので楽しくできていました。また、九州一周駅伝の応援をするのも小学生のときは当たり前でしたが、佐賀に来て、「応援とか行かない・・・」と聞き、少しがっかりしました。	女性	30代
学校の部活の指導は教職員だけでなく社会教育にゆだねてもいいのでは。	男性	40代
本人のしたいスポーツをさせられない。親が送迎などしなければならず、子どものスポーツに親が出ないとスポーツをさせられない。送迎を出来ない家庭だと、親が大人のイジメにあう。	男性	40代
部活動など、今、親の負担が多く、経済的に無理が出て、部活動などに参加できない子どもたちも増えている。	男性	50代
子どもが小学生のときから町のサッカークラブに入り、よき先生に恵まれ、親子共々楽しい思い出がいっぱいです。現在もサッカー続けております。	女性	50代
小さい時から体を使う事を楽しめるよう、公園等の設備が充実している。団体で行うボール競技は施設利用が手続きの簡単な方が良い。	女性	50代
中・高生が、部活に入っても入ってなくても楽しめる、また、自分探しができる施設が多くあってほしい。	女性	50代
学校体育や部活動が充実している。	女性	60代
自分さえやる気があれば社会体育はできるが、子どもたちにとっては学校規模が小さいとできることが少ない。	男性	60代
他校区の学校と合同で部活動とかしたら、もう少し充実できるのでは？地方学校の少人数ではできない事もできるのでは？	男性	70代以上
苦手な人も得意な人も勝ち負け関係なく楽しめる社会。	女性	20代
「身体を動かすことは楽しいね」と教えてくれる(経験させてくれる)社会。自身、スポーツが苦手で楽しいと思ってスポーツをしたことがないので。	女性	40代
車社会の佐賀では、基礎体力が落ちる一方で、個人で何かをするのもウォーキングぐらいで。親しめる環境にはなっていると思いますが、あとは個人の参加したいと思う気持ちの持ち方だと思う。	女性	40代
スポーツをする人、観る人が増え、楽しんでやっていること。	女性	50代
太極拳とかラジオ体操、簡単なレクリエーション等、広場と運動場等で年齢層を関係なくできるような雰囲気があればよい。	女性	50代
スポーツは一流になる為でなく、コミュニケーションの場になるようにする。温泉つきのバレーコート、テニスコートなど。	男性	60代
手近なことから段階を追って楽しみを感じる社会。	男性	70代以上
誰もが親しめるスポーツは限られている。観戦でも親しむことになると思うが、スポーツ観戦バーや施設がないから充実させてほしい。	女性	20代
他県に出なくても県内で選手やチームがレベルを上げられること。スポーツのテレビ中継。	女性	30代
鳥栖スタジアムは言うまでもありません。プロ野球(セリーグ)の県営球場開催。	男性	40代
若者のスポーツ競技など、応援など行けたら良いなと思います。	女性	70代以上
地域に社会人用のチームがあるとやりやすい。	女性	20代
スポーツ活動の機会や情報が少なすぎると思うし。気軽に参加できるようなサークルができてほしい。	男性	30代
地域であっているスポーツ(グラウンドゴルフ、ゲートボール、卓球など)は、限られた人で、なかなかいつでもは入りにくい。他の個人施設に行っている人が多い→金がかかる。	女性	70代以上
スポーツとは何か？野球、サッカー、ゲートボール、バレーボール等ばかりではない。中高年でもできるもの。例えばジムで体を鍛える(維持)。また、エアロビクス等の施設が少ない。	男性	60代
スポーツは青少年だけでなく、年齢別のスポーツ競技があってよいのではないのでしょうか。高齢者のゲートボールは確かによくやられていると思います。野球・サッカー・ゲートボールは盛んですが、ハイキング・登山など幅を広げてもらいたいと思います。	男性	70代以上



内容	性別	年代
老人のためには、競技することより、現在の体力を維持できるよう指導者がいて、参加できることが望ましい。	女性	70代以上
世界、アジア、国内で県出身の子どもが活躍している。新聞とかもバドミントンのようなマイナースポーツを取り上げるべきだ。県外に有能な子が出て行くのは残念。	男性	50代
他県と比べ強いスポーツ、科目を助成・集中。	女性	60代
どこの体育館が一時間くらいで借りれて、どんな競技ができるのかという情報が少ないので、まめに情報誌に載せてほしい。	女性	30代
みんなが楽しんで出来るスポーツが出来ないし、情報がない。進んで出来る運動があればいいなあと思う。例えばヨガとか、だれでも出来るスポーツなど。	女性	50代
サガン鳥栖のスタジアムに足を運びたいと思えるようにしてほしい。	男性	20代
せっかくサガン鳥栖というチームがあるので、ふれあい教室の日程をたくさん組んでほしい。	女性	30代
いろいろな大会が数多くあり、好きな人がたくさん大会に参加できるような社会。	男性	40代
いろんな分野のスポーツ活動が盛んで整備が整った社会。	女性	20代
大きなイベントより小さなイベントがたくさんあれば親しみやすい。	女性	30代
各企業が体力作り、健康増進の為に社員に教育するような社会。	男性	50代
公民館事業の市民が無料で習えるスポーツ講座を充実してゆけば、もっと地域でスポーツに親しめるのではないかと思います。	女性	30代
障害があってもやれるスポーツ。障害者のためのスポーツ行事がない。	女性	40代
スポーツ指導員が少ないと思います。	男性	60代
少し余裕のある生活ができる社会。	男性	50代
地域のレクリエーション。	男性	50代
現在は多様なスポーツが日本に入ってきており、それが逆に関心の分れを誘発していると思う。よって佐賀のスポーツといった様の一つ決めて力をそそぐとよいのでは？	男性	20代
代表ばかりスポーツを楽しんでいる。全体で楽しめるスポーツを充実する。	男性	40代
芝生のグラウンドをもっと増やしてほしい。	男性	50代
県の出身者で有名な人から順次講演を行う。プロスポーツ全般。	男性	50代
もっと予算があっていいと思う。	男性	50代
地域でスポーツ活動があっても、いつも同じ人しか出てこないの、初心者でもみんな楽しんでできるスポーツを取り入れたり、プロとの交流を増やせばいい。	男性	50代
スポーツは個人々の差があるので自由でよいと思う。	女性	50代
なにも汗を流すだけでなくいい。スポーツと言わず、“体を動かすこと”と表現すべき。	男性	60代
団結心が強いのはいいことだが、新しく入り込めない雰囲気がほとんどである。	女性	70代以上
十分スポーツをする環境はできている。人それぞれスポーツに関心、興味ある人ばかりでない。	男性	70代以上
今は学校で自分の好きなスポーツを選べるので、子どもは恵まれていると思います。1人の人間が成長していくには、うれしかったり、くやしがあったり、根性と努力です。	女性	70代以上

## 2-(5)「教育・文化・スポーツ」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
就業者でも参加可能な夜間の運動教室等の実施を希望。	女性	30代
スポーツ施設をつくっても、利用料金が高かったり、2倍に値上げして利用者を減らしている。何のための施設かわからない。	男性	30代
指導員の育成を行い、どんどんスポーツをやってもらいたい。	男性	40代
スポーツ教室など平日に行われていることばかりなので参加できない。	女性	50代
金がなくてもスポーツはできるという人もいるけど、何をすることも金が付いて回ってくるのである。	男性	50代
佐賀は人材供給県になっているのでは？いい選手がいても地元での受け皿が少ないと思う。	男性	60代
各スポーツの情報が少ない。	男性	70代以上
子ども達の夢を叶える為に必要な専門的な知識を学べる専門学校等が佐賀県には不足していると思う。また、その支援も不足している。	男性	20代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
基礎的な学力を上げてほしいです。それとあわせて社会的に生きていく力も上げてほしい。資源のない日本にとって、唯一、資源となりうるものが「学力」「研究力」「社会力」といった「人の力」だと思うからです。	女性	40代
佐賀県を愛する、地元のためにやっいてこうとする子どもたちの育成を目指す教育であってほしいと思います。単にテストの点がいいことが、一流大学に入ることが目的であってはいけません。	男性	50代
偏差値の高い優秀な子ども教育よりも、社会に役立つ有能な子ども教育(心の教育)。	女性	60代
環境空気には恵まれても、都会と比較すると充実した人材施設等の不足のため、優秀な人(勉強できる学生)は自然的に多方面へ流れているように思うので、いかに引き止めるかを図って行くことが大切と思う。	男性	70代以上
子どものクラブ活動での親の負担が大きい。	女性	30代
子どもだけでも簡単に参加できる行事やスポーツ環境を整えてほしい。	女性	40代
子どもの教育費に大きな負担がかかる。	男性	50代
教職員の採用を増やし、子どもを見る大人の目を増やしてほしい。保育所の数と保育士を増やしてほしい(60才以上の育児経験者の活用など)。	男性	30代
教職員が熱意を持って子どもたちに接していない人が多い。もっと子どもたちの意見を尊重してほしいときがある。	女性	40代
子どもの情操教育が今一つ物足りない。それと教職員の資質の向上が必要。厳しいほどの研修研鑽をすべし。指導者の質で子どもは変わる。	男性	70代以上
佐賀の歴史文化が他県より魅力的だとアピールするのは限界がある。他県とつながり、歴史のつながりも分かるようアピールしていけないのか、と思います。	女性	20代
文化的(講演会、美術展、スポーツ大会等)な催しごとがあまりない。青少年には多くの機会があればと思う。	女性	60代
気軽に利用できる施設を増やしてほしい。使用料金が高かったり、いろいろな規制があって利用しにくい。	女性	50代
自分の時間に合わせて使える施設とか講演のビデオ。	男性	60代
情報の取捨選択は発信する側でなく、受け取る側が選ぶので、いろんな情報を発信してほしいし、それを得る方法をわかりやすくしてほしい。	男性	60代
各自治体に図書館があり、本も充実しているので利用させて頂いております。子ども達にも本が身近に感じ、読む習慣がつくように読み聞かせをもっと行ってほしい。	女性	30代
東京のある区では、60歳以上の人を対象に介護予防をして、スポーツ等を含むカルチャーが、無料で好きなとき好きなだけ利用できるそうです。そうなんと最高！！	男性	60代
公民館の活用の幅を広げて、教育、文化、スポーツ、曜日だけ決めて、誰でも参加できるような場を用意したらどうかと思います。教員の免許をもっている人、文化、スポーツに秀でた人を講師に、寺子屋風な教室を充実させれば、自然と、子ども達の学習量、情報量、体力も増加して、すばらしい大人へと成長していくのではないかと期待しています。	女性	30代
発達障害児の教育のサポート(支援)をきちんとすべき。中高生になって多くの子どもが挫折している。	女性	40代
講演会や体育、文化行事にしても、主に“県部”に集中。やはり地方に住むとそれだけでもマイナスです。小さいときから本物を見たり、ふれたりすることは何より大切なのですが・・・。	男性	50代
部活動やスポーツクラブ等の活動が優先される様になり、地域の伝承芸能などの行事に子ども達が参加しなくなった。次の世代に文化等を伝えられなくなる。	女性	30代
博物館・美術館の展示についてですが、福岡や長崎など近県に比べても淋しいものですね。私の子どもも「長崎県立美術館に行きたい」と言うくらいです。博物館周辺の環境も含めて、魅力あるものにできませんか？	女性	40代

## 3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

## (1) 「人や物、情報の交流がスムーズにできる社会」とは

内容	性別	年代
身近に電車など交通機関がある。	女性	20代
交通機関の充実。駅の周りにデパートをつくるなど、人が来やすい環境をつくる。情報の交流も興味を引くように提供するとスムーズ。	女性	20代
交通の便がよい。	女性	20代
交通に関しては、もっと便を増やすなどして、使いたいと思うような社会にしてほしい。	男性	20代
駅やバスの利用がしやすい。	女性	20代
公共の乗物の整備が進んでいる。その点、佐賀は大変不便。	女性	30代
公共交通機関が整っている社会。	女性	30代
交通網が発達していること。車が運転できなくても、ある程度不自由しない程度に公共交通機関が発達している社会だと思います(バス便が行先・便数ともに少なすぎです)。	女性	40代
町内だけのバスがあつて、高齢者、子どもは激安で乗れたらいいと思う。	女性	40代
交通網の整備。	男性	40代
公共交通機関が発達している社会。核となる施設をたくさん作って自由に選べる社会。	男性	50代
もっとコミュニティーバスや乗り合いタクシー等を整備！気楽に外出ができるようにしてほしい。	男性	60代
空港、新幹線などの無駄をなくし福岡へのアクセスをちゃんと整えた社会。	女性	50代
空港があつてもうまく利用されていないし、アピールが少ない。もっと道路も空港の発着便も増やし、整備して利用者が増えればいい。	男性	50代
有明佐賀空港の便が多くなる。	女性	60代
人や物、情報の交流自体にあまりお金がかからない社会。	男性	20代
誰でも簡単にメールやインターネットが使えるようにできる機会がある社会。	女性	20代
インターネット環境の充実。快適なインターネットを行うための設備充実。インターネットを利用したことがない人のための活動を行う(ボランティア含む)。	男性	30代
システムの整備です。	女性	40代
ユビキタス社会。	男性	50代
今ほしい情報が簡単に入手できる社会。	女性	50代
新聞、テレビの情報、マスコミの信頼できる情報。	男性	60代
高齢者も参加できるインターネットの利用や交通網の保障がほしい。	女性	70代以上
広く整備された道。マナーを守る使用者。	女性	20代
道路整備。	女性	20代
道路の整備、バス路線の増便、インターネットを使つての情報開示の充実。	男性	30代
道路と乗り物。	男性	60代
長崎新幹線より、佐賀～佐賀空港～鹿児島線～鉄道でつなぎ、有明湾岸道路を早くつくった方がいい。	女性	60代
幹線道路をもっと整備。とにかく道路が狭い。歩道が狭い。	男性	60代
唐津⇄佐賀間の道路整備(佐賀医大に時間がかかる)。	男性	60代
佐賀は立地条件はいいところなので、道路等をもっと整備して交通がスムーズにできる社会。	不明	不明
全戸に光ファイバーを(山の中なのでまだ利用できない)。	女性	60代
幹線道路の充実。全世帯のパソコン普及と行政とのインターネット化。	男性	60代
インターネットやテレビ、ラジオで情報が得られる。	女性	70代以上
税金の有効活用。	男性	50代
赤ちゃんからお年寄りまで不自由なくスムーズに移動できること。	女性	40代
高齢者や障害のある方が、生活の為に移動するには困難な場合があります。移動手段を確保することなど。	女性	50代
渋滞緩和、わかりやすい標識、インターネットのわかりやすさやパソコン利用の普及、教育の充実。	女性	30代
混雑、渋滞を防ぐ。	男性	50代
新幹線ができればいいというのはさておき、インフラがなければ移動も生活もできないので、やはりインフラが整備された社会ということになるかと思っています。	女性	20代
手続き等が単純明瞭であること。	女性	30代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
渋滞することなく目的地へ行ける。歩道をつくる。	女性	30代
講演会等の数を増やし、みんながもっと知る機会をつくる。	男性	40代
都市化だと思います。	男性	40代
基本的な生活ができる地域になり、不便だと思う事がなくなる社会。	女性	50代
個々の家庭と同じで、お金がないと何もできない。もっと県民とよく対話をして税金を使ってほしい。今の知事のやり方に反対。	男性	60代
回覧板を充実する。	女性	60代
小学生までの子どもには子どもクラブを、65歳以上には交流の場を。	女性	60代
若い方から年配まで、もう少し支えあえる気持ちがほしいですね。物はたくさんありすぎて、大切さが欠けているので、交換しながら心の交流も必要です。	女性	60代
老いても夢を持つこと。	男性	70代以上

3-(2)「暮らしやすいまち」とは

内容	性別	年代
交通機関がたくさんある。充実している。	女性	20代
公園や遊び場が手に入りやすい交通機関。例えば公共機関を使って、そこから現場までシャトルバスを利用する。	男性	20代
バスや電車などの公共交通機関が充実しているまち。	女性	20代
交通に不便のないまち。	女性	20代
安全に移動できる交通環境が整っている。	男性	20代
市街地に活気があり、そこに行くまでの交通機関も充実している。	女性	20代
お年寄りが家にこもらなくていいように、交通の便がよく、福祉サービスが整っていて、買い物、文化的な活動に不便しない街。	女性	30代
交通の便が充実していること。	男性	30代
今、公共の交通機関が利用しにくい。マイカーがないと不便。→マイカーなくても色々な所へ遊びに行ける。	女性	30代
高齢者が簡単に移動できる手段、または、料金割引 or 無料化。	男性	40代
車のない人も動きやすいまちになると良いと思います。	女性	50代
公共交通機関など身近にあり、美しい景観が保全されている。	女性	60代
交通の利便性。物価の安定。福祉の充実した町。	男性	60代
交通が良くて店があって美しい景観がほしい。	女性	70代以上
利用しやすい交通機関が発達しているまち。	男性	70代以上
交通基盤が整っている(地方)。	女性	70代以上
交通の便利のいいことが一番望ましいことです。	女性	70代以上
高齢者、独り暮らしの方の交通手段が困る事のないような、1週間1度無料バスを出す。又、バス停の屋根付き、待ち場の設置、市街地に朝市みたいな毎週何曜日か開催をするまち。	女性	70代以上
小さなコミュニティーで独立的に生活もできるようになっているといい・・・(クリニック、買い物など)。	女性	30代
買い物、医療、職場等が近くにあり、交通も便利で、犯罪、災害も少ない(または対策がある)まち、明るい笑顔が多いまち。	女性	30代
身近にお店、公園、公共施設などがそろっているまち。	男性	30代
都会のように、近くに店、病院、学校、すべてある事。	女性	30代
小さな子どもがいて、なかなか買物に行けなくても配達してもらえるような(コープのような)ものがたくさんあるとよい。	女性	30代
自営業で生活ができる調和の取れた町。個人商店が近くからなくなり、買い物が遠くまで行かなくてはならず不便すぎ。	女性	40代
商業施設、文化施設などのそろっている町。	女性	40代
体が不自由でも安心してそれなりの生活ができる町。	男性	40代

内容	性別	年代
車がなくても暮らしていける「町」。大型ショッピングセンターは便利だけれど、暮らしやすい町に必要な「商店」「小店」をつぶしてしまっている気がします。アメリカ社会がすでに経験した失敗をみているような気がします。身体が不自由になったときに、徒歩5分、交通機関を使えば用の足りる社会だと思います。	女性	40代
商業施設の大規模化、一局集中で、だれでも同じ範囲の中でサービスや商品を選ぶことになるので、市街地ならではの個性的な特徴を打ち出した街作りがあって欲しい。	男性	40代
中心街に行ったら何でもそろっている。商店街・デパート・映画館・レストラン・公園など、子ども、学生と高齢者に人気あるスポットを。	女性	50代
不便のない環境。	男性	50代
日常の買い物、通院、近所つきあいが安心してできる事。緑豊かで犯罪のない事。	男性	50代
自家用車がなくても、生活するのに困らないこと(買い物・病院施設)。近くの商店などを支援しながら生活していけるようにすること。	女性	50代
高齢者が歩いて用事がすませられるコンパクトシティ整備を目指すべきだと考える。	男性	60代
自立ができ、安心して暮らせるまち。	女性	60代
買い物の便利さや交通手段の便利な町。	女性	60代
学校・病院等が近くにある。人間関係のうまくいく所。	女性	60代
物価が安く、交通の便がよく、信頼できる医療機関があって、高齢者にやさしい町。	男性	60代
自分の足で歩き、好きなもの、ほしいものを自分で買えて、整地された田畑に農産物が豊かに実るのを見ることが出来るなど。	不明	70代以上
高齢者が楽しく安心してお買い物等が出来るまち。	女性	70代以上
活気あふれるまち作り。	女性	30代
町に活気があり、住環境が整って、公共交通機関がしっかりしているところ。	女性	30代
活発で若者たちが寄ってきたくなる元気なまち。	男性	60代
各地域の商店街が活気づく行事等の実施。	男性	60代
人がたくさん集まる町並み。	女性	70代以上
だれもが安心して生活できるまち。	男性	30代
隣人愛に満ちたまちづくり。	男性	40代
子どもやお年寄りが安心して暮らせるまち。	女性	40代
公平にみんなが幸せに暮らせるまち。	男性	40代
安心、安全、行政サービスの充実。“共生”の意識、住民の交流など、適度に行われ、お互いに顔の見える町。	男性	50代
安全、安心で、介護がわかりやすく誰でも利用できる。	女性	60代
安心安全なまち。	男性	70代以上
自然豊かでもあり、大型ショッピングモールもある。交通の便もよく、地域も安全なまち。	女性	20代
環境にやさしいまち。エコ。	女性	20代
自然に恵まれた治安のいい街。	女性	60代
治安の良いまち。	男性	30代
犯罪のないまち。	女性	40代
防犯、防災の対策がしっかり行われている事。	女性	50代
治安が良く交通機関など身近な移動手段が整備されている町。	女性	50代
色々な活動に参加できて、毎日の生活に事欠く事もなく楽しく暮らせること。	女性	70代以上
山海川と身近にあり、町の人みんなが兄弟みたいな関係であること。	女性	70代以上
足腰不自由でも、赤ちゃん連れでも出かけやすい道があること。お年寄り用バイクを邪魔に感じないくらい広い道路があって、散歩に出かけてもベビーカーの車輪が割れ目や溝にはさまったりしない歩道があるまちでしょうか。	女性	20代
昔のような各家庭がともに暮らす日々が戻ってほしい。	男性	40代
親子孫の三世代が同居し笑って過ごせる町。	男性	60代
他県より税金が安くて、地域サービスが充実していて、適度な人口があること。	女性	30代
住民税が低いこと。	男性	50代
地域の人や隣近所の人や他の地区の人に、色々文句を言われたい事。	女性	40代
地域とのお付き合いがスムーズにできること。	女性	60代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
下水道の整備。商店街が活気ある。	女性	50代
道に犬などの糞がないまち(夜に犬を放し飼いでいる人がいる)。責任を持って動物を飼ってほしい。	女性	20代
1、2、3次産業が上手く融合しているまち。	男性	20代
農業、漁業、商業でそれぞれの生活が成り立つ町。	女性	20代
ゴミが一つも落ちてなくて、障害者の方も安全に暮らせる町。	女性	20代
高齢者、障害者にやさしく、環境にやさしいまち。	男性	50代
ライフラインが整っていて、災害がないこと。安全であること。上水道がね。もう少しいい水だと嬉しい。贅沢ですね。	女性	30代
自然災害、犯罪が少ない町。	男性	40代
社会保障が安定していて、明るく安心できる事。	女性	70代以上
子どもやお年寄りの方が暮らしやすいことが一番だと思います。	男性	50代
いろいろな情報が得やすい。	女性	20代
心的・物的ストレスの少ないまち。	女性	40代
反社会勢力ゼロのまち。	男性	20代
世代間交流、安全、循環社会の実現。	女性	20代
若い人が住みたくなるような社会(若い人をターゲットにした店が少ない。バーなど→結婚にも多少つながる)。	男性	20代
物事のバランスがとれている状態。	男性	50代
助け合いの気持ちが伝わりあう、「お互い様」の街。	女性	50代
樹木の消毒をせず、除草剤を撒かない。ケミカルフリーのまちです。	女性	50代
区費や組費のない社会。	男性	60代
不平不満を言わずに自ら努力する人の多い町。	女性	70代以上
まず、食料がある事。電化製品が調っている。衣服、車、水、病院、私は海外から引越して来ましたので、特に感じます。昔の事を思うと今は天国です。	女性	70代以上
充実して緩やかに進展する社会。	男性	70代以上
官と市民(住民)との調和がとれた社会。	不明	不明
中年代の40～50代ぐらいがもっと町にも力を入れて引っ張っていく町になればいいけど。	女性	70代以上

3-(3)「交通基盤・社会基盤・情報化」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
飛行機にしる、バスにしる、今の状況だと無駄に思えます。せつかつなら、もうちょっと使い勝手をよくしていただきたい。	女性	30代
郊外に住むと車がないと生活できない。長崎新幹線の必要性が分からない。	男性	30代
佐賀県内の北と南、交通の便が悪い。道を早く整備して欲しい。そうすれば佐賀空港も使うのかもしれない。私は福岡空港ばかり使用します。	男性	40代
交通はバスの本数などが少ないので車が必要な県と思う。運転ができる人は良いが、お年寄りは車が運転できないとなると、生活の移動が大変だと思う。	女性	40代
コミュニティバスが、もう少し便が多く、いろんな方面にも利用できるといいと思います。	女性	50代
無料バスの運行、65才以上。	男性	60代
交通機関ではバス乗り下りの場所、少し広くお願いしたい。お客様が少ないので小さいバスでいいと思う。空港まで行くのも、車に乗らないものとしては不便である。	女性	60代
福祉センター、公民館等、公共施設等、新しく建設していただいても、老人や車の運転が出来ない者は公共交通機関が無い場所では、都合のいい日、いい時間に行けないで、諸手を上げて喜べません。	女性	70代以上
通勤・通学・通院・買物に便利な循環ミニバスの運行が必要ではないでしょうか。	男性	70代以上
公共交通機関を廃止、廃止と言わないで、保障してほしい。	女性	70代以上
とにかく交通の便が悪い。自家用車を持っている人は良いが、年配の方、車を運転できない人には住みにくい。	不明	不明

内容	性別	年代
道路工事はもっと道の悪いところから直していった方がいい。自転車や歩きでも通れる車道脇の歩道をもっと増やす。	女性	20代
車の量が多い(移動はほぼ車)のに、混む道路が2車線になっていない。がけ崩れなどの復旧が遅い。	男性	20代
不要な道路整備等があるように思う。また、工事が始まって終わるまでが長すぎる。	女性	30代
佐賀市⇄唐津市や有明海沿岸道路など道路整備がとても遅れている。	男性	40代
新幹線や空港より、まず、幹線道路の整備をしてほしい。特に有明海沿岸道路や高速道路とのアクセスなど。	男性	50代
「県道」でもまだ歩道すらないところもあり、環境面から自転車道も必要かと。財政的なこともあり、これから先は本当に必要なものと、先延ばしでもいいものとして考える時代かと。	男性	50代
機能しているとは思えない歩道橋は不要。交差点の信号は全て歩行者と車両が交差しないよう時間差を設けるべき。	女性	50代
小さい県の割には、移動に時間がかかる。	男性	60代
有明佐賀空港を今まで利用したこともないし、利用しようと思ったこともない。いるのか？	男性	20代
空港利用者が少ないので、その周辺にお客が集まる設備。インフラ整備した方がよい。	男性	30代
佐賀空港、最高です！！利用しやすい。	女性	40代
繰り返しになりますが、佐賀空港、新幹線は誰が考えても無駄。県民投票でもして県民の意思を聞いてください。	男性	40代
佐賀空港までのアクセス。自家用車で行くとき、わかりづらいのであまり行きたくない。	女性	50代
佐賀空港、新幹線(佐賀、長崎)はいらない。	女性	70代以上
新幹線に使うお金ももったいないと思っています。	女性	30代
新幹線は必要ではない(不要)。空港の利用促進と、どう整合性をとるのか。一部単線区間があるのに、そこに新幹線を走らせるのか？(通常使用している在来線に対する、しわ寄せがでるのではないか？)。	男性	40代
今の時期、新幹線不要。在来線の複線化は？	男性	60代
利便性を求めて自然を安易に壊さないで下さい。	女性	40代
交通や社会的な基盤や情報化が進んだら便利になるとは思いますが、便利になることのみを追い求めるのではなく、佐賀ならではの自然の美しさや豊かさを損なうことのない進め方をしてほしい。プチ都会になるより、田舎のよさを残してほしいと思う。	女性	50代
基盤整備については、自然を壊さないように配慮してほしい。	男性	60代
佐賀県は情報化は頑張っていると思う。ネットでの行政手続はとても便利だと思う。	女性	20代
高速情報通信網(光)の整備。	男性	30代
もっとケーブルテレビを通じて情報を流してもらいたい。	男性	40代
交通、情報の利便性向上はこれ以上必要ない。心の利便性、民生委員の倍増で心のケア。	女性	60代
市場原理の中で郊外大型店等が閉店し、身近な買い物のできる店が減少。高齢化、独居老人の増加の中で、買い物難民が増加しつつある。行政の出番が必要。	男性	50代
高齢者であっても自動車運転が出来ないと買物にも行けない。近くに日用品を買うところがない。	女性	70代以上
ルーズな運転をするドライバーが多い。	女性	20代
毎年、夏場、走り屋ですかね。夜中、騒音がうるさい。駐在所もあるのですが対応してほしい。	男性	50代
いまだ多くの家庭で下水が河川に垂れ流されている。早急に下水施設を整えてほしい。	女性	30代
交通など、私はまだ車の移動など自由にできるけど、車社会になった今、お年寄りの人はどのようにしているのかが心配です。	女性	40代
発達しても佐賀の力量なら無駄なものもあると思います。予算を使いすぎず、福祉、雇用などを優先すべきでは。	女性	20代
回覧板も、殆どの情報を載せて回ってきて、不自由なく暮らしております。	女性	70代以上

4.「安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）」分野

(1)「安心して消費生活を送れる社会」とは

内容	性別	年代
食品等の適正な表示がしてある。	女性	20代
食品表示や生産者がわかりやすく適正である社会。	女性	20代
その地域でとれた野菜や魚を消費する。その日に。安全だし安心。	女性	30代
品質表示がきちんと表示され、疑問があれば調べることができる(ネットなど)整備がなされている社会。	女性	30代
生産者側が、安心して買ってもらうことを第一に考えて心をこめて生産し、消費する側もお金を媒体に生産者の真心を受けとれるような社会。	女性	30代
うそ、いつわりのない商品表示がされている事！	女性	30代
地産地消。やっぱり国産が一番。	男性	40代
地産地消、せめて自県の方だけでも、まかなえる自給力がつくといいなと思います。	女性	40代
農産物の安全性が確保されている。	女性	40代
農薬被曝のより少ない食品及び環境がある社会。農薬を日常的に使っている身で身勝手ではあるが、農村全体の被曝量を考えると・・・。	男性	50代
食品の適正な表示がされ、安心安全な食べ物が安く手に入る。	女性	50代
表示が信頼できる。体に良い食品。	女性	50代
偽装のない。	男性	50代
地産地消ができればこれが一番。まず地域、次が都会へ。	女性	50代
安全な食品が口にできて、地球にやさしい暮らしが送れる事。	女性	50代
食品の適正な表示と安全性がある。	女性	60代
食品の安全性の監視に力を入れて安心して食事ができる社会を目指してほしい。	男性	60代
中国製食品の輸入禁止(厳しいチェック)。	女性	60代
自給自足。店頭商品は信頼できにくい。	女性	60代
地産地消を進めるべき。高くしても安全なものを(食育を)進める。輸入品(加工品についても)については、販売店で売り場を区分するような条例を作る。	男性	60代
米、野菜を安くする社会。	男性	60代
食の安全と人とのトラブルのない社会だと思います。	女性	70代以上
地産地消が身近に行えるのが一番安心。やはり身土不二。	女性	70代以上
食べることの安さ便利さ。特に近いこと。	男性	70代以上
食品が安心安全である事。	不明	不明
未来の子どもたちのため。我々の食生活が安心していける。中国製の野菜とか品物が多すぎる。	女性	不明
どんな細かなこともきちんと説明する。そしてやってはいけないことがあった場合、それを行政機関等に報告できる人がいる社会。	男性	20代
契約トラブルについての情報の周知が足りないので増やす。食品の原産国などがたまに書いていないことがあるので、それは細かすぎるぐらい書いてよい。	女性	20代
トラブルが起きたときの対処法が明確なこと。	女性	30代
トラブルが発生してからの相談ではなく、市・地区ごとの安全診断を実施するよう取り組むべきであると思います。	男性	70代以上
偽装のない商品が購入できる店がある事。	女性	50代
信頼を持てる店、商品がある。	男性	60代
高齢者が買い物を近くでできる社会を。郊外型のお店が増。街中の商店街のシャッターが閉まっている社会を見直してほしい。	女性	70代以上
スーパー、医院、郵便局が近くにある。	男性	70代以上
独居老人でも買い物ができるように配達の方法がある社会。	男性	70代以上
経済成長を安定して続ける社会。	男性	20代
無駄に物を売ろうとしない社会。大切にしていた物が使えなくなったとき、また、大切にしようという物が買える社会。	女性	40代
これ以上、税が増えず、物価が上がらないこと。	女性	40代



内容	性別	年代
安定した収入があり、業者の商業ペースにのらない的確な判断ができる環境が整っている。無駄をなくしていくべき。	女性	50代
財布の中身を心配せずに買い物ができる社会。	男性	50代
トラブルが発生したときの相談窓口が整っている社会。	女性	40代
子どもや高齢者が一人でも安心していられること。昼間のセールスが多く、高齢者が相談する場がない。	女性	50代
消費物に常に不信を抱かなくてすむ社会。	男性	60代
生産者、製造者のトレーサビリティの充実。	男性	60代
セキュリティ、情報の伝達がしっかり連携されている社会。	男性	50代
中身が安心して利用できるものを売っている保障がほしい。	男性	40代
国内の流通・消費がうまくいっている。	女性	20代
高齢者が何不自由なく生活が送れる社会。	女性	50代
田舎の高齢者ですが、大きな不自由はありません。	女性	70代以上
日常生活にあまり困らないこと。	女性	70代以上
明るく誠実(善意)さが自然に通じ合える社会。	男性	70代以上

#### 4-(2)「安全・安心な社会」とは

内容	性別	年代
交通事故の少ない社会。	女性	20代
歩道や道路が安全に整備されている社会。	女性	20代
事故が少ない、周囲の人が信頼できる社会です。	男性	40代
歩行者専用道路に自動車が走行しているので危ない。	男性	40代
歩道の整備。信号機の設置。街灯。	男性	40代
他人の事を思いやれる社会。「おいが、おいが」で、自分の事しか考えない人が多い。もう少し自分にゆとりをもって車を運転できれば、安全な社会になると思う。	女性	40代
交通事故がより少なくなる社会。	男性	50代
道路整備、少しずつでなく、ある程度終わるまでは続けてつなげてやってほしい。	女性	50代
歩行者、自転車道を整備し、人と車を分離して、安心して生活できる社会にしてほしい。	男性	60代
交通規則の徹底(特に中・高生)。運転中の携帯電話使用禁止。	男性	60代
生活道路の整備。歩道の設置。	男性	70代以上
高齢者の車の運転、横断事故のない社会。	女性	70代以上
反社会的勢力ゼロの社会。	男性	20代
夜中でも安心して外に出れる社会。	男性	20代
犯罪が少ないことが必須の条件。	女性	20代
犯罪率が低い社会。	女性	30代
誰が見ても、安全安心と思える社会。	男性	30代
治安がいい社会。暴走族や暴力団の排除されている社会。	男性	30代
犯罪が最小限なくなる社会。	女性	40代
犯罪のない、薬物の取引がない社会。	女性	40代
犯罪がなく、夜でも安心して眠れる社会。	女性	40代
夜でも安心して道を歩ける。	男性	40代
治安がよく、犯罪がない社会。	男性	40代
犯罪が少ない社会。ねずみ講は人間関係がダメになる。	女性	50代
女性が1人でウォーキングできる環境。	女性	50代
災害、犯罪のない社会。	男性	50代
空巢などの心配がなく暮らせる事。	男性	50代
社会的弱者(犯罪者を含め)を孤立させない取り組み。	男性	50代
失業者が少ない→犯罪の減少につながる。	女性	60代
夜、安心して眠れる社会。	女性	60代
犯罪、特に凶悪犯罪がないこと。雇用が安定していること。	女性	60代

### 第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
戦争のない、事故・犯罪のない社会。	女性	60代
何もしなくても常に身や財産を守られている社会。ガードマンのいない社会。	男性	60代
犯罪がない社会。	女性	70代以上
地域犯罪などの情報を共有でき、町ぐるみでその予防等に努めることのできる社会。	女性	40代
近所付き合いがあること。地域の力が安全や安心な社会を支えていると思うから。	女性	40代
皆がルールを守る。	女性	40代
近隣住民の顔と名前がわかる社会。	男性	40代
犯罪を起こさない、出さない、家庭・地域にすることが第一です。なにより“教育”が大切かと。人間力を高める教育です。	男性	50代
ルールが守られていること。	男性	60代
地域との連帯があること。	男性	60代
夜の地域パトロール。自動車を含め、強制保険の拡大。若者へのしつけ教育。	女性	60代
地域での防犯対策がすぐに行うことができる様々な体制であること。	女性	60代
地区ごとの相互信頼と行政側の安全診断の実施が緊要であると思います。	男性	70代以上
警察が巡回して守ってくれている社会。	女性	20代
警察との信頼関係がとれる社会。あと、隣近所とのコミュニケーションがとれる社会。	女性	30代
警察の人がもっと地域をパトロールしたり、近所の方々と交流を持つような社会です。以前、アパートを借りていたときに、1年間の間に違う犯人3人にそれぞれ3戸が空き巣に入られたので、そういうとき、もっとパトロールしてもらいたかったです。	女性	30代
犯罪が少なく、検挙率の高い社会。信頼できる警察官がいる社会。	女性	30代
事故や犯罪が起きたとき、すぐ警察に適切な対応をしてもらえ。	女性	50代
子どもが安全に成長できる社会。	男性	30代
子どもたちへの犯罪を地域で見守れる社会。	男性	30代
子どもの安全。	男性	30代
未成年が悪さをしない、大人がマナーを守る。	男性	30代
子どもたちが安心して地域生活(通学等)が送れるような道路整備がなされた社会。道路整備が追いつかないのであれば、時間帯での車両進入禁止にも積極的に取り組むべき。	男性	40代
子どもたちが非行に走らないような社会。	女性	40代
子どもが安全な歩道を通り通学できる社会。	女性	40代
子どもの登下校も安心できる社会。	男性	50代
暴力団を排除できる社会。駅前100m防犯灯の設置。	男性	40代
歩道も広く、安心、野良犬が全くいない。これは重要。	男性	70代以上
地産地消の生活のできる社会。	女性	70代以上
みんな食べるのに困らず、各々娯楽・趣味を楽しめるだけの余裕ある生活ができている社会。昔にくらべて子ども達と大人が触れ合う場が減っている気がする。	女性	20代
原子力発電のない社会。	女性	40代
弱者を守る環境。	男性	40代
プライバシーが侵害されないこと。	女性	50代
決まったルールをきちんと守って生活していくこと。	女性	50代
ルール違反に対しては、その場で“ちゃんと注意”が言える人間社会の実現。	男性	60代
心配のない毎日が過ごせること。	女性	70代以上
食、防犯、防災等が安定している社会を望む。	男性	70代以上

#### 4-(3)「災害に対して安心できる社会」とは

内容	性別	年代
避難場所が近くにあること。避難するところどころに保安員がいてくれること。	男性	20代
避難所や情報をいつでも知ることができる社会。	女性	20代
分かりやすい避難場所の確保や、お年寄りの1人暮らしの方に対する心づかいがほしい。	女性	30代
障害者や乳幼児及び病弱者など、災害弱者の為に、トイレやパニックでさわぐことなどを考慮した避難場所があればと思います。	女性	50代

内容	性別	年代
避難場所等、地域ぐるみで体制が整っていること。	女性	50代
災害時の避難場所がわかる。	女性	60代
安心して集落に避難する場所がほしい。	男性	70代以上
災害時の避難場所の表示と、1軒1軒の家屋の倒壊の不安を聞き、地域全体で災害にそなえられる社会。	女性	70代以上
洪水防止のための用水路の整備。	女性	30代
川が洪水に耐えられる。でないと家々に浸水するから。	女性	60代
定期的にわかりやすいように災害時の避難場所や情報などを市報のように送ってほしい。普段気にしないので、見ると気付かされる。	女性	20代
災害避難マップの作成。住民(障がい、人口呼吸器の有無も含めて)の把握。	女性	20代
災害に対し、他県への援助を通じ、防災対策について、横の連絡が密に取れている社会。防災のノウハウをフィードバックする仕組みが(回覧板等)あれば。	女性	20代
災害時にどうすべきかを誰もが理解できる社会。	男性	20代
ハザードマップを住民に詳しく伝える。	男性	30代
災害時の対応についての説明の行き届いている社会。	女性	40代
危険な箇所を情報収集する。	男性	50代
災害が起きた時の備えが判りやすく、住民に連絡が提示されている。	女性	50代
行政と国民が、縦と横の関係で情報網がすみずみまで行き届いている。	男性	50代
地域共通の情報がある。一目見てわかる避難場所の地図がある。障害者への対応がわかっていること。	女性	50代
万一の場合に対する防災体制の整備、迅速な災害情報の提供。	男性	30代
災害時に対し、市町村の対処、要領的なマニュアルが確立、又は明確にされている。	男性	30代
災害対策が整っている社会(情報、医療、食料等)。	女性	40代
もしものとき、素早く行動できる社会。	女性	40代
土木工学の専門家に防犯パトロールで指導してもらおう社会。	男性	40代
地域では高齢者が多く、災害時など防災体制が整っていない。行政などと密になって、日ごろ高齢者や障害者がどこにいるか把握してほしい。	男性	50代
災害があったときに、常に不安を持たなくてすむ社会。	男性	60代
防災設備はもちろん、被災後の支援が行き届いている社会。	女性	20代
完備されたる施設のあること。	男性	70代以上
山間部でも安心して暮らせる環境を整備してほしい。	男性	70代以上
防災ダムをつくる(小さいのでいい)。砂防工事を多くする。	男性	70代以上
防災訓練が個人まで行き渡っている社会。希望者のみにでも定期的に防災訓練を実施してはいかがでしょうか。	女性	30代
定期的に地域の人々と一緒に災害時の避難訓練をした方がいいと思う。地域ごと災害時の避難経路マップなどをつくってほしい。	女性	30代
訓練等にも住民全体で参加できるような事業を実施し、周知を図ってほしい。	女性	40代
危険地域の特定と日常的な防災訓練の実施。または、防災工事の実施推進。	男性	60代
災害が起きる前に訓練等を十分にやってほしい。	男性	70代以上
もしものときの逃げ場とか、逃げ道とか、誰を助けるとか、助けられるとか、訓練したらいい。	女性	70代以上
国民が日頃から災害に対して意識しておくこと。	女性	20代
いつも危機意識のある社会。	女性	20代
なにかあってからではなく、日頃から災害についての話し合いが必要だと思う。	女性	30代
自然災害に対して安心できる社会なんてないと思う。災害に絶えず気を配りながら対処していくしかないと思います。	男性	50代
地域で助け合える。	女性	20代
緊急な対応ができること。災害時に的確な判断ができる指導者(リーダー)が身近にいること。	男性	40代
ご近所の輪があり、災害の折、助け合えること。日頃より訓練されているリーダーを育てていく。	女性	50代
環境に対する関心を高めあう、身近なことから行動できる近所付き合い。	男性	70代以上
もし災害が起きた後、いろいろと助けてくれる社会。	男性	40代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
災害に備えての準備もちろんですが、「災害にあった後」のフォローが充実している社会なのではないでしょうか。	女性	40代
災害は起きてからより、事前対策が必要。家等建てる前に審査をもっと厳しく。(土地開発など)。	男性	60代
消防団員を増やして、災害時に協力をたくさんしてもらえる社会。	女性	30代
災害にならない、災害をおこさせない社会。	男性	30代

4-(4)「環境(地球、自然、生活など)が保全されている社会」とは

内容	性別	年代
エコという言葉がなくなった社会。	男性	20代
人間の「便利」を優先しない社会。	女性	20代
スウェーデンなどを見習った社会。是非、県民に知ってほしい。	女性	30代
一人ひとりがエコについて真剣に考える社会。	女性	30代
環境の事を一人ひとりが意識を持って、身近なところから取り組む社会。	女性	30代
それぞれの人が、その立場に応じて環境への意識づくりができていく社会。	男性	30代
一人ひとりがモラルを持った社会。	女性	30代
個々の意識が高く、情報を生活に取り入れることが、たやすくできる社会。	女性	40代
個々が環境を守っていくことを意識している社会。	女性	40代
使い捨て文化(物)の一扫。	男性	40代
誰もが環境に興味をもって、温暖化防止にとりくむ社会。	女性	40代
自分たち「人類」が「私」ではなく「公」を意識して生活している社会だと思います。	女性	40代
個人個人が環境に対して高い意識をもち、実行できる社会。	女性	40代
個人個人が自覚を持って、大人の行動をしている社会。	女性	50代
便利な生活になれて、地球を汚してきたけど、不便でも自然にやさしい生活。	女性	50代
地球の汚染に歯止めをかけ、常に食料の自給率が安定していること。後世の人々が幸せに暮らすことのできる国づくり。	女性	60代
一人ひとりがゴミを捨てないなど意識を持つ。	女性	20代
温暖化防止、エコなど言葉は馴染んでいるが、不燃ゴミ・資源ゴミの収集日が相変わらず少なく、ゴミを選別しても、ゴミがずっと家にあるのが不便。資源の循環がされやすい社会を!	女性	30代
ゴミ処理等を安心して任せられる社会。	男性	40代
高速道路やコンビニのゴミ箱に、家庭のゴミを捨てる人がなくなる社会。道路や田んぼに空き缶やゴミクズを捨てる人がなくなる社会。	女性	40代
家庭でゴミを燃やしてはいけないなど、やりすぎにならない程々の社会。	男性	40代
不法投棄が全くない社会。	男性	70代以上
これから建つ建築物に太陽光発電をつける。	女性	20代
太陽光・風力・火力・原子力すべてに力を入れている佐賀県。個人個人が意識向上できる努力を。	女性	30代
身近ないたるところに太陽光パネル、風力風車があり、それが社会に溶け込んでいる。	男性	30代
化石燃料や原発に頼らない社会(そんな社会、来るかしら?)。	男性	50代
原子力に頼らない、自然エネルギーの活用。海や川を大切に。生き物が生きられる自然。	女性	50代
都市でも至る所で緑を見ることが出来る社会。道路で動物、昆虫がやけどをしない環境。	男性	20代
CO2対策ではなく、緑化に力を入れて欲しい。原子力発電は不要。	男性	20代
CO2濃度と森林緑化運動とのバランスがとれた社会。	男性	40代
森林、緑づくりの充実。森林で働く人の雇用を良くして、人数も増やし取り組む事が、災害、自然を守る事につながる。	女性	50代
緑豊かで自然と共存している事。	男性	50代
きれいな自然(緑の多い山、きれいな川、海)。	女性	60代
自然が残されている事。	男性	60代
緑が多い社会。日通しのよい環境。	男性	60代
プルサーマルはやっぱり反対です。	女性	30代
原子力発電は地球にとってマイナス、負であります。廃止して頂きたいです。	女性	40代
プルサーマルはアメとムチの典型。どうせ反対してもきかんやろもん!	男性	40代

内容	性別	年代
原子力に頼ってしまうこと。日本人は根本的に省エネを徹底させるべき。	女性	40代
原子力発電に対する理解が高い。	女性	60代
原子力発電に頼らない、低エネルギー社会。	男性	60代
原子力の理解向上と推進。週2回のノーカーデー。	女性	60代
原子力発電に一言。とても賛成。反対と言っている方のこともわかるけど、やっぱり原発は必要。	女性	70代以上
原子力発電所の変異などは早急に市民へ知らせるべきだと思う。たとえ小さなことでも隠さずに。	女性	70代以上
玄海原発の存在そのものが恐ろしい。問7④の9の「原子力発電に対する理解が低い」などの理由は、玄海原発の反省(プルトニウムの持込など)が全くない。	女性	70代以上
プルサーマルは安全性が保障されていません。運転をやめてほしい。	女性	70代以上
原子力のプルサーマル、本当に安全に行ってほしい。	女性	不明
循環社会。意識向上。	女性	20代
無理、無駄のない循環が進んでいる社会。もっと研究機関と共にパーマカルチャー的の社会を研究開発すべき。	女性	30代
生物全体が生きやすい環境、すなわち人間も生きやすい。そのためには、一人ひとりが考え直して、循環型社会になればよい。大気・水・土、すべてにおいて。	女性	50代
3Rの推進等に見本となるものを行政主導で。今の生活と比較できるようになる。現状の生活(住宅等の比較)を目で見て確認できる様な展示館等。太陽光発電、木の柱、土壁、木のフロ、フロオケ、化学製品を使用せず、県内産の木材を利用し家具や家も100年使える様なもので使い捨てしない。これらと比較してランニングコストがどうなるかを明示、納得できる方法を示してやる。	男性	60代
環境整備も重要だが、小動物・昆虫等も住みやすい環境も必要。	男性	40代
河川をコンクリートで固めないでほしい。コンクリートで固めた河川には昆虫や魚が生息していないので、便利さばかりを追求しないでほしい。	男性	60代
野良猫が勝手に家の中に入り込んだり、ゴミの不法投棄等がない社会。	女性	60代
これ以上山を削らず、川を汚染しない社会。	女性	30代
下水道をもっと進ませてほしい。	男性	30代
きれいな水、空気、自然あふれる社会。	男性	30代
県を環境、自然、生活ゾーンを決めて、各地ごとに色分けして整備する。	男性	50代
早く諫早湾の開門をしてほしい。	男性	40代
有明海の生態系をこわさない、守られる社会。子ども達が安心して緑の中で走りまわられる環境がある社会。	男性	50代
地球温暖化を意識した社会。	女性	20代
公共交通機関及び自転車道、歩道等が整備され、車の利用が少ない社会。	男性	50代
農家の春秋の野焼を中止。	女性	70代以上
農業を営みながら自然の恩恵に気づけてスローフーズ、スローライフを楽しめるような社会。	女性	30代
原始のころの社会。	女性	30代
山をあまり切らないで。海もあまり埋め立てないで、そのままの自然にしてほしい。	女性	40代
山・川の管理ができています。	女性	50代
極力人的なものを排除し、自然に任せて生活ができる社会。	男性	60代
佐賀県の方、佐賀の自然を生かした社会。	男性	60代
突然の出来事でもすぐに対応ができる社会であること。	女性	60代

#### 4-(5)「安全・環境」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
メタンハイドレートの開発(実用化に向けた)が進んでいるようなので、佐賀県が先行してメタハイの導入を検討してもらいたい。	男性	30代
太陽光発電は、まず県庁など大きな施設(公共)がつけて欲しい。無駄な経費を削れば可能ではないですか？	女性	40代
太陽光発電に限らず、新エネルギーの開発に力を入れ、石油や原子力に頼らないエネルギーを作り出すべき。例えば水力、バイオマス etc. 風力は騒音や野鳥への害があるので考慮が必要。	女性	60代
ゴミの捨て方を教えてほしい。	男性	20代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
車からタバコの吸殻を捨てるのをやめる運動をしてもらいたい。小さなことだけど、火のついた吸殻が後続車に当たってトラブったり、植木が焦げたりして危ない。子どもに当たったら・・・と思うと怖い。	女性	30代
道路に空き缶、タバコの吸殻を投げ捨てて平気な不道德な者が多い。道路側の農地を持つ人は困っている。	女性	70代以上
佐賀県(佐賀市)は交通ルール・マナーが非常に悪いと思っています。	女性	20代
自転車が安心して乗れる道の整備を。自転車が普及すると、環境にもよく、健康にも良いのでは？	女性	30代
町中を通る国県の主要道に歩道の設置がないところが多線ある。高速道の云々より、まずは生活道としての安全性が急務である。 猫(飼い猫に多い)の糞に多くの人が迷惑している。何かよい対策はないものか、行政で検討してください。	男性	70代以上
ため池化している河川の整備を早急に。	女性	40代
黄砂が気になるのですが、井戸水を使用しているのですが、近くにゴルフ場があったり、除草剤を使っている家庭もあるので不安です。	男性	50代
川を元に戻すには、三面水路を。草木がある、土がある、昔の川に戻すことが環境をよくすることになり、水もきれいになる。この事実を知事は知ってて何もしないのかな。	男性	70代以上
有明海再生のために、干拓水門の早期開門を！！	女性	50代
有明海の開門について進展が遅い。早く調査してほしい。	男性	70代以上
未来に処分できない核のゴミを持つプルサーマルは反対です。もっと自然エネルギーを使ってほしいです。	女性	30代
原子力発電をできるだけ使用しないで、今からは太陽光発電などの新エネルギーの普及に力を入れて下さい。身近な所は、太陽温水器を、自然エネルギーを逃してもったいない。	男性	50代
マンションに住んでいると、インターフォンが鳴って誰が来たのかがわからない。以前、他所の県で殺人事件もあったように、マンションにはカメラ付インターフォンの設置を進めてほしいです。	女性	20代
泥棒や車上荒らしなど、治安でも不安がある。そういう方面に警察官はシフトすべき。	男性	40代
エコ活動は全体的に進んでいると思う。食の安全は徹底してほしい。猪などの畑や人を荒らし襲う動物の駆除の徹底。	女性	20代
環境が守られていない(牛のふんやおしっこのおい)。何回でも市役所に相談しますが、改善してくれない。	不明	不明
近所の方など、田んぼの中で家のゴミを燃やされている。会社の焼却炉でナイロンや発泡スチロールなど燃やされている(夜)。	女性	30代
田舎では、まだ普通に空地などでビニールなどが燃やされたりする現状である。行政などは強くこれに対して処分を下してほしいと願う。	男性	50代
田畑は多いが、街には樹木が少ないように思う(他県に比べて)。	女性	30代
山林について、杉やヒノキなどが多く、広葉樹や実のなる動物用の森が少ない。	男性	50代
地球温暖化で、天気予報を見ていると、九州とか四国、中国、関東、東北、北海道などいろんな境遇になっている。	女性	50代
エコを流行のようにとらえている人が多い。環境の保全に力を入れるべき。	男性	30代
今後は環境問題は避けて通れないので、県は補助すべき。	男性	60代
多少金がかかってもリサイクルはしっかりしましょう。どれだけできているのか疑問です。(リサイクル業者を含めて)。	男性	50代
河川工事後の老朽化の調査等が必要ではないか。温暖化によるゲリラ豪雨災害による、堤防等の被害が身近に発生している。	女性	60代
他県に比べて街中の公園や一息できる場所(憩いのエリア)が非常に少ない。	女性	40代
集落の中では廃屋が多くあり、管理者が不明であり、台風時などが心配である。相続などの問題もあるだろうが、なんとか改善できないか？	女性	30代
災害時の防災無線は(大雨、台風時)、音量を高くする。聞こえない。	女性	70代以上
各地域の公民館等に非常用の水、食料、毛布等を備蓄できるよう、指導及び援助等を考えてみてはどうでしょうか？	女性	50代

## 5. 「産業（農業・林業・水産業・商業・工業・観光）」分野

## (1) 「望ましい農林水産業の姿」とは

内容	性別	年代
農林水産業に魅力を持って取り組める時代にならなければ、若い人も受け継いでくれないと思います。兼業ではなく、農林水産業で生活できる姿を望みます。	女性	70代以上
農林水産業でも収入がきちんとあり、若い人でも進んでやる気が持てないとだめでしょう。「米」をつくることに農家の方が喜びを持てるのがいいですね。	女性	40代
若い人が活気にあふれて就労できる(収入の面が大きいのではないか)。	男性	40代
経営的にみて生計が立たないように厳しい。急速に高齢化していく中で、若い人が希望を持って従事されるような体制づくりが必要。	男性	60代
農林水産業の所得の向上と、それに伴う担い手の育成・確保。	男性	30代
農林水産業の方々ほど大変な仕事はないと思います。漁業においては原油高騰など資源減少で魚がとれないので県での対策を！	女性	30代
農林漁業は国の宝という意識を国民全体が持つことが大切。さらに、その仕事に従事する人々が、その仕事で生活でき、生きていける社会。	男性	50代
農業で生活できるよう指導と担い手が安心して生活できる社会。	女性	50代
農林水産だけでも生活ができる収入。	女性	60代
労働時間に対する適正な報酬。	女性	70代以上
従事している人が生活できる収入があること。人にはそれぞれの能力があつて、誰でもよい生活ができるとは限らないが、専業者でも安心できる生活ができればいい。	女性	70代以上
最終的に自立した経営ができる。	男性	30代
生産者の収入増加。品物に見合う価格の設定。	男性	40代
次世代育成、後継者問題、食育、活気、新Energyの利用。	女性	20代
後継者の育成and保障制度(価格)の拡大。	男性	20代
もっと県民に情報流して、後継者の育成ができる社会。	男性	20代
農林水産業に従事している人間の保護を行い、担い手を育成していく。	女性	30代
親から子へ、子から孫へ受け継いでいく農林水産業を、今まで通りやりながら、Iターン、Uターンを募ってさらに充実させていく姿。	女性	30代
若手の“跡継ぎ”と共同で仕事ができている。農業なら農業のみで生活ができる。自然と共存できる。	女性	40代
次の世代を担う後継者がいること。	女性	40代
若者がもっと農業を継ぐ姿。	男性	40代
後継者がきちんとしていて、生活していけること。	女性	40代
若い労働者が育つ環境。	女性	40代
農水業のみなさんの仕事をもっとOPENにし、後継者育成に力を入れる。これからは国産の時代が来る。農業佐賀の力に期待。	女性	40代
農業の後継者が楽しんで後継ぎが出来るような農業、林業。	男性	60代
地産地消ですべてまかなえる姿。県民も県産のものを選んでほしい。	女性	30代
県でつくったものを積極的に活用していき、活気がある社会。	女性	40代
食育や地産地消は全国的にも広まりつつあるテーマなので、県内でも遅れをとらず、優先的に推進していく価値は大いにあると思う。	男性	40代
外国品を使用せず、輸入せず、県内もしくは日本の物をできるだけ使用する。木材など下降している中、佐賀は山間部が多い所であり、もう一度見直してほしい。	男性	40代
地産地消できること。その為にも担い手が確保されますように、行政も係わる。(野菜工場整備など)。	女性	50代
地産地消と安全安心な農産物。	男性	60代
地域で取れた野菜などを高く売ってほしい。	女性	60代
国内産の農林産業が充実して生き活きた山々をみたいです。	女性	70代以上
農業用水になる河川を汚さないよう、社会全体で田んぼを大事にする社会。ゴミなどはファストフードやお菓子ばかり。もっと自分の食べるものに気をつかうべき。	女性	20代
農薬を使わない安全な農産物と環境に配慮してほしい。	女性	30代
地域の環境保全、住環境の充実できた状態。そのための所得の確保。	男性	40代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
森、山、海の自然を守る体制が大切。森林整備が遅れ、災害につながっている。	女性	50代
自然を取り戻す。水がキレイ、空気がキレイ。	女性	50代
山でとれた物は空気がきれい、水がおいしい。減農薬で、野菜、米を作っています。商品に少しは考えてほしい。	男性	60代
農業等に特化した県づくりを目指す。	男性	40代
大分県の一村一品のように、県をあげて地元の農産物を盛りあげて、県民に意識させればいいのか。	男性	50代
間伐材の利用が消費者に見え難いので、インターネットなどで簡単に検索できるようにしてほしい。	男性	30代
林業での生活の安定。	男性	50代
間伐材の無料配布(給)を考えてみたら。	男性	60代
国内で育った木材を使い、日本の風土に合った建築物が(民家も含めて)出来たら、景観も変わり、山林も元気になるのではないかと思います。	不明	70代以上
まずは食料自給率を高める。農産物・林業に国産の活用をもっともっと積極的に。	女性	50代
食物の自給率を高めること。	男性	50代
自給自足の拡大。	男性	50代
漁船の登り旗、農村のバラ→ヒマワリ→コスモス→サザンカ園が見れる景色。	男性	40代
未来が感じられること。希望が持てること。	男性	60代
農業従事者の笑顔がみれる社会。	男性	60代
希望を持って働ける農林水産業。	男性	70代以上
宮崎県がモデルです。情報を発信する人、情報を支援する生活者少ない。	男性	50代
デモとかしなくてすむ豊かな有明海になるために、山をもっと手入れして欲しい。	女性	40代
里山に戻す。海砂をとらない。	男性	50代
有明の海をきれいにして欲しい。開門して。	女性	60代
公務員化もしくは会社員化して企業としてしまうこと。給与、休日、福利厚生の実により、若い人たちやしたくても漁業権や土地がなくてできない人たちの参加が望める産業とすること。	女性	40代
若い人達が働ける会社方式の採用。	男性	50代
ある程度の企業化による経営本質への変化が求められる。	男性	60代
健康な食品を作って、それを消費者も理解して食する事。	女性	50代
特産品作りが不足。プロジェクトとして取り組む。県独自の補助事業として。JA まかせではダメ。	男性	60代
県の特産物などを大いに利用し、地域活性化に今ひとつ研究してもらいたい。	女性	70代以上
多少高くてもいいから佐賀独特の「安全高級品」をつかって、国内だけでなく海外事業にも進出する。	女性	30代
県内の農産物を海外に輸出することで、ブランド力をつけ、農業を活気付ける。	男性	40代
地域ブランドの開発に努めてほしい。	男性	60代
猪が増えないように。	男性	60代
みんなが一度でも大人になるまでにふれる機会がある。	男性	20代
食育や農業体験などを通じた農業への理解が進んだ姿。	女性	20代
農林水産加工品の生産工場を、雇用と県の収入付加価値増加のため。	女性	60代
漁業の方はもっと近海の魚貝類など、安価で市場に出されたらみんな助かると思う。	女性	70代以上
みんなで考え楽しくなる集落営農。まず、間伐材を使った利用促進(割り箸等消費促進)。	男性	40代
農地を所有していなくても農業に従事しやすい環境。若い人が農業を試みようとする為の支援策。	男性	20代
生産技術の向上。	女性	30代
農林水産業に寄生して存続する団体が少ない社会。	男性	70代以上
農地が耕作放棄地にならない。廃業する人がいない(わずかである)こと。県産のおいしい農水産物。	女性	40代
農と共に歩む社会。	男性	50代
すべてが今からの県の力の状況、頑張るのみ。	男性	60代
米生産量より質に転換。最低自分が作った米は自分で食べる事。	男性	60代
よく学び現状を知り、自分にできることを行動に移す。	女性	70代以上
同業者同士のつながりをより強くし、私だけではなく、仲間同士で強くなって、県全体通して強くして盛り上げるように持っていけないかなと思います。	女性	70代以上



内容	性別	年代
若い漁業者が山や野に広葉樹林を育てておられることに感動。	男性	70代以上

## 5-(2)「望ましい県内企業の状況」とは

内容	性別	年代
新しい人たち(若い人たち)が積極的に雇用され、働いている状況。	女性	20代
リストラや派遣切りをなくす。	女性	20代
新入社員が多い。各世代が機能し、どの世代も重宝される。	女性	20代
働く場所がたくさんあること。	男性	30代
県内で勉強した学生が県内で就職できる。	女性	40代
企業が増し、若手、中間、働く者が県外に出ない。	男性	40代
若者が働ける企業を数多く誘致し、地場にとどまれる環境を作るべし。	男性	60代
働きたいときに働ける企業がある社会。	男性	60代
地元の老年男女が働ける企業が増えることを願っている。	女性	70代以上
誘致も大事ですが、今ある企業も大切に守ってほしい。	女性	50代
もうすでに企業誘致の時代ではない。たとえ小さくても、焼物や家具以外、菓子やその他の製造のいわゆる「職人」と言われるような、佐賀ならではのものが育つ社会を。	男性	50代
誇りをもってできる企業の発掘。日本一、世界一の企業を育ててほしい。	男性	50代
地場産業(中小企業)を育成する。	男性	60代
健全経営の理念のもと、利益配分を平等に実施できる企業。	男性	60代
地場産業を援助・育成。	男性	70代以上
佐賀にしかないような企業を育てる。	不明	不明
他県にはないユニークな企業誘致の提案など検討されてはいかがでしょう。望ましい状況は活気があって面白そうであること。	女性	30代
県内に企業を増やし、安定した雇用があり、活気ある県にしてほしい。	女性	30代
一流の企業が多くあり、県内就職を第一に考えられるような状況。	男性	40代
県が大企業を誘致する支援をする。ビール会社、地代を安くする。	男性	50代
いろいろな業種の企業が、どんどん入ってくるような魅力のある佐賀県作り。	男性	60代
環境の良い山間地に精密工業の誘致。地震の少ない土地である事を企業へPRする。	男性	60代
県民も企業に協力をして、企業誘致を進めたい。	男性	70代以上
中小企業にも活気のある状況。	女性	20代
中小企業や町工場とかを、もっと活気付けて盛り上げる。「町工場ブランド」をつくる。	女性	30代
特許、ノウハウといったオリジナリティーで競争力がある状況。	男性	40代
はやりものにとびつくのではなく、「はやるものをつくれる企業」「はやるものを発信できる佐賀」であればいいと思う。	女性	40代
企業だと平行のままで進歩がみられない。企業同士がアイデアを出し合い活気が出るのでは。	男性	50代
常に安定した売上げを得るために、ニーズにそった商品開発に努力している企業、そして結果を出す企業。	女性	60代
景気が良くなる。売上げが上がる。社員だけでなく、パートの待遇ももっと良くする。	女性	50代
小さい子どもでも名前を知っている状況。	男性	20代
関連企業が学術的なものと一緒になって対策を資源(木材等)に向けていったら・・・。	男性	70代以上
やきもの作りに新しい発想で取り組んでいる番組を見ました。素晴らしかったです。優良企業とは、従業員を大切にして、会社も発展させる、そんな企業だと思います。	女性	50代
もっと技術力を高める努力をすべき。日本の底力はハイテク技術です。	男性	40代
オンリーワンの技術をもつ企業が増えて欲しい。	女性	40代
県がサポートすることによって、県外企業と同等以上に渡り合えるような状況。	男性	50代
倒産が続かないこと。	女性	40代
もっと互いを首絞めあわず、利益の出る仕事ができるような社会にしてほしい。今はデフレもそうだが、悪循環。	男性	20代
安定した企業が増えること。	女性	20代
中小企業に元気になるような支援が必要。低金利の貸付、情報交換など。	女性	30代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
県内の特産(やきもの等)を全国に売り込む為に、大学などと研究し、特価な物作りをしていく。	男性	50代
県内ベンチャーを育て、雇用を創出させていく。	男性	40代

5-(3)「県外の人にとって魅力ある佐賀県」とは

内容	性別	年代
佐賀は今のままで十分素敵なところだと思う。全国的にはそれほど有名ではないかもしれないが、わかる人にはわかるはず。山や海、森などできるだけそのままにしておいてほしい。	女性	20代
他を真似することなく、緑豊かで食べ物が美味しい佐賀をのぼしていくこと。	女性	30代
佐賀県でしか手に入らないとか食べられない食材、特産品、観光地。	女性	30代
「佐賀」と言ったら〇〇、〇〇と言ったら「佐賀県」とすぐ言葉に出るような県産品や観光地が多いと魅力があるのでは？	女性	30代
どこにも真似できない、佐賀だけの「佐賀ブランド」をつくる。	女性	30代
美味しいお米、野菜、美味しい魚介類、やきもの、他県で消滅しても県内では家を継ぐ習慣を大切にしてご先祖様を大切にしているところが素晴らしいと思います。	女性	30代
海の幸、山の幸、やきもの関係、温泉、おいしい米、畜産。それぞれの分野が元気になれば、魅力が県内いっぱいです。	女性	50代
古きよき、先人の知恵がしっかりと活かされた土地。	男性	50代
オンリーワンです。ガタリンピックや吉野ヶ里、バルーンフェスタなど、佐賀だからできる事をもっと増やし、宣伝するなど。昨今、映画での場所が観光地になっているので、映画誘致ガンバル(活動されてるのは新聞等で知ってます)。	女性	50代
世界に誇るやきものや有明海、玄海があり、リピーターが増加するような魅力ある環境にする。	男性	50代
佐賀県は安全・安心な食物、質実剛健な人材を輩出している。県をもう少し露出。	女性	60代
来てくれる人はよかったと言うが、来てくれるまでが足りない。もっと企業参画の観光アピールを！！	女性	30代
佐賀の農産物、のりなど、もっと紹介。物産展などを他県に知ってもらいたい。	女性	40代
もっと佐賀品を県外にアピールしてほしい。	女性	50代
農業、畜産、漁業の食材の良さを都市圏にアピールすべきである。	男性	50代
地域の人をもっと自分たちのよさを見直し、外部へのPRを地域ぐるみでしたら、変わってはいかないだろうか。	女性	70代以上
食べたい物、見たい物、遊びたい場所がある佐賀県。	女性	30代
観光地などに魅力があり、情報発信もできていること。	男性	30代
来たいと思う観光地に対し、宿泊場所の充実。	女性	40代
佐賀県の魅力は自然の美しさと陶芸だと思うので、もっとアピールして観光に力を入れたらいいと思う。	女性	40代
自然と歴史を満喫できる場所へ案内板などでスムーズに訪れることができること。	男性	50代
田舎の良さと農水産物を組み合わせて、観光に力を入れたら魅力がでると思う。	女性	50代
観光地の魅力をもっと宣伝してほしい(特に県外へ)。	女性	70代以上
豊かな自然や農産物、体が喜び、心が浄化されるすばらしい財産にあふれた県だと思います。	女性	30代
自然が美しく、看板などでイメージを崩さない。観光地間が遠くならないよう紹介してある。	女性	40代
佐賀県は有田焼や佐賀牛など、自然と結びつくような偉大なるイメージがあると思う。	女性	40代
自然環境に恵まれた土地であることをもっと広めてほしい。	女性	50代
佐賀の魅力は宮崎に劣らない自然と農水産、高速道路などの利便性。	男性	50代
自然が豊かで人間が素朴であること。	女性	60代
広い平野、どこまでも続く青い空、きれいな空気(私達にとってなんでもない普通の景色が大きな財産です)。	男性	60代
きれいな自然の多い都市作り。	男性	60代
自然がきれい。人情がある。	女性	60代
大自然に囲まれて、安心安全な土地で心豊かに暮らす。	女性	70代以上
綺麗な山・海(林間学校、海浜学習)。	男性	70代以上
農山村、漁村体験留学等の活動を強めてほしい。	男性	70代以上
佐賀県の認知度を上げる。	女性	50代

内容	性別	年代
都会へ行って佐賀と言っても、京都の嵯峨と思われるのが残念です。佐賀は佐賀と知ってほしい。	女性	70代以上
他県に劣らない、県産品があること。	女性	50代
いろいろな特産品があること。	女性	50代
県産品で思うこと。あまりに高値だと佐賀県人でも食べられないので、お土産にも持って行けない。手頃で幅広く。	男性	60代
佐賀の南部は土が肥えているので、その土地に適した農産物をみつけて、作っていけば道は開けてくると思う。	女性	60代
県外人が求める農産品が多くあること。	男性	60代
がばいばあちゃん等で少し知名度が上がりましたが、県産品のPRがほしいです。	女性	60代
歴史上の人物や米麦の産物強化。	女性	70代以上
県産品を育てる生産者、広告する人、支援する県。	男性	50代
なごやか。	女性	20代
治安が良く低コストで生活が出来、社会福祉が充実している。	男性	20代
自然豊か。子どもも楽しめるテーマパークがある(遊園地や牧場的なもの)。交通の便がよい佐賀県になればいい。	女性	20代
都会的ではなく、まあまあくらしやすく、自然が多い県であればいいと思います。	男性	30代
田舎、素朴を生かした観光。	女性	30代
田舎なりのよさ、Uターンしたいと思えるような。	男性	20代
県内の人にとって魅力あるものが他県の人にも魅力あるものになる。県内のニーズを探ると答えが見つかるのでは。	女性	30代
“ありのまま”を生かし、大切にし、そのよさを、まず県民が知ること。そのよさを県民一人ひとりが人に伝えること、話すこと・・・。	男性	50代
私自身、県外出身なのですが、「有田・伊万里・唐津」で、やきものは非常に魅力的でした。伯母は「吉野ヶ里」に魅力を感じています。あとはアピールが上手になると、とても魅力的な観光地になると思います。	女性	40代
有田焼は世界に誇れる素晴らしいものである。PRが必要と思う。	女性	70代以上
もっと農業を生かした、体験学習とかを広げてやってもらいたい。	男性	40代
定年後の農業体験付住宅保障などあるといいと思います。	女性	50代
農漁村の“体験県”型の事業化の推進・・・佐賀県の“オンリーワン”を目指しては？	男性	60代
特色が明確にわかること。住んでいる人間が佐賀のことを好きでいること。	女性	30代
誰にでも優しく、人間味があふれているところ。	女性	60代
仕事に対してつましく生真面目な姿勢が信頼を呼び喜ばれている。	男性	70代以上
行ってみたいところ。住みたいような佐賀県。	女性	40代
地域の人を楽しんでいる姿を、素直に見せる社会。	男性	60代
おもてなしの心で歓迎する。また訪れたいと思う接客態度が必要だと考えます。	男性	40代
佐賀県で撮影された佐賀県を紹介するテレビや映画のPR。	女性	60代
宮崎県みたいなことをしてみたら？東国原知事はすごい！！	女性	20代
佐賀県＝〇〇と、ひとつでも全国的、日本一があること。	女性	40代
県のブランド品をつくってアピールする。	女性	50代
県で自信作は海外へ輸出しても良いと思う。定められた認可手続を取り、後に中国、インド、ブラジル、ロシアなどに、価格は高くても購入する方々がいると思う。	男性	20代
桃源郷を思わせる景観づくり。映画監督の指導を受けてつくってください。	男性	40代
各地の「道の駅」が成功している原因を良く研究し、県外向け道の駅商法を推進すべきだ。	男性	70代以上
レンタル自動車。宿泊しながら観光スポットを巡るなどできる。	男性	50代
帰ってきてよかったと、笑顔で働く若者の顔が次の世代をつくる。	女性	50代
有田の町はとても好条件の立地と歴史がありますが、もっと原点に戻って有田を佐賀の湯布院の町のように、皆で盛り上げていけば佐賀の知名度もあがるのでは。	女性	60代
佐賀県をアピールする団体を組織して、活動できる人たちを育てる。	女性	70代以上

5-(4)「産業」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
観光客が地元にお金を落とすための何かがない。素通りするだけ。	男性	50代
長崎の小値賀島の魅力を紹介して、全国から観光客を集めるのに成功している番組を見ました。何もないと思っている発想を転換できる策はないのでしょうか。	女性	50代
高齢者が増す中、他の場所へは移りにくい状態。働き場所が少ない。若い人が出て行ってしまう。産業・企業の移転先の検討。	男性	40代
県出身者で他県に居住している人が、皆さん県全域を知っているかという疑わしい。私の知人でも、出身の町村は解っていても、他市町村の産品についてはほうとい。口コミPRも「佐賀県」を知ってもらう大きな担い手になるのでは。	女性	60代
都会でのアンテナショップで、佐賀県産の商品が少ないので、まだアピール不足なのでは？コミュニケーションをもっとすべきではないかと思えます。	女性	50代
中山間地域農業は、環境保全型農業として、国・県・市が助成すべきである。	男性	50代
まずは農水産業立県をめざす。県外の人々が農水産業ツアーで佐賀に来るように、佐賀空港→むつごろう、カニ、カキ→嬉野温泉→北山のリンゴ→浜玉のミカン→伊万里のナシ→武雄温泉→呼子のイカ→(この他に産地作りをして、都会の人が2泊3日ぐらいで楽しめるように)。	男性	60代
給食の材料は、佐賀県産の農作物で完全にまかなってほしい。	男性	40代
佐賀県といえば(物・場所)、などをつくる。いつまでも「がばい〇〇ちゃん」では飽きられます。	女性	30代
企業の誘致、次世代型の研究や生産をされている企業を増やし、新しいことをどんどん進めていく。	男性	30代
佐賀という特質を生かして産業をおこす。	不明	不明
産業に関してはこれからだと期待しています。焦らず、周りに流されず、短絡的な判断をせず、まずは人材を育て上げていくべきだと思います。物よりも人でしょう。	女性	20代
中国野菜の農薬消毒の件他、いろいろな問題を考えると、今私達が安全な食生活を送るには、農家の担い手の育成、確保が必要ではないでしょうか。	男性	60代
ひとまねをしない。独創性が必要です。枠にとらわれないアイデア！不景気の時こそアイデアを出し、好景気のときは儲けて慎重に！	男性	40代
佐賀県の事をアニメやまんがでアピールするのはどうでしょうか？今や日本のサブカルチャーは、世界でも有名ですし、観光客を呼び込むにはもってこいだと思います。少しでも日本を舞台にした有名なマンガに出してもらっただけでも、多くの人に佐賀を知ってもらえると思います。	男性	20代
田舎を逆手に取る発想を！空港や新幹線なんかいらん！人を育てなさい。	男性	40代
世の中の景気が悪いので、農林水産業だけでは発達しないので、まず始めにこの日本全体の景気をよくしてください。	女性	50代
トライアル発注で発掘されるだけでなく、育成にも力を入れられたらどうでしょうか。	男性	50代
自らの故郷のことを知らずに“観光”もなにもないでしょう。県民の一人ひとりが魅力的な自分になり、佐賀のよさを広げれば客はきます。たとえ少々不便でも。	男性	50代
美味しいものを食べれる店が少ない。こんなに一級品の材料はあるのにもったいない。ここにも育成制度がいるのでは？	女性	40代
やはり佐賀県は農林漁業分野に力をもっと入れてもらう。	男性	40代
県外にとって魅力ある佐賀は難しい。住民が地元を好きならそれでいい、と思います。	女性	20代
町中の商店が寂れている。理由の一つには駐車場(無料)がないこと。行政の対応が望まれる。	男性	70代以上
海外輸出にもっと力を入れるべきだと思います。	男性	50代
山間部の林業を発展させ、外国の木材が規制され減少しても国内で賄う体制が必要であるのでは。	男性	60代
映画が欲しい。	男性	20代
ブランドに力を入れず、安くいいものをつくってほしい。	男性	30代
日本市場について、四季感が少なくなっている。何か手を打たにやいかんばい。	男性	50代
めざましいことは急にはできない。たゆまずにより良いものをと励みあう精神を培いたい。	男性	70代以上

## 6. 「雇用・労働」分野

## (1) 「望ましい労働環境」とは

内容	性別	年代
働きたい人が働ける状況。	女性	20代
職種の選択肢が多く、条件も選択肢が多い方が望ましい。	女性	30代
やる気、やりがいある仕事を誰もができ、雇用を増やす企業をつくってほしい。	男性	30代
どんな仕事でもいいので、なるべく県内からの雇用を優先し失業者を減らす。	女性	30代
常に雇用が確保できる社会。	男性	40代
企業誘致(税金の減税)。	男性	40代
若い人が正職員として働く場所が多くあること。若者が地元に残りたいと思った時に、就職する所がないといったことがないようになっていること。きちんとした理由なく男女年齢等で、働く機会、条件が制限されない環境。	女性	40代
働きたい人が働ける環境。中小企業をもっと支援してもらいたい。	女性	50代
障害者や普通の人が多く働く場があり労働力環境がそろってほしい。高齢者も多く雇用してほしい。	女性	50代
県内の最低賃金を上げ、少しでも働きやすい、中小企業も多く雇用してくれるような体制を整えてほしい。	男性	50代
企業の誘致をして町を賑やかにしたい。それによって雇用努力を得られ、ニートを減らすことができると思います。	男性	70代以上
社内に託児所を設け、女性も安心して働けるようにする。	女性	20代
楽しく、やる気もてる環境。	女性	20代
心も体も健康で気持ちよく仕事ができる環境。うつ病や対人障害などでの精神的弱者へのケアがまったくされていない。	男性	30代
病気のときなど休みがとりやすい状態。働く人数体制がぎりぎりではなく、少し余裕のある環境。有給をとりやすい環境。	女性	30代
障害があっても、能力が低ければ、その分の人をふやしてフォローするとか、指導するとか、今もやっていると人は思うが人が少ない。	女性	30代
会社だけでなく、労働者本人も仕事と家庭の両立に取り組んでいること。	男性	30代
セクハラをされて、「やめてください」と言っても、リストラ対象にならない労働環境。	女性	30代
望ましい雇用、適正な賃金があってこそ、健康的な生活や教育に取り組む姿勢が培われる。そのためにも、「生きがい」と「適正賃金」がみなぎる労働環境の醸成が必要である。	男性	40代
女性も安心して働ける社会。	女性	40代
高卒・短大卒・大卒など学歴に関係なく、新卒の人は正規で働けること。また、数年間非正規でも、正規への道が開けること。	女性	40代
労使関係がうまくいっている職場。	女性	50代
(8時間労働していると)パートでも、社員の様に有給か通勤費、ボーナス等々、レベルは下がっても同じ扱いを(法的に)して欲しい。	女性	50代
どんな仕事も大切な仕事とされ、仕事に対する正当な雇用状況が保障されることだと思います。	女性	50代
働き続けることができる、無理なくできる。子どもの成長と共に会社で働く形態を変えながら働き続けられること。	女性	50代
安全。雇用の安定。労基法を遵守すること。サービス残業はもつてのほか。	女性	60代
労基法が順守されていて、かつ人間を大切に、どんな仕事であろうと“ちゃんと”感謝と評価してくれる社会環境。	男性	60代
明日の活力が生まれる労働環境。	男性	70代以上
安心して働く職場。	男性	70代以上
子育てのできる生活をやっていける労働環境にしてほしい。	男性	20代
子育てをしながらでも働けるワークライフバランスを自分で選べる環境。	女性	30代
子育て世代の長時間労働を強くない。育休、看休などをきちんと保障する。	女性	30代
働きたいときに幼児を預けれる保育所の確保。基本的に保育所が少ない。	女性	30代
仕事と家庭が両立できる環境を整えてほしい。企業も子育てについて、もっと真剣に協力すべきだと思う。	女性	30代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
小さい子どもがいても働ける場所があること。	女性	30代
結婚、出産をしても仕事が続けられる環境。	女性	40代
既婚女性に限っていえば、子育ての後の再就職が保障されていればいいのと思います。	女性	40代
安心して子どもを預かってくれる場所。	男性	70代以上
誰でも仕事ができ、賃金の格差があまりない状況。	女性	20代
働ける場所が誰にでもある、働いただけの給与がもらえる環境。	女性	20代
働いた分、お金になるのが望ましい。	男性	30代
労働に見合った収入。意識レベルの高い労働環境。	女性	30代
安定した収入が得られること。通勤に時間が少なくてすむこと。	男性	40代
その人に応じた報酬。	男性	60代
自分自身の能力が生かせること。	女性	20代
それぞれの希望する条件に合った仕事を見つけることができるような状況。	女性	40代
障害者の中でも就労可能な方達や、専門性・独自性の高い分野に関する教育施設や学校、訓練施設を強化して、現代社会とマッチングを高める工夫が得られる環境。	男性	40代
仕事に就きたいと思う人が自分の能力や技術に合った仕事を選んで、やりがいの持てる環境で働けること。	女性	50代
すべての人が自分の望む仕事に就き、自分の能力を十分に発揮できる状況。	男性	50代
個人の能力が発揮できる職場が豊富にあること。	女性	60代
働きたい人の能力に応じて働ける場があること。適当な報酬とともに。	男性	60代
自分がしたい職場を選べる。働きながら安心して子供を預けられる環境がある(夜まで預けられる保育所)。	男性	70代以上
自分が働く時間帯が自由に選べる場所。	女性	60代
もっと仕事ができる分野を増やしてほしい。非正規の仕事が多いので、正規社員の仕事や雇用を安定させてほしい。	女性	20代
非正規社員から正社員への登用が進んでいる。子育てをしながら働けるような職場がない。	女性	20代
正社員登用を増やす。	男性	20代
誰でも意欲をもって働ける場がほしいし、不安定だと安心して暮らせないので、正規に雇用してもらえようにしてほしい。	女性	40代
仕事する人が全てに正規社員になれる、労働環境の実現。	女性	50代
派遣をなくす。正規労働者を増やす。仕事が性別で分けられている多様な働き方を見直してほしい。結婚しても子どもを産んでも働きやすい職場。	女性	50代
学歴など関係なく正規社員になれる、希望ある企業をつくってほしい。努力して働いている若者にもっと目を向けるべきだ。	男性	60代
社会が就職支援を充実させる。企業は社員の生活に対し責任を持つ。	男性	20代
働けるのに働かない人を働くように促し、働きたいのに働く場がない人への支援(スキルアップなど)し、やりがいに満ちた社会。	女性	30代
若者が誰でも平等に働けること。	女性	40代
誰でも職業訓練できるようにする。	男性	50代
求職者、採用側、ハローワーク等、関係機関の一元化。	女性	60代
高齢者でも働く力のある人がもっと頑張れる状況。	女性	50代
年休が使いやすい状況か。	女性	20代
バランスの良いこと。時間帯。家庭内の協力。	女性	40代
自分が働ける時間を利用して勤務ができる。	女性	50代
若い人にも働く意志・意欲を強く持ってほしい。	男性	60代
短時間でも良いと思ってるパート等、人数を多く雇用して、慣れた人を長く雇用すべき。	女性	60代
誰もが安心して働ける社会を。社会保障の充実、年金、健康保険等、老後の生活が保障された社会。	女性	70代以上
ニートの若者はもっと頭でっかちにならず、なんでもやってみる。なんでもいい、仕事がない、向かないと言わず、まずやってみて！！	女性	70代以上
倒産→失業にもっと視点を…。対策をする。	男性	70代以上
お互いの善意を認め努力を喜びあえること。	男性	70代以上

内容	性別	年代
チャレンジする精神を多くの企業が全体で持っている状況。	男性	20代
試用期限を決めても、まず採用してくれる会社があれば働くチャンスがある。そういう会社が出てくる事が望ましい。	女性	50代

## 6-(2)「雇用・労働」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
とにかく仕事が少ない。もっと言えば魅力ある、仕事したくなる職がない。だからニートが増える。働きたくても働けない。	女性	20代
きちんとした雇用政策を県民に示すべき。	女性	20代
佐賀県での企業数が非常に少ない。福岡県、熊本県のように、何か特化した産業を創るべきである。	男性	30代
リストラされてから本当に生活に困っております。仕事に就きたいのに門前払いが当たり前・・・。もう何社受けたか覚えていません。税金も払いたいけど払えません。雇用を本当に何とかしてください。	女性	30代
大卒者、工業高卒者の働ける場の確保。	男性	40代
女性が働く場所が少ない(求人)。	男性	40代
若者が県外に出て行かなくても仕事ができるような職場がない。	女性	50代
雇用を増やして欲しい。十代の人でもパートで働いている(8時間の仕事がない)。劣悪な環境でも辞めたくても次の仕事がない。	女性	50代
雇用、労働できるように、行政も力を入れてほしい。	男性	70代以上
特に若者たちが地元で定着できる雇用の場が望まれる。行政は本腰で企業誘致等に取り組むべき。	男性	70代以上
早く若い人の働く場所をつくってもらいたい。	不明	70代以上
正社員にずっとなれない。パートやバイトなどにやる気を出せる若者など、いないと思う。	男性	20代
派遣社員の増加は、企業の後継者を無くし、技術の低下につながる。	男性	40代
若者が非正規でなく正社員として安心して働き、結婚、出産ができ、未来に希望が持てる労働環境が必要。	女性	60代
子ども達が仕事にとってもパート、又、ボーナスもないきつい仕事に就いています。もっと正規雇用の仕事をとります。	男性	60代
安全、安定して働ける場所が少ないのではないかと。又、職を求める人も良い条件を選びすぎるのではないかと思います。	女性	70代以上
専門職の人で仕事が見つからない。職安に行っても60定年後の者は仕事が見つからない。	男性	20代
ニートに対してもう少し厳しくしていいと思う。甘やかされてあたりまえと思っている。	男性	30代
職業訓練の種類を増やしてほしい(現状に対応していない)。事務の求人はほとんどないのに、事務関係の職業訓練を受けても就職できないなど。もっと専門分野の強化をしてほしい。	女性	30代
若者(高齢者)の意欲と能力を出来るだけ引き出し、伸ばしてやる。高校時代に本人の適性を可能な限りはっきりさせておく。	男性	70代以上
雇用・労働は自殺に関連しているので、もっと真面目に取り組むべきだ。	女性	20代
労働者を人間として扱ってほしい。個人の意見に耳をかしてほしい。病人をこきつかいすぎ。	男性	30代
残業は多いが、雇用は少ない。法が守られていない。	男性	30代
県庁では働く環境が整えられてきてますが、県内企業の現状とは差があります。また能力主義的な流れにあって、佐賀では勤務年数の長さだけで決められてしまう事が多々残っています。	女性	40代
同じ仕事場をみても30~40歳の人がパート2箇所働いている。1箇所だけの人もいて、老後のことを思うと不安に思う。	男性	50代
結婚や出産、親の看護等の問題がでてきた時、パート等の時間や日数等を自由に選択しながら働き続ける。	女性	50代
人を人として扱う環境が崩れている。	女性	60代
子どもや孫は明るいうちに帰って来ることはありません。労働基準法などは現存しているのでしょうか。過労死などを心配しています。	不明	70代以上
雇用される側に立って考えてほしい。	女性	70代以上
最低賃金が低すぎる。	男性	20代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
働いても所得が低すぎるので生活が安定しない。所得が増えるようにしてほしい。	女性	30代
働いても働いても賃金が安いために意欲が失われていく。	男性	50代
正社員と非正社員の格差が大きいと思う。	女性	70代以上
障害者というだけで、面接で、ろこつにイヤな顔をされたりしました。もう少し差別をなくしてほしい。	女性	30代
障害者に雇用をお願いしたい。	女性	50代
60才以上の退職者の積極的な活用→保育所、学校、病院、地域の保安など。県外に出なくても仕事に就けるように職種が多くあり、選択できるように、たくさん企業等を入れること。	男性	30代
どの企業も60歳ぐらいが定年なので、定年を延長して働けるまで働けるようにしてほしい。	女性	50代
介護の仕事をしているのですが、未満児がいるので短時間の雇用を増やしてもらえよう、企業側に補助を。未満児を持つ親を短時間雇ってくれる施設に補助。介護の仕事をしたいのですが、8時間でないと雇ってもらえません。せめて、6時間雇用の募集が増えるように。小さい子がいると、病気がちなので雇ってもらえません。	女性	30代
出産したとしても育児休暇がとれるか……。皆、職場の理解や環境がなかなか整っていないように思えます。あと、父親の育児休暇も積極的に働きかけ、それが当たり前になる労働状況になれば……。と思います。	女性	30代
夫婦共働きしなければ食べていけない時代なのに、産休がないととても子どもは産めない。少子高齢化は当たり前だと思う。	男性	50代
佐賀県の20～30代の若者は、任せればできる人が多い。	男性	60代
一緒に仕事がしたいと思う人材育成、ここで働きたいと思う魅力的な会社が増えると良いと思います。	女性	30代

7. 「その他一般」分野

(1) 「だれもが個性や能力を発揮できる社会」とは

内容	性別	年代
差別のない、誰もが助け合える社会。	男性	60代
どんな小さなことでも人のためになることをした人への評価ができる社会。	女性	30代
違いを認め合える人間関係がある社会。	女性	40代
地方では特に希望する職に就くのではなく、限られた職の中から選んで就職しているのだから、「誰もが……社会」はありえません。	女性	50代
能力を持っていても生かせる場がない。国際交流も少ない。それぞれ増やすべき。	女性	20代
社会よりもまず家庭！！一番小さい単位の中で個性や能力がつぶされている人が多い。	男性	30代
職業、地域活動、スポーツ、文化……等々、得意分野で力を発揮できる社会、また、それを認め合う社会。	男性	50代
活動されている方たちのアピールの場が少ない。持っている資格の活用は？論理的思考を持った社会であってほしい。	女性	30代
女性も社会に参加できる社会。	女性	40代
他人のいい点を認めることができる社会。感謝の気持ちがある社会だと思います。	女性	40代
自分の仕事を誇りに思っている社会であってほしい。	女性	70代以上
経済力に関係なく誰でもが学べる社会。	女性	50代
男女に関係なく能力がある人を認めてもらえるような社会。	女性	50代
個性や能力は個々人が発揮したいと思えば出来ると思う。そういう人を認め、虐げない社会。	女性	30代
全ての人がやりたい事だけやれる社会はむずかしいと思う。1人でも多く「自分のやりたい事」に気づけばいいし、個人の考え次第だと思う。	女性	40代
佐賀の人は少し閉鎖的な部分があるので、新しいことや新しいアイデアを積極的に取り入れる気運がもう少しあればと思う。	男性	60代
社会的ハンデのある人もない人も、個々の得意分野を充分発揮して、社会に役割をもった人間であると実感できること。	女性	50代



内容	性別	年代
各人が、それぞれ個々の違いを自覚し容認していること。第一に他者を認め合わなければならない場というのは家庭で、そこから子どもは多くを学ぶと思う。家庭の保育機能がうまく働いていれば、まず問題の大方は減ると思う。	女性	20代
女性だけに家事・育児が集中せず、協力できる社会。	女性	30代
風習や習慣にとらわれることなく、個人個人の個性を認め、尊重して、生き生きと人生を楽しめる事ができる社会。	女性	50代
個人を認め合い、支えあうことができれば、それ以上のものが生まれる。	女性	30代
性別をこえて、家庭や社会で協力し合える社会。	男性	30代
人間誰もがいいところ、得意とするところがあります。その点を社会に役立たせ、仕事に結びつけたらと思います。	女性	不明
もっといろんなものを受け入れる社会。個性を發揮するにはまだまだ難しい。	女性	20代
人権が尊重された社会。	女性	20代
アピールの場をつくれる社会。	男性	20代
手に職を持つ訓練施設が必要だと思います。パソコンばかりに頼らず、体を使う職業があれば自分に合う職が見つかり、能力が發揮できると思う。	女性	50代
男性・女性・高齢者がそれぞれ自立していること。子ども・高齢者・障害者へのサポートが充実し、みんなが何にでもチャレンジできること。	女性	50代
能力があっても、それを發揮できる場がないと困る。發揮できる場をつくって増やしてほしい。	女性	30代
誰もがそれぞれの体力に合わせて楽しくお仕事や近所と上手く付き合いながら過ごせる社会がほしい。	女性	60代
貧富に関わりなく、子どもの頃から興味ある分野を勉強できるチャンスがある世の中。子ども時代の良質な体験が社会を良くすると思う。	女性	30代
発表する場がもっとある社会。	男性	50代
基本的なモラルを守れたうえで、他の人の意見を尊重しながら譲歩し合う社会。個人的意見を大らかな気持ちで聞ける余裕。	女性	40代

### 7-(2)「その他一般」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
亭主関白の時代は終わり。もっと協力をしていかないと、もっと離婚は増えていくと思う。	男性	40代
もう少し男の人に「家事・育児」に参加する社会になるように、機会をつくってほしいです。	女性	40代
「個性を活かす場」そのものが少ないと思います。しかし、家庭生活を通じた、他者への思いやりなどは、よそではなかなか身に付かないものだと思う。家庭教育ができる余裕のある生活を、誰もが送ることができれば、家庭から社会へ「個性を活かす場」を移すのも容易ではないかと思う。	女性	20代
権利と義務を果たしていない人が多い。権利ばかりを主張している。納税の義務すら守られていない。人権尊重もよいが、責任を伴わないものが多い。	男性	60代
学生で、DVに悩んでいる、もしくはDVの問題があると聞いたことがあり、気がかりです。親から子に対するDVだそうです。	女性	30代
国・県・市町村の長は、国も地域も、将来のありようを提示してほしい。若者が愛国心を表現できる国づくり。	女性	60代
今からは夫婦で共働きをしないと生活ができなくなると思います。男性は食事を作る位の事を、小、中学生より身につける教育をしてほしい。男性も家事に積極的に参加をする教育は絶対必要です。	男性	60代

### 8. 県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
知事の下、全職員方々、日々公務に励んでいらっしゃると思います。他県では公務員の不祥事がマスコミで報じられています。当県ではそういう不祥事のないことを願っています。佐賀県の発展のために、しっかりとした信念をもって業務に励んでください。佐賀県の将来に幸あれ。	男性	60代
県も市ももっと入りやすい、行きやすい場所にしてほしい。“笑顔”の対応をお願いします。同じ目線で！！	女性	50代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
県職員の方々の接客や対応についてはとても親切で丁寧に感じることがあります。お忙しい中頑張ってらっしゃるという感じを受けます。大変なお仕事が多いでしょうが期待をしております。	女性	40代
何事も行政に頼りすぎると税金が高くなるだけ。 公務員は机上の空論だけで、しかも2、3年で代わる素人であり、例えば10年、20年鍛えた民間人を採用すれば信頼できるし、有益この上なし。本人も虚しい思いがあるようだ(能力のある人は)。	女性	70代以上
何に対しても一生懸命に力を入れてほしいです。市役所の職員の人数が多すぎると思います。気合が入っていない職員の人数が多すぎる!!「この先、大丈夫かな～」とよく思います。近所の議員も選挙が終わるとたん挨拶もなしです。自分のところの田んぼの世話ばかり!!えらそうに何様なんでしょうかね。不満がたくさんあります。でも、佐賀県に生まれ育って、今まで県外にもいろいろ住んできましたが、佐賀県は住みやすい県だと思います。もっともっと佐賀のいいところを広めていけたらいいですね。	女性	20代
公務員だから安定しているとぬるま湯につかっていないで、もっともっといい案をひねって、よりよい佐賀県をお願いします。	女性	40代
県職員の給料カット。仕事していないように見える。市会議員、県会議員の削減。	男性	40代
県職員のリストラ、職員の意識の向上を望みます。	男性	50代
昨年、県庁に伺いました。大変親切に接してもらいました。時々、ウォーキングで県庁の前を通りますが、夜遅くまで明かりが付いています(全館ではないですが)。人員が不足なのか、業務が過剰かわかりませんが、定時まで業務終了するよう努力されていますか?コストダウンに気を配っていますか?気になります。税収不足の折です。頑張ってください。	男性	60代
税務課の接客態度が悪い。一般市民を馬鹿にしている。低所得者に対して冷たすぎる。偉そうにしているが、なにがそんなに偉いかわからない。もっと腰を低くして接客してほしい。	男性	40代
一般住民は県職員と直接会話することはないので、担当職員が市町村の公民館等へ出向き住民の要望を聞く機会を設けてはいかがでしょうか。	男性	60代
県職員もサービス・接客業と同じであり、まず、あいさつ、笑顔、親切、思いやりなど第一印象をどう持たせるかが大事なので忘れずに。あとは仕事に集中する事。先の事、昇進の事など二の次。ギャンプルにはまり借金はありません。税金ですよ。あなたの給料。見本となる様な職員を目指して下さい。人の心は顔に出ます。	男性	30代
「県職員の接客態度がどうかあ?」といつも思っている。まず、挨拶が出来ていない人がいるし、笑顔がなく、いやな思いをした事が多々あった。接客の勉強をされたらと思う。中には、接客に向いている人もいますので、全体にまとめてほしい。上から目線ではなく、下から目線をお願いします。	女性	50代
土木事務所で「僕はきいてない」という理由で、許可がなかなかおこななかった事がありました。「違反をしているから」とか「基準に適合してないから」とかの理由でなかったのがびっくりしました。「公正な役所に、こんな人がいていいのか」と思いました。全ての人かという事ではなく、この人だけです。年功序列の人事はどうだろうと思います。あまりひどい人は役職につけない方がいいんじゃないでしょうか。他の人がとてもいい人にみえました。佐賀は好きです。佐賀弁も好きです。もっと人口が増えればいいなと思います。	女性	40代
県職はもっと働け。私は農業だけ休日も無しに働いている。なにが週休2日だ!!と言いたい。	男性	40代
公的職場の方の接客態度は良くなったと思いますが、時として、びっくりするようなことがあります。何処ででも誰にでも同じ態度で接してほしいと思います。このアンケートをいただき、自分がどんなに片寄った人間であるか、範囲が狭いか、無学かと改めて思いました。	女性	70代以上
職員の対応に関しては、全てではないが、手続きをしてあげてる態度が見られる時がある。それは反対でしょう。安心して年をとれる社会にしてほしい。政治家の為の税金を支払っているのではない。老後が保障してもらえれば喜んで税金を支払います。だれもが年老いて行くのです。ゆとりがある方も、ない方も・・・。	男性	20代
県庁は節約で冷房も効いてなくて暗いイメージです。いろんなご意見もありますが、公務員だからといってあまりにも締め付けに、県民全体が理解したいと思います。ほとんどの人が頑張っているのだから。	女性	60代
県職員として、一般人を軽視していると思う。地域活動に積極的に参加しないと思う。	男性	20代
私の職場は月に5日の休みしかありません。公務員の皆様のように週休2日で祝祭も休みではありません。しかも給料も安いのです。ですから公務員の皆さん、しっかりお仕事なさってください。市民のためによりしくお願いします。	女性	30代

内容	性別	年代
パスポートの受付の方の接客はどうにかして頂けないでしょうか？気分が良いものではありませんでした。	女性	20代
お役所仕事とは、規則ばかりを守らないで、ある程度融通の効くゆとりがほしい。	女性	70代以上
公務員になる理由は、安定しているから・・・と聞くと悲しくなります。他の業種はもっとあれをやりたい、これをやりたいと仕事に対しての夢がある。市民の目にビクビクしてクーラーを切ったり、地味にしたりするのではなく、もっとプロ意識を持った人が多くいてほしい。これだけの仕事をしているから当たり前だ！！と堂々とできる仕事をしていただきたい。そして、世の中の役に立つ仕事と言うことで、子どもたちの夢、なりたい職業になってほしい。そして、内輪の人間関係だけ大切にしないで、行政サービスしてください。	女性	30代
県職員は多すぎるのでは？県庁でアルバイトをした数人からの意見。「上司はあまり仕事せずに遊んでいる。我々をバイトに雇うから手が足りないのかと思っていたら、役職のある人たち、遊んでいる人が多くて、ムカムカした。税金で給料もらっているのに、何だと思っているんだろう！！」同感！！職員の手当て、公表してほしい。遊び場で遅くなって時間外を付けるなんて信じられない。職員の意識改革が必要。一般社会では通らない話がいっぱい聞こえてくる。	男性	60代
県民のために意識を高めて働いてください。	男性	20代
県職員の方の中には、まだまだ接客態度がどうかと思われる方がいます。佐賀のために人力をつくし、サービス業だと思うぐらいの気持ちでお願いしたいです。	女性	50代
県庁(職員)について。新聞やメディアで県庁(内)の改善が行われている様にいろいろ目にしますが、その実情は関係機関に多くの皺寄せを与えた上で成り立っていることが多々あるが、それを県独自の努力と勘がいていることもある。また事実と異なる(事実をごまかす)内容に変更したりすることがあった。県職員の広報される給与を見ていると、端から見れば実際の能力、勤務に見合っていないと思うこともある。県職員の人事異動についても、もう少し早い時期に内示してほしい。引き継ぎがなされていないことあり。また、1年での異動が相次ぐ様なことがあるが、どういう理由でどういう考えで異動が決められているのか判らない。困るのは関係者である。「その場しのぎ」の対応も多々ある。将来的予測の観点に立って行動していない職員もまだまだいらっしゃる様です。自分が担っている職務について理解していなかったり、積極的に取り組む姿勢が見られないこともあります。要求や指摘はしても、逆に対応が遅い。	女性	40代
このようなアンケートによる調査は良いアイデアだと思います。県民一人ひとりの小さな声を取り上げ、これからの県政に是非役立たせてほしいですね。県民自身が「住みやすい県」と自負できる県にしていきたいと思います！頑張ってください。	女性	20代
こういう調査をして意見を言っても到底聞いてくれないでしょう。何のためにするんですか？調査だけするのだったらやめてください。それから一言、佐賀県は税金のムダづかい(特にハコ物)が多すぎませんか。	男性	40代
公務員と会社員の所得差が大きすぎる。このアンケート内容が反映されると、あまり思わないで、このアンケートにも税金が使われていると感じる。	男性	30代
アンケートの質問の仕方の順番が逆だったら良かったと思います。(問1、2、3を最後に。答えているうちに考えさせられるので)。正直、佐賀県に住んでおきながら、目は「福岡」へ向いていました。もっと県政の事に関心を持たなくてはと反省しています。良いきっかけを与えてくださってありがとうございます。佐賀県に目を向け、もっと住みやすい県にして、他県にうらやましがられるような佐賀県にしていきたいですね。	女性	30代
こういう調査に対して意味があるのか？	女性	60代
県政は何をしているのか、あまり興味をもっていませんでした。本当に個人の意見を取り入れられるかも半信半疑のところがあります。このアンケートから何か行動を起こそう、改革しようとされているのかなど、少し期待がもてるようになりました。どうぞ頑張ってください。	女性	50代
佐賀に帰ってきて約1年になりますが、一番望むことは交通の便の悪さです。以前は福岡市内に住んでいたからだとは思いますが、市内に住んでも、田舎の郡部に住んでも変わらないくらいの便の悪さにびっくりです。車を購入するにしても支払いがかさむし、職はないしで最悪です。若い人がこのままだと都会へ移住してしまいますよ。よく考えてほしいです。又、老いた人も大変だと思います。このアンケートを生かしてほしいです。	女性	50代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
民間は不景気が続いており、また、公立の職場(保育園、福祉施設など)でも、非正規や派遣の職員がたくさんいらっしゃいます。そんな中、やはり公務員は恵まれている立場です。県職の中には、どうしてこんな人が公務員なの？と首をかしげたくなる人もいます。今一度、採用のあり方も検討された方がいいのではないですか。このアンケートが、ただのアンケートに終わらないことを望みます。これにも税金が使われているのでしょから。	女性	40代
このアンケートで何が分かるんですか？何の役に立ちますか？	女性	30代
アンケートのインターネット化を進めて欲しい。送料がもったいないし、紙代も印刷代ももったいない。インターネットにより県政モニター募集などで呼びかけて、各世代の人を集めればいい。	女性	30代
このような人に直接会わずに行うアンケートは意味がないと思う。予算が足りないで住民税など増税するより、公務員意識を改め、無駄を減らしてほしい。同居を増やし、安い生活費で生活できる佐賀県にしてほしい。流行語のように流れるキーワードに惑わされず、長い目で見た県政を望む。	男性	30代
アンケートの質問文がアバウトすぎて答えに困りました。	女性	30代
適宜アンケートを実施して、住民の満足度を向上させる施策を実施してほしい。住民の満足度の向上が、定住人口増となり、多様な需要に適應できる。まだ人口が少ないと思います。	男性	60代
この調査で何がわかりますか。この調査で何が変わりますか。	女性	60代
佐賀県内での雇用を確保してほしい。県内に就職したくてもできない若者が多数います。	男性	40代
①下水道基盤の早急な改善(他県と比較して劣っている)。 ②老人福祉の充実。 ③農業の改善(休耕田が多く見られる)。もったいない。 ④自然の美しさを最大限生かす行政。	男性	50代
大きな発展の為に地域をつぶさない県政を望みます。地元の店がちゃんと成り立つように、大型店の出店とかは検討してほしい。職人さんとか服店はほとんど閉店。買い物は豆腐1丁でも車で15分かかる生活になっています。年をとったら生活できないと不安です。車生活で地域の人との交流も少なくなりました。	女性	40代
宮崎に行ったときに県庁の方々の態度がすごく良かった。そしてお土産屋さんがあったのでいっぱい買って来た。佐賀県庁のレストランに時々食事に行きますが、佐賀県庁の職員の方は誰でも知らんぷりしておられる。この前、伊万里の方とか唐津の方を連れてきましたが、食事だけでは寂しかねーって言うていました。空きスペースがいっぱいあるのに、何も無い店の方から高い家賃を取るのではなく、安くしてあげて、お店があると賑やかになるのになーっていつも思っています。	女性	60代
若者の就労に力を入れてほしい。 他県人は「佐賀は通過する県」と良く聞かすが、有田や嬉野をもっとPRしては。また、佐賀県人気質として排他的なところがあり、改めるべきではと思う。 新幹線は必要ない。在来線で十分だ。税金の無駄使いはやめてほしい。	女性	60代
女性がもっと仕事ができる環境をつくってほしいと思う。子どもが小さい頃、急に熱を出したり、運動会の代休で学校が休みになると、実家も遠く、預ける場所もなく、大変困った。不景気で会社側も急に休みを取ったり、会議や打ち合わせが入っていたりすると休むこともできなくなり大変だった。佐賀県はまだまだ子育てと仕事を両立するのは難しいと思う。	女性	40代
行政に頼りすぎず、自分たちでできることから少しずつやろうとする気持ちを持ってほしい。「人にしてもらおう」ではなく、人のために自分に何ができるのかを今一度考えるべきだと私は思う。私一人の力は微力だけど、無力ではない。大した意見にはならないと思うのですが、知事に大いに期待しています。	女性	40代
県政発展にあらゆる分野で頑張ってもらっている職員の方たちに感謝。これからも住みたい県づくりに努めてほしい。“教育と健康第一”。佐賀県から優秀な人材づくりを。	男性	50代
やる気を出して。	男性	70代以上
佐賀をもっともっとマスコミ等で知ってもらうことを考えてほしい。LOVE SAGA	男性	50代
地域の状況をもっと把握し、地方に必要な県としての役割を果たしてほしい。中央省庁の受け売りではいづれ地方は破綻してしまうと思う。	女性	30代
高齢者が働きやすい環境をつくってほしい。	男性	50代
人が生きるということをもっと見つめ直して頂きたい。原発の愚かさに気付いて頂きたい。地球に負の遺産を残さない仕事をして頂きたい。原発廃止して下さい。一住民の声に耳を傾けて下さい。都合のいいところだけ利用するのはやめて下さい。	女性	40代

内容	性別	年代
旧城島町とみやき町に橋をかけてもらいたい。私たちのところは島になっているのでとても不便です。	男性	60代
介護関係の仕事をしている方の賃金引上げなどに力を入れてほしいです。	女性	20代
県にとって重要なことへの取り組みが積極的ではない。予算が少ないこともあると思うが、自然環境に対する対応が手緩いと思う。二酸化炭素の減少対策にしても、具体的な対策が少ないどころか、むしろないに等しいと思う。	男性	60代
財政難の折ではあると思いますが、インフラの整備が進んでいません。地域密着型の行政をお願いします。また、職場の確保(誘致が進む条件整備)を!	男性	40代
佐賀空港の有効利用をもっとアピールしてほしい。佐賀空港を継続して下さい。	女性	40代
県政においても無駄がないか見直してほしい。国であれだけあったのだから、全くないとは言えないと思います。	女性	50代
未婚の社会人が多すぎます。親子または孫たちと生活できるような社会基盤をつくっていただきたい。	男性	70代以上
特に北部では企業の誘致が進んでいない。また、今から先、建設業などの仕事などがなくなって、倒産する企業なども出てくる。子どもたちには部活動などしやすい環境(誰もが)、経済面で望む。もう少し行政なども机などの仕事ばかりしていないで、自分たちの目、足などを使って、地域の人たちとコミュニケーションを取ってほしいと願う。	男性	50代
農林業に力を入れてほしい。	男性	50代
佐賀空港の利用が不便。鹿島・嬉野からの利用が(自家用車・高齢者)不便。何らかの方策がなければ利用しにくい。	男性	70代以上
子育てをしているため、なかなか外部のことがわからないので、難しかったです。いざ仕事を始めようと思っていても、急に保育園(入りたいと思っているところ)に入れないのが大変だと思った。	女性	30代
財政難といって職員の給与カット、予算削減などがありますが、職員を自宅に近い職場に移動させるだけで莫大な予算カットにつながるのでは?まわりに40~50km通勤者が大勢いて、手当がもったいない気がしています。	女性	30代
交通(公共の乗物)の整備に力を入れてほしい。山間部などは大型バスでなくミニバスなどを走らせるなど...	女性	30代
佐賀県になにも期待していません。	女性	20代
災害時の避難場所等、すべての地域で体制を整備する。過疎対策。	女性	50代
県内は雇用が少なく、就職するのに大変困りました。子どもたちがいろいろな仕事のチャンスが与えられるといいと思います。雇用の情報などももっと発信してほしいです。	女性	40代
市町村に比べて遠い存在になりがちです。広報のあり方など工夫がほしいものです。人を育て、地域をつくり、企業を伸ばす...のは、やはり人です。より広い意見、深く厚い人間性を望まれますように、県職員の方々のご精進をお祈りいたします。	男性	50代
最重要課題→福祉・医療・教育。 アンケート→漠然とした内容すぎる!! 佐賀県政だよりなどおもしろくなさすぎ。もっと工夫してみてください。	女性	20代
公共事業を増やしてほしい。	男性	40代
とにかく、税金の無駄使いを見直して、一人ひとり平等にいろいろな面で支援して頂きたいです。	女性	40代
役所にかかわる申請の簡素化。	女性	40代
宮崎県の真似からスタートしてください。	男性	50代
生涯学習面で佐賀で全国大会を考えているが(500名くらい)、県から何らかの対応が得られるだろうか。500名を佐賀に...とした場合、相当の経済効果も望めると思うので考えてほしいのですが...	男性	70代以上
子ども、高齢者...生活弱者への話題はたくさんあるのですが、20代~50代は楽な生活をしているかといえば、もちろん楽ではありません。弱者に対して優しいことは大切ですが、「すべての県民」が幸せになることが大切だと思います。年齢・性別などを越えて、「最大多数の最大幸福」となるような県政を行ってくださることを希望しております。	女性	40代
子育て...特に働く両親をもつ子どもの過ごす場所などに力を入れてほしい。保育園に行っている間はいいが、小学生になると放課後や長期休暇などはどうなるのか...心配です。	女性	30代

第3章 暮らしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
観光地等がだいたい錆びれかけているため、もっと活性化できないでしょうか。他の県に行かなくても地元で楽しめる場所があればいいのではと思います。	女性	40代
現在、大型スーパーがなく、買い物に困っています。水道代が高く、思うように企業の進出もなく、錆びれていく一方です。働くにも県外に出なくてはなりません。地元に戻ってきたくても働く場所がありません。どうしたらよいでしょうか？	女性	40代
県の支出をもっと減らしてほしい。県民が思う無駄ってなんですか？のアンケートなら喜んで書きましょう。事業仕分けを佐賀県でも行ってください。	女性	50代
税金が高すぎて払えない月が多い。納税の件で相談に行っても親身になって相談にのってくれる人が少ない。はっきりいって冷たい！窓口に行くのが嫌になる。	女性	40代
40代、50代、60代の方々、男女が働ける会社を増やして欲しい。又、4、5時間の短時間の仕事ではなく、8時間労働を増やして欲しい。	男性	40代
農家には後継者が、なぜ出来ないか。農業所得が少ないので苦しい生活になって居る。肥料や農薬等は年々上がる。生活するには現金が必要である。農業外での収入がほしい。農地を荒廃させない様に頑張っている現状です。	男性	70代以上
民主党政権となり、無駄を省くために事業仕分けが行われましたが、県の財政を考えると、県政の中で事業仕分けが必要ではないでしょうか？わけのわからないNPOが多すぎます。私たちの税金を大切にしてください。	女性	40代
県外に出て、はじめて佐賀の良さがみえてきます。昔からの風景(クリークのある佐賀平野、大楠、広い空etc)など、佐賀らしいものは残してほしいです。このアンケートで意見を少し言えてよかったです。	女性	50代
同じ佐賀県内でも、地域によっていろんな面で差があると思います。中心地では充実しているものが、地方に行くとまったく整っていないなど、格差があるので、できるだけ、どこに住んでも同じサービスを受けられるようにしていただきたいです。	女性	30代
子ども手当を支給しても、そのお金で賭け事に使用する人もいます。それよりも子どもが欲しくても不妊で困っている人達が多い。不妊治療にかかる治療費も高いので、そういう人達のためにお金は使った方がよいのではないかと思います。	男性	20代
佐賀に転居して2年。まだ地域になじめていないので、今回のアンケートに答えるのが難しかった。ただ県の中心地にしては、そこはかとなく、さみしさを感じます。地域の活性化がんばってください。	女性	20代
県庁に行くことがない程の生活です。安心して暮らしています。県民だよりが県政を知る唯一の資料です。昭和20年代と比べると、何10倍も幸せです。若者の仕事がないのが最大の悩みです。	女性	70代以上
もっともっと佐賀県を全国に知ってもらいたい。	女性	60代
まず「福祉の充実」が希望です。子どもに知的障害があるので、市の福祉課へ出向くことがあります。対応がいつも事務的で、常に「きまりなので」としか答えてくれません。子どものことについての相談などの情報も、こちらが求めないと教えてくれません。市には専門的施設がないため、県外に連れて行かねばならず、交通費などの負担などで頭を痛めています。観光などで外からお金が落ちることを考えているようですが、今、この市に住んでいる人の生活を充実させてこそが、市の活性化にもつながると思います。中高一貫校を作って得をしたのは一部の人たちだけ。市民には殆どメリットはありません。	女性	50代
佐賀は福岡にも1時間程度で行けて、温泉もありいいところだと思う。全国的に馬鹿にされるのがおかしいと思う。佐賀牛、有田焼などブランドもあるのに栄えないのはなぜ？若者の都会への流出が…。憧れる時期があるのはわかるが、“戻ってきたい佐賀”を目指して頑張ってもらいたい。	女性	40代
24時間、県職のサービスをやってほしい。	男性	30代
県の借金を増やさないでほしい。住みやすい県、日本一を目指してほしい。	男性	50代
高い税金を払っていますので、有意義に使って下さい。独自に仕分けして、佐賀県のムダをなくして下さい。いろいろ書きましたが、お仕事ご苦労様です。	女性	30代
無駄なお金は使わないでほしい。例えば新幹線。	女性	70代以上
75才以上の主婦で運転歴45年で、いまだ無事故無違反で過ごしてきましたが、もう自分で運転するのは自信がなくなるといいますので、市内の無料バスを増便して頂ければ高齢者は助かると思います。	女性	70代以上
緑づくりはされてると思うが、後の手入れがなされていない。近くでも生い茂り、側溝も枯葉で埋まっている。	女性	60代

内容	性別	年代
立派な若い人がいっぱいいらっしゃいます。その能力を活かせるような職場が佐賀にはやっぱり少ないと思います。仕方ないとは思いますが、少しは考えてみてください。お願いします。農家の私達の努力不足もありますけど、この広い佐賀平野を活かせる農業を考えてください。	女性	60代
毎月発刊されてあります、「県民だより」を読ませてもらっています。中には読んでいて、これはむしろかしいなと思う事もあります。どんな意味かなと思う事もあります。ちょっと下の方にでも書いてもらおうと助かります。	女性	50代
大きな病院・博物館・美術館・文化会館、全部、市内中心部にあります。地方に住む者は不公平を感じます。このアンケートも住んでいる場所、ブロック別に実施しないと意味ないと思います。腹立たしささえ覚えました。	女性	60代
約40年間鳥栖市に住んでいるが、勤務先が福岡市の為、鳥栖市で暮らしている実感がない。公共交通機関が少なく、自家用車がなければ移動が困難であり、高齢化で自動車を運転できなくなると、生活環境が狭くならないかと不安を感じている。又、地域住民同士の交流イベントが減少している。高齢者の活用を推進する組織体制になっていない。	男性	60代
他県(九州全般)にしても、当県は交通道路等整備の遅れを認め、全般的に進捗状況が進まず、役所の方も懸命に頑張っておられると思いますが、県民のため住みよい町作りに更に頑張ってください。お願いを致します。お疲れ様、有難うございます。お体を大切に。	男性	70代以上
私は今、自分自身とっても安定した生活をしています。税金は少々高いなと思う反面、それに見合った収入もあるということで有難く思っています。佐賀県はとっても好きです。只、旅行して「佐賀県って、どこにあるんですか？」との問いがまだある事(以前より少なくなったけど)に残念です。この調査を通じて改めて、佐賀は素晴らしいと再認識いたしました。ありがとうございました。	女性	60代
特に期待する事はありません。将来は佐賀を離れるよう考えている為。	男性	30代
数年前、ある市役所が電子システムを他国の業者に依頼したが、一般企業ではない国の機関なのだから、もっと「地産地消」「循環型社会」の意識を持ってほしい。県には効率や損得のみで判断するのではなく、社会性があるか、社会にとって善い事かどうかをまず判断してほしい。	女性	30代
若い人の雇用がある、生活の安定した暮らしができる、佐賀県になればと思っています。	女性	40代
我が家からいえば、県政に関して(大きいえば)、何一つ手のひらにも乗れないような、ちっぽけな存在だと思いました。このちっぽけな存在には福祉がますます福祉差別が広がりつつあります。福祉の窓口はあっても無視する制度にはしないで下さいませ。	女性	70代以上
道路の整備を多くしてほしい。県道・国道・市道等の道(自転車道)の整備、狭い所、広い所が、一本の道に何ヶ所もある。林道はきれいに整備されているのに、その下の生活道路の方が悪い箇所が多すぎる。	男性	60代
夫の収入が少なく生活がとても大変なのに(毎日外でちゃんと働いてますが・・・)、税金や保育園料や子ども達の医療など出費が多すぎて、このままでは追いつめられて、どうにかなりそうです。せめて、子ども達を安心して、お金の事を気にせず、病院にも連れて行けるようにしてほしいです。	女性	30代
景気の問題でしょうが、活気ある県、安心感のある県になって欲しいと思います。夢がかなう、夢を描ける県。幸福感が感じられる県。厳しい時代だからこそ、幸福を実感できる県になると良いと思います。不安の中で生きているようです。	女性	50代
私は県外から佐賀に移り住んで20年になります。佐賀はどんどん住みやすい街(佐賀市内)になっていると感じます。一方、市以外は限界集落の話も時々聞きます。前知事さんの「住みたい県日本一」というのが私は好きで、そういう県になってほしいと思っています。「住みたい県、住み続けたい県」。自然と歴史、充実した教育、子育てには良い環境だと思います。若い世代の人が住みたくなる街づくりを。そして若い世代が高齢世代を支えていけるとよいなと思います。自分が日頃目を向けないことについては回答しにくかった。自由意見を書く欄がたくさんあるのがうれしかった(選択肢では伝えられないので。)です。	女性	40代
国も地方もあまりにも福祉が、貧困問題に対する意識が低すぎる。県として消費税増税に反対して欲しい。増税されてはとても生活できない。消費税増税ではなく累進課税の強化を、米軍が佐賀に基地を置くという話になったら断固反対すべし。米軍などこの国に不要。いい加減に自主独立せよ！！	男性	20代
突然のアンケートで考えがまとまらないまま、急いで記入しました。じっくり考えればもっと有意義な事を記入できたかも知れません。申し訳ない。日頃佐賀県民の自覚なく暮らしています。佐賀牛以外の事で他県の人と話せるように(自慢できるように)になりたい！！	男性	50代

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

内容	性別	年代
農業のみなど、自営業の人の年金だったり、税金だったり、見直してほしい。サラリーマンに比べて厳しいと思います。不景気のため、ボーナスもなし。日々の仕事も機具など交通費も必要。経費は高いが収入が低く家なし。子どももつくれず老後が心配です。	女性	40代
国と市町村に挟まれ微妙な立場であるが、逆にその分政治的な潜在力を発揮できる。縦割りとか、法、制度の壁とかの前に、「住民のために」一人ひとりに何ができるか、何が必要かを考え、実行できる組織になっていただきたい。	男性	50代
市役所の接客態度が悪い。必要な説明ができていない。	女性	30代
安心して働ける場がもっと増えればいいと思う。現状では非正規労働が多く、それでは今後の生活にとっても不安がある。もっと正規の労働を増やしてほしい。	女性	30代
一般の生活、表面だけではなく、裏もしっかり見てほしい。待っているのではなく、実際の目で耳で、みんながどんな生活を送っているのか！山、川、街、どんなに変わったのか。どれだけの人が地元から離れなくてはいけなかったのか！見てほしい。会話してほしい！机の上のデータではなく、歩いて肌で感じてほしい。地元のことを！！	女性	50代
居住地に隣接する国道の通行車両や速度規制の見直し。地響き、地揺れ、爆音等々公害である。	男性	60代
県税は平等に取るように。納税している人、していない人がいる。教職員に楽しい学級づくりの指導をもっとしてほしい。	女性	40代
福祉や教育に力を入れてほしい。特に、最近の学校は上(国や県)からの締め付けが厳しく、先生たちは多忙化し、余裕がなくなっているようです。先生が安心して勤められる学校でなければ、よい子は育たないと思います。	女性	70代以上
①特に佐賀駅周辺から中央大通りにかけてもっと活気溢れる人が集まる町づくりをしてほしい。 ②バルーンフェスティバルもバルーンが飛ばないことも多いので、そういうときでも楽しめるイベントづくりをしてほしい。 ③佐賀県はただの通過点と言われたいためにも、また、県外から観光に来てもらうための町づくりをしていてもらいたい。	女性	60代
主婦であり世間のことも知らないなので、質問の内容がめんどくさくなり、あまりお役に立てないと思います。思ったのは、社会、環境は人間がつくっていくものなので、やはり家庭環境、子ども教育が必要だと思います。勉強だけではなく、当たり前を教えることができていないと思います。学校のせいにするのではなく、まず家庭からきっちり！！そうすれば、その後の社会環境もよくなるのではと願っています。	女性	40代
公的宿舎は安すぎる。一般と同じにすべき。ホームページで意見を募ったりするのはやめてほしい。ホームページを見ない人がほとんどだと思うので。	男性	30代
市民の意見を「無理です！」で終わらせないで！	女性	30代
夜間や休日でも手続きができるような体制をつくる。	男性	20代
この何十年の間、結婚しない人が男女を問わず多くなっています。生活の基礎は結婚と子育て、社会とのつながりと職場を離れたところに多くあります。人間の智慧もその間で生まれます。どうすれば結婚させる社会になるのでしょうか。私の身の回りにも多くの人が一人がいいと結婚しない人がいて心配です。	女性	70代以上
特に農林業の振興と若者が安心して働くことができる雇用対策。	男性	30代
背伸びせず今を大切に周りにつつましく、一步一步より良い環境を築き、良識のみなぎる県に致しましょう。	男性	70代以上
どの職種にしても若者が育たず、後継者不足が問題のようです。地元に残って働きたい。でも、企業が少ない。労働条件が他県よりも悪い。そんな声も耳にします。活気ある佐賀、そして我が町。子どもたちの将来のために、私たちが一歩前進しなければならぬと思っています。	女性	40代
終戦によって零下30度のハルビンから引き上げてきました。高齢の私にアンケートとはびっくりですが、気楽に書きました。私の故郷は雪国なので、冬が訪れても雪を見ない佐賀は天国でしょうか。人情は雪国の方が濃いように思います。	女性	70代以上
佐賀市の中心街の活性化、商店街の復活。大型ショッピングセンターを中心街への誘致。地元商店街の人たちとの広い駐車場への協力建設へ。多久市にも大型ショッピングセンターを。若者も集まってくるようなショッピングセンター(有名なファストフード店が入居した)を。	男性	60代
とても難しかったです。自分自身、佐賀県のことをあまり知らないことがわかりました。佐賀県がいろいろなことに頑張っていることは感じていますが、今、何に力を入れているのか、どうしたいのか、なかなか見えない部分があります。これからも頑張ってください。期待しています。	女性	50代



内容	性別	年代
近年、適齢期を過ぎた未婚の男女が多すぎる感がある。私の周りにも数多くいます。各々に事情はあると思うが、行政としての手助けが必要ではないかと思う。例えば、公立の結婚相談所とか集団見合いとかその他・・・。	男性	70代以上
住みやすい佐賀県、他県の人に自慢できる佐賀県にしてほしいです。	女性	30代
人口の偏りがあり、小中学校、高校と各地区でばらばらというところです。県全体できちんと整える。伊万里は高校4校、武雄はたった1校なのに、伊万里から武雄に来る子どもも多く、武雄の子どもは外に出ている。子どもを大切にされているとは到底考えられない。もっと行政に力を持って整備を一般の有識者と共に再編すべき。	女性	40代
毎日が農業の日々です。それが私の一日です。食糧危機に向って頑張っています。日本産の農産物、水産物をたくさん消費してもらえるような日本経済になってほしい。	男性	50代
私は本を読みたいが、読みたい本が手に入らない。車の便が悪くて思うように出かけられない。現在、電動車を利用していますが、電動車にも補助がほしいです。	女性	70代以上
新卒者の雇用の場を広げてほしい。	女性	20代
佐賀県を全国区にする必要があると思います。宮崎県のように良くも悪くも名前は全国区になると県全体も活発になってくるのでは？知事さんの頑張りが足りないのではないのでしょうか？県民のトップ、または役人さん方がもっと動かないとダメ(口だけ動いている人が多い)。	男性	50代
農家が自立して農業を営めるよう、税金を使ったサポートではなく勉強会、講演会などをさかんに行ってほしい。税金からの補助金をもらうために営農計画をしている現状は、農家にも県民にとっても悪循環であると思う。他県の好例を県内で取り組む環境が整えば、後継者も増えるのではないのでしょうか。	女性	30代
本庁、支所、土・日も営業してほしい。平日も週2日～3日は20:00位まで窓口を開けてほしい。※仕事上平日は勤務時間内に行けない為。	男性	50代
皆が利用出来る図書館をもっと充実してほしい。車イス…通路が狭い。小さいお子さん…座敷等。放課後の子ども達の居場所の一つ(ルールを守る事を条件に)。	女性	40代
以前からの県政にくらべ、古川県政に変わりずいぶん佐賀県も良くなりつつあると確信しています。無駄な工事、不必要な建物を作らないようにお願いします。今はみんな我慢の時代と思います。乱文で失礼。	男性	60代
私達夫婦は低年金でぎりぎりの生活をしております(地デジのチューナーさえ買えない有様です)。低年金者、後期高齢者医療制度の見直し等、生活弱者の目線で福祉行政に取り組んでいただきたい。	女性	70代以上
雇用・福祉に力を入れてほしいと思います。新幹線など発達がすすんでいますが、収入の見込みを考慮して予算を決め、無駄な投資をさけて頂きたいです。	女性	20代
他県から移住してきた者です。美しい田舎の中で生活していますが、風習の違い等を感じながら佐賀県大好きになろうと思っています。県庁、市町村、これからもっと知り、なにか役立つことがあれば活動してみたいと思っています。	女性	60代
長崎・新幹線は本当に必要なか疑問である。産業振興に力を注いでいただき、雇用の増大を図り、若者等が県外に流出しないよう努力してほしい。又、有明海沿岸道路早期完成を！！	男性	70代以上
高齢者の免許証の返上を促進させるには、県や市が交通機関に補助をしてでも交通機関を充実させて下さい。	女性	70代以上
7月1日の佐賀新聞の論説の記事に書いてあったが(体罰と懲戒)、今の学校教育の現状は、何もしない教師が問われることなく、情熱を持って本気で子どもの指導に取り組んでいる教師が、少しでも行き過ぎた事をすると問われている。保護者も「体罰は許されないが、子どもにも反省するべき事があるのでは…」と見つめることができたなら子どもは前に進める。教師の反省も深くなる。この記事が学校関係者は読み、討論する場を作るべきだと思う。	男性	60代
障害者の働く施設を増やしてほしい。一般労働者の働く施設が少ない。増やしてほしい。	男性	70代以上

### Ⅲ. 調査票

## 佐賀県くらしの実感調査

### ～ アンケートのご協力をお願い ～

日ごろより県政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

佐賀県では、「くらしの豊かさを実感できる 佐賀県」の実現を目指して、いろいろな施策に取り組んでいます。

今回、皆さまにご協力をいただきたいこの「佐賀県くらしの実感調査」は、これまでの県の実感調査について、皆さまのくらしの中での実感を把握し、今後の県政運営に反映させていただくための調査です。

皆さまにおかれましては、お忙しい中、たいへん恐縮ではございますが、この趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

佐 賀 県

### ＜調査対象者の選定について＞

この調査票は、選挙人名簿に基づき、満20歳以上の県民の皆さまから無作為に選ばせていただいた3,000名の方々にお送りしています。

### ＜ご記入方法＞

- 無記名調査ですので、住所・氏名の記入の必要はありません。
- 調査をお願いしたご本人（封筒のあて名に書かれている方）がお答えください。  
なお、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方がご記入ください。
- 各質問について、あなたご自身やご家族、地域の方々のくらしを思い浮かべて、あなたの実感やイメージにあてはまる番号に○印を付けてください。  
なお、回答の理由をお聞きする質問がありますが、理由は県の施策などから抽出しています。  
当てはまるもの、またはその他の理由（自由記入）があればお答えください。
- 自由記入欄を設けていますが、特にご意見などが無い場合は、次の質問へお進みください。
- お答えは、鉛筆やボールペンなどでこの調査票に直接ご記入ください。

＜個人情報取扱いについて＞

この調査は、無記名でお願いしており、どなたにご回答いただいた調査票なのかわからないようになっていきますので、安心してご記入ください。

ご記入いただきました結果は、統計的に処理いたします。

自由意見の記入欄につきましては、個人が特定できないよう配慮した上で、内容を報告書やホームページ等で紹介させていただくことがありますのでご了承ください。

なお、この調査にあたって入手した個人情報（調査対象者名簿、回答済み調査票）につきましては、佐賀県個人情報保護条例に基づき、他の目的への利用や外部への提供が禁止されるとともに、調査結果集計後、速やかに安全な方法で廃棄するなど適正に取り扱いますので、調査にご協力いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

＜調査票のご返送について＞

ご記入いただいた調査票は、同封した返信用封筒（切手は不要）に入れていただき、7月 9日（金）までにご返送ください。

**この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。**

佐賀県 統括本部 政策監グループ 広聴・調査担当 野口、甲斐

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 本館2階

電話：0952-25-7351 FAX：0952-25-7263

E-mail：seisakukan-g@pref.saga.lg.jp

【委託業者】（調査票の発送及び結果の集計、分析などの業務を委託）

株式会社 サーベイリサーチセンター 九州事務所

調査票の記入例をご紹介します。

P1~2(総論)

あなたの暮らしについて、どう思われているかおうかがいします。

問1 佐賀県での暮らしを全体的にみて、現在、どのくらい満足していますか。(〇は1つだけ)

- 1 満足している
- ② まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

◆問1の記入方法

・あなたの「暮らしへの満足度」を教えてください。



県産木材利用推進プロジェクト  
モクリン

問2 佐賀県での暮らしを次の6つの分野に分けたとき、それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。(〇はそれぞれについて、1つだけ)

下の①~⑥について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを〇で囲んでください。

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
--	--------	----------	-----------	------------	---------

① 福祉・保健・医療	1	②	3	4	5
② 教育・文化・スポーツ	1	2	③	4	5
③ 交通基盤(ネットワーク)・社会基盤・情報化	1	2	3	④	5
④ 安全(消費、食、交通安全、防犯、防災)・環境(地球環境、自然環境、生活環境)	1	2	3	4	5
⑤ 産業(農業、林業、水産業、商業、工業、観光)	1	2	3	4	5
⑥ 雇用・労働	1	2	3	4	5

◆問2と問3の記入方法

・今回は「分野ごとの満足度」を横に答えます。  
・問3は分野ごとに、「県にどのくらい力を入れてほしいか」の質問になります。

◆問4以降の記入方法

・それぞれ質問に対して横に見て、あなたの実感を教えてください。  
・「あまりそう思わない」、「思わない」を選んだ人は、その理由(県の施策から抽出してます)をいくつかでもいいので教えてください。  
・その他に自由に書いてもいいです。  
・特になければ答える必要はありません。



さが食育キャラクター  
たべんぱくん

「福祉・保健・医療」の分野について、あなたの実感を教えてください。

問4 「福祉・保健・医療」の分野に関する①~④の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々の暮らしを思い浮かべて、あなたの実感を教えてください。(〇はそれぞれについて、1つだけ)

また、①~④の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください。(〇はいくつでも)

下の①~②について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを〇で囲んでください。

そ	ま	あ	思	わ
う	あ	そ	わ	か
思	う	思	な	ら
う	う	う	い	な

① 安心して子育てができる環境がある	1	2	③	4	5
《理由》	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 必要なときに保育所が利用できない</li> <li>2 必要なときに放課後児童クラブ(学童保育)が利用できない</li> <li>3 地域で子育てを支え合う環境がない</li> <li>④ 企業や職場が子育てに協力していない</li> <li>5 家庭での子育てへの不安や悩みを相談する場がない</li> <li>⑥ 地域が青少年の健全育成を見守ることができていない</li> <li>7 地域で交流や体験活動が行われていない</li> <li>8 その他( )</li> </ul>				

《自由意見》

あなたが考える「安心して子育てできる社会」とは、どんな社会ですか。

◆あなたの考える姿(社会)の記入方法

・それぞれの施策ごとに、あなたが考える望ましい姿をお聞きしています。  
・「社会がこういう状況になったらいいな」と思うことを自由に書いてください。  
・自由意見ですので、特になければ答える必要はありません。

あなたの暮らしについて、どう思われているかおうかがいします。

問1 佐賀県での暮らしを全体的にみて、現在、どのくらい満足していますか。  
(○は1つだけ)

1	満足している
2	まあ満足している
3	どちらともいえない
4	あまり満足していない
5	満足していない

問2 佐賀県での暮らしを次の6つの分野に分けたとき、それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。(○はそれぞれについて、1つだけ)

下の①～⑥について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
① 福祉・保健・医療	1	2	3	4	5
② 教育・文化・スポーツ	1	2	3	4	5
③ 交通基盤(ネットワーク)・社会基盤・情報化	1	2	3	4	5
④ 安全(消費、食、交通安全、防犯、防災)・環境(地球環境、自然環境、生活環境)	1	2	3	4	5
⑤ 産業(農業、林業、水産業、商業、工業、観光)	1	2	3	4	5
⑥ 雇用・労働	1	2	3	4	5

※「6つの分野」とは…

- ①福祉・保健・医療: 子育て、高齢・障害者福祉、健康づくり、医療体制整備など
- ②教育・文化・スポーツ: 学生の学力向上、生涯学習、文化・体育活動、文化・体育施設の整備など
- ③交通基盤・社会基盤・情報化: 道路・空港・鉄道・港湾の整備、まちづくり、インターネット環境など
- ④安全・環境: 消費者保護、食の安全・安心、交通安全、治安・防犯、地球環境など
- ⑤産業: 農林水産業の振興、企業誘致、中小企業の育成、観光の振興など
- ⑥雇用・労働: 新規学校卒業者・高齢者・障害者・女性などへの就業支援、職業訓練、仕事と家庭の両立など

問3 佐賀県での暮らしを次の6つの分野に分けたとき、それぞれについて、県が力を入れることをどのくらい期待していますか。(○はそれぞれについて、1つだけ)

下の①～⑥について、それぞれ横に見て、1、2、3、4a、4b、5a、5bのどれか1つを○で囲んでください。



	期待している	やや期待している	どちらともいえない	しあてあまりいな期待		い期待なし	
				重要と思わない	期待しても無理	重要と思わない	期待しても無理
① 福祉・保健・医療	1	2	3	4a	4b	5a	5b
② 教育・文化・スポーツ	1	2	3	4a	4b	5a	5b
③ 交通基盤・社会基盤・情報化	1	2	3	4a	4b	5a	5b
④ 安全(消費、食、交通安全、防犯、防災)・ 環境(地球環境、自然環境、生活環境)	1	2	3	4a	4b	5a	5b
⑤ 産業(農業、林業、水産業、商業、工業、観光)	1	2	3	4a	4b	5a	5b
⑥ 雇用・労働	1	2	3	4a	4b	5a	5b

**「福祉・保健・医療」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。**

問4 「福祉・保健・医療」の分野に関する①～④の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々の暮らしを思い浮かべて、あなたの実感をお答えください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①～④の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①～②について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

① 安心して子育てができる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 必要なときに保育所が利用できない	6 家庭での子育てへの不安や悩みを相談する場がない				
2 必要なときに放課後児童クラブ(学童保育)が利用できない	7 地域が青少年の健全育成を見守ることができていない				
3 低年齢児や障害児、病児・病後児を預けることができない	8 地域で世代間交流や体験活動が行われていない				
4 地域で子育てを支え合う環境がない	9 その他( )				
5 企業や職場が子育てに協力していない					

**《自由意見》**

あなたが考える「安心して子育てができる社会」とは、どんな社会ですか。

② 高齢者や障害者などだれもが地域で暮らすことができる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 高齢者が社会の一員としての役割を果たす機会が少ない	7 子どもにかかる医療費負担が大きい				
2 高齢者が自立した生活を送るための介護の体制が不十分である	8 乳幼児やその母親の健康支援体制が整っていない				
3 障害者が地域で生活することへの周囲の理解が不足している	9 母子(父子)家庭での子育てと仕事の両立が難しい				
4 障害者が地域で生活するための相談支援の体制が整っていない	10 児童虐待を防ぐ体制が整っていない				
5 障害者の働く場が少ない	11 ユニバーサルデザインの考え方が普及していない				
6 障害者が地域で生活する場が少ない	12 低所得者への生活支援体制が整っていない				
	13 その他( )				

※「ユニバーサルデザイン」とは…高齢者や障がい者だけでなく、全ての人が利用しやすいように製品・建物・空間・環境等を考えてデザインする概念。

**《自由意見》**

あなたが考える「高齢者や障害者などだれもが地域で生活しやすい社会」とは、どんな社会ですか。



下の③～④について、それぞれ横に見て、  
1、2、3、4、5のどれか1つを○で  
囲んでください。



そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い
------------------	----------------------------	---	------------------	-----------------------

③ 健康的な生活を送ることができる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 生活習慣病を相談する場が少ない	4 がん検診を受ける機会が少ない				
2 自殺者を減らす対策が整っていない	5 感染症や難病の情報を知る機会が少ない				
3 健康的な食生活習慣が身についていない	6 その他( )				

《自由意見》

あなたが考える「健康的な生活が送れる社会」とは、どんな社会ですか。

④ 安心して医療を受けられる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 必要なときに地元で治療が受けられない	4 国民健康保険制度に不安がある				
2 医薬品(血液製剤を含む)の安全性に不安がある	5 老人医療制度に不安がある				
3 献血の取り組みが進んでいない	6 その他( )				

《自由意見》

あなたが考える「安心して医療が受けられることができる社会」とは、どんな社会ですか。

《自由意見》 ①～④までの質問や理由について思うこと、または「福祉・保健・医療」の分野について、ご意見・ご提案があればお聞かせください。

「教育・文化・スポーツ」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。

問5 「教育・文化・スポーツ」の分野に関する①～④の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々の暮らしを思い浮かべて、あなたの実感を教えてください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①～④の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下に記載した県の取り組みである《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①～②について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

① 子ども一人ひとりの目標や課題に応じた教育環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 基礎学力が定着する教育ができていない	6 専門家としての力量と情熱をもった教職員が少ない				
2 豊かな感性や社会性を育む教育ができていない	7 地域に信頼されるような開かれた学校になっていない				
3 不登校やいじめなどを相談する場がない	8 安全・安心、快適な学校施設になっていない				
4 国際化や情報化など社会の変化に対応した教育が受けられない	9 子どもの登下校に不安がある				
5 障害のある子どもへの支援ができていない	10 魅力ある私立学校が少ない				
	11 その他( )				

《自由意見》

あなたが考える「子ども一人ひとりにとって望ましい教育環境」とは、どんな環境ですか。

② 多様な文化・歴史にふれることができる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 文化行事の情報が少ない	4 文化的・歴史的資産が保存・活用されていない				
2 博物館などの展示内容がもの足りない	5 その他( )				
3 地域の伝統文化が受け継がれていない					

《自由意見》

あなたが考える「歴史や文化にふれ、楽しめる社会」とは、どんな社会ですか。

下の③～④について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

③ 生涯学習のできる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 講演会や講座などの開催が少ない	3 生涯学習の成果を活かす場所がない				
2 図書館の本が充実していない	4 その他( )				

《自由意見》

あなたが考える「生涯学習を楽しめる社会」とは、どんな社会ですか。

④ スポーツに親しめる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 学校体育や部活動が充実していない	4 競技スポーツで佐賀県の選手やチームがあまり活躍していない				
2 スポーツ活動の機会や情報が少ない	5 その他( )				
3 地域のスポーツ設備が充実していない					

《自由意見》

あなたが考える「スポーツに親しめる社会」とは、どんな社会ですか。

《自由意見》 ①～④までの質問や理由について思うこと、または「教育・文化・スポーツ」の分野について、ご意見・ご提案があればお聞かせください。



さがびよりイメージキャラクター  
ひよりちゃん&ちゆんくん

**「交通基盤・社会基盤・情報化」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。**

問6 「交通基盤・社会基盤・情報化」の分野に関する①～②までの質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々の暮らしを思い浮かべて、あなたの実感をお答えください。

(○はそれぞれについて、1つだけ)

また、①～②の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください(○はいくつでも)

下の①～②について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		
		思		
		わ		
		な		
		い		
		い		

① 空港や鉄道、基幹道路などにより、人や物、情報の交流がスムーズにできる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 有明佐賀空港の発着便が少ない	5 インターネットのできる行政手続(申請、届出など)や公金納付が少ない				
2 幹線道路が整備されていない	6 その他( )				
3 港湾の整備が進んでいない					
4 メールやインターネットの利用が進んでいない					

**《自由意見》**

あなたが考える「人や物、情報の交流がスムーズにできる社会」とは、どんな社会ですか。

② 暮らしやすいまちになっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 合併後の市町がうまく機能していない	6 必要な污水处理施設が整備されていない				
2 市街地や農地の調和がとれていない	7 雨が少ないと、水の利用に不安がある				
3 まちなか(市街地)に活気がない	8 県民やCSO、企業など多様な主体が公共を担っていない				
4 街路や公園、良好な住環境が整備されず適に暮らせない	9 公共交通機関など身近な移動手段がない				
5 美しい景観が保全されていない	10 その他( )				

**※「CSO」とは…**

Civil Society Organizations(市民社会組織)の略で、佐賀県では、NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称している。

**《自由意見》**

あなたが考える「暮らしやすいまち」とは、どんなまちですか。

**《自由意見》** ①～②までの質問や理由について思うこと、または「交通基盤・社会基盤・情報化」の分野について、ご意見・ご提案があればお聞かせください。

**「安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。**

問7 「安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）」の分野に関する①～④の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々のくらしを思い浮かべて、あなたの実感をお答えください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①～④の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①～④について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		
		思		
		わ		
		な		
		い		
		い		

① 安心して消費生活を送ることができる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 契約トラブルを相談する場がない	4 ペットが大切にされていない				
2 契約トラブルの未然防止の情報が届かない	5 その他( )				
3 食品の適正な表示と安全性に不安がある					

**《自由意見》**

あなたが考える「安心して消費生活を送れる社会」とは、どんな社会ですか。

② 地域犯罪や交通事故に対して安心できる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 地域の安全が地域で守られていない	4 生活に身近な道路や歩道が整備されていない				
2 交通安全の取組みが行われていない	5 その他( )				
3 薬物乱用による事件が増えている					

**《自由意見》**

あなたが考える「安全・安心な社会」とは、どんな社会ですか。

下の③～④について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

③ 災害に対して安心できる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 地域の防災体制が整っていない	4 地震による家屋等の倒壊の不安がある				
2 災害時の避難場所がわからない	5 洪水や土砂災害が心配である				
3 災害情報が届かない	6 その他( )				

《自由意見》

あなたが考える「災害に対して安心できる社会」とは、どんな社会ですか。

④ 環境(地球、自然、生活など)を守る取組みが進んでいる	1	2	3	4	5
《理由》	←				
1 太陽光発電などの新エネルギーが普及していない	6 野生の動植物などの自然環境が守られていない				
2 地球温暖化防止の意識を持っていない	7 有明海の再生が進んでいない				
3 空気・水・土壌などの生活環境が守られていない	8 ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会への意識を持っていない				
4 自然公園の景観が守られていない	9 原子力発電に対する理解が低い				
5 森林(もり)・緑づくりの取組みが広がっていない	10 その他( )				

※「新エネルギー」とは…

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギーであり、新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法(新エネ法)では、太陽光発電、風力発電などの10種類が指定されている。

《自由意見》

あなたが考える「環境(地球、自然、生活など)が保全されている社会」とは、どんな社会ですか。

《自由意見》 ①～④までの質問や理由について思うこと、または「安全・環境」の分野について、ご意見・ご提案があればお聞かせください。

**「産業（農業・林業・水産業・商業・工業・観光）」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。**

問8 「産業（農業・林業・水産業・商業・工業・観光）」の分野に関する①～③の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々の暮らしを思い浮かべて、あなたの実感を教えてください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①～③の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①～②について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

① 県内の農林水産業に活気がある	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 食育や農業体験などを通じた農業への理解が進んでいない					
2 県産農産物を地元で消費する地産地消の取組みが進んでいない					
3 環境保全型農業の取組みが広がっていない					
4 高品質でおいしい農産物やブランド力のある農産物が少ない					
5 農林水産業の担い手の育成・確保が進んでいない					
6 中山間地域農業に活力がない					
7 農地や水路など生産基盤の整備や適切な管理、補修ができていない					
8 農山漁村の集落道や下水道など、生活環境の整備が進んでいない					
9 計画的な間伐や伐採が進まず森林整備が遅れている					
10 木材の利用拡大が進んでいない					
11 水産資源が減少している					
12 漁港などの施設・設備の整備が進んでいない					
13 その他( )					

※「環境保全型農業」とは…

化学肥料と化学合成農薬の使用を低減し、環境への負荷の低減や、より安全・安心な農産物の生産を行う農業。

※「中山間地域」とは…

平野の外縁部から山間に至る地域。

**《自由意見》**

あなたが「望ましい農林水産業の姿」とは、どんな姿ですか。

② 県内の企業に活気がある	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 企業の誘致が進んでいない					
2 県内企業に新エネルギー分野への取組みが進んでいない					
3 大学などの研究が企業に活かされていない					
4 中小企業に元気がない					
5 やきものや家具などの地場産地に元気がない					
6 その他( )					

**《自由意見》**

あなたが考える「望ましい県内企業の状況」とは、どんなものですか。

下の③について、それぞれ横に見て、  
1、2、3、4、5のどれか1つを○で  
囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う	い	い

③ 県産品や観光地が県外にも知られている	1	2	3	4	5
《理由》	1 佐賀県の観光地に魅力がない 2 佐賀県で撮影された佐賀県を紹介するテレビ や映画が少ない 3 大都市圏での県産品の認知度が低い 4 県産品の海外輸出が少ない 5 その他( )				

《自由意見》

あなたの考える「県外の人にとって魅力ある佐賀県」とは、どんなもので  
すか。

《自由意見》 ①～③までの質問や理由について思うこと、または「産業」の分野につい  
て、ご意見・ご提案があればお聞かせください。





**「雇用・労働」の分野について、あなたの実感をおうかがいします。**

問9 「雇用・労働」の分野に関する①の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々のくらしを思い浮かべて、あなたの実感をお答えください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		

① だれもが意欲と能力に応じて働ける環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 働ける場が少ない	6 非正規社員のままで雇用の安定や労働条件が向上していない				
2 ニートの若者が多い	7 仕事と家庭が両立できていない				
3 女性が働くための支援ができていない	8 必要な職業訓練が受けられない				
4 高齢者が働くための支援ができていない	9 その他( )				
5 障害者の働く場が少ない					

※「ニート」とは…

一般的に、15～34歳の独身無職で、在学中でなく、仕事も探さず、職業訓練も受けていない若者のこと。

**《自由意見》**

あなたが考える「望ましい労働環境」とは、どんな状況ですか。

**《自由意見》** ①の質問や理由について思うこと、または「雇用・労働」の分野について、ご意見・ご提案があればお聞かせください。

**「その他一般」について、あなたの実感をおうかがいします。**

問10 その他一般的なことに関する①の質問に対して、あなたご自身やご家族、地域の方々のくらしを思い浮かべて、あなたの実感を教えてください。（○はそれぞれについて、1つだけ）

また、①の中で「3 あまりそう思わない」、「4 思わない」を選んだ方は、その下の《理由》からそう思う理由があれば選んでください（○はいくつでも）

下の①について、それぞれ横に見て、1、2、3、4、5のどれか1つを○で囲んでください。



そ	ま	あ	思	わ
う	あ	ま	わ	か
思	そ	り	な	ら
う	う	そ	い	な
		う		い
		思		
		わ		
		な		
		い		
		い		

① だれもが社会で個性や能力を発揮できる環境になっている	1	2	3	4	5
《理由》 ←					
1 「夫は仕事、妻は家庭」という意識が根強い					
2 男性が家事に参加していない					
3 人権尊重の意識を持っていない					
4 DVが行われている					
5 外国人のための相談窓口などの生活支援体制が取れていない					
6 身近に国際交流活動に参加できる場がない					
7 その他( )					

※「DV」とは…

夫婦や恋人など男女間において、主に男性から女性に加えられる身体的・精神的・性的な暴力のことで物理的暴力だけでなく、脅し、罵り、無視、言動の制限・強制、苦痛を与えることなども含まれる概念のこと。また広い意味では、家庭内の女性、子ども、高齢者、障害者などの弱者に加えられる虐待なども含む

《自由意見》

あなたが考える「だれもが個性や能力を発揮できる社会」とは、どんな社会ですか。

《自由意見》 ①の質問や理由について思うこと、または「その他一般」としてお尋ねしたことについて、ご意見・ご提案があればお聞かせください。

施策についてのお尋ねは終わります。おつかれさまでした。



最後にあなたのことをお聞きしますので、ご協力お願いします。

佐賀ユニバーサルデザインキャラクター ゆうちゃん

ここからは、あなたご自身やご家族のことについておうかがいします。

F 1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- |          |          |          |           |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 4 35～39歳 | 7 50～54歳 | 10 65～69歳 |
| 2 25～29歳 | 5 40～44歳 | 8 55～59歳 | 11 70～74歳 |
| 3 30～34歳 | 6 45～49歳 | 9 60～64歳 | 12 75歳以上  |

F 3 ご結婚なさっていますか。(○は1つだけ)

- |      |             |                     |
|------|-------------|---------------------|
| 1 未婚 | 2 既婚(配偶者あり) | 3 既婚(現在、配偶者と離別又は死別) |
|------|-------------|---------------------|

F 4 ご家族の構成は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 1 1人世帯                        | 4 親と子と孫(3世代) |
| 2 夫婦だけ(1世代)                   | 5 その他( )     |
| 3 自分(たち)と子ども、または親と自分(たち)(2世代) |              |

F 5 同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。(○はいくつでも)  
なお、該当する方がいらっしゃらない場合は、F 6へお進みください。

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1 0歳～2歳     | 5 高校生・高等専修学校生           |
| 2 3歳～小学校入学前 | 6 短大生・大学生(大学院生含む)・専門学校生 |
| 3 小学生       | 7 未婚の社会人                |
| 4 中学生       | 8 65歳以上の方               |

F 6 お住まいの市町は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- |       |        |          |         |        |
|-------|--------|----------|---------|--------|
| 1 佐賀市 | 5 伊万里市 | 9 嬉野市    | 13 上峰町  | 17 大町町 |
| 2 唐津市 | 6 武雄市  | 10 神埼市   | 14 みやき町 | 18 江北町 |
| 3 鳥栖市 | 7 鹿島市  | 11 吉野ヶ里町 | 15 玄海町  | 19 白石町 |
| 4 多久市 | 8 小城市  | 12 基山町   | 16 有田町  | 20 太良町 |

F 7 あなたの主な職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- |                 |             |           |
|-----------------|-------------|-----------|
| 〔自営業者・家族従業者・役員〕 | 〔勤め人〕       | 〔無職〕      |
| 1 農林漁業          | 4 会社の正規社員   | 8 学生      |
| 2 商工・サービス業      | 5 会社の非正規社員  | 9 専業主婦・主夫 |
| 3 自由業           | 6 官公庁の正規職員  | 10 その他の無職 |
|                 | 7 官公庁の非正規職員 |           |

最後に、この調査についておうかがいします。

Q 1 この調査は難しかったですか。（○は1つだけ）

- 1 難しかった
- 2 どちらかといえば、難しかった
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、簡単だった
- 5 簡単だった

Q 2 時間はどれくらいかかりましたか。（○は1つだけ）

- 1 30分以内
- 2 30分～1時間
- 3 1時間以上

●県政に関して望むこと（例：「福祉に力を入れてほしい」、「県職員の接客態度を改めてほしい」など）を自由にお書きください。

また、このアンケートに対して、何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。


ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れていただき、7月 9日（金）までにご返送ください。

この調査の結果は、平成22年11月ごろ、県ホームページや各総合庁舎などの県政情報閲覧コーナーでお知らせする予定です。

ご協力ありがとうございました



平成 22 年度 佐賀県くらしの実感調査報告書

平成 22 年 11 月発行

佐賀県 統括本部 政策監グループ

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59

電話 : 0952-25-7351 (直通)

E-mail:seisakukan-g@pref.saga.lg.jp